



平成 30 年 度

主要事業の概要

(地方創生事業 以外)

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 財政課

主要事業の概要（目次）

No.	事業名	ページ
1	戦略的政策分野の研究 【拡大】	5
2	防災行政無線の整備 【継続】	6
3	消防団活動装備の充実 【継続】	7
4	行政情報化推進事業 (ネットワーク機器の更新) 【新規】	8
5	行政情報化推進事業 (統合型GISデータの更新) 【継続】	9
6	地域コミュニティの推進 【継続】	10
7	コミュニィセンターの管理 【継続】	11
8	生涯学習サロン整備 【継続】	12
9	植村直己冒険館の機能強化 【継続】	13
10	城崎ボートセンターの備品等整備 【新規】	14
11	中竹野ふるさと館耐震化等 【継続】	15
12	オリンピック・パラリンピックの事前・強化合宿誘致等 【継続】	16
13	出石野球場の改修 【継続】	17
14	円山川運動公園の移転整備 【継続】	18
15	犯罪被害者等への支援 【新規】	20
16	LED防犯灯整備補助 【継続】	21
17	高齢者福祉施策の拡充 【新規】	22
18	歩いて暮らすまちづくりの推進 (健康ポイント制度) 【拡大】	23
19	但東歯科診療所の開設 【継続】	24
20	コウノトリ豊岡寄付金の推進 【継続】	25
21	販路拡大の支援 【継続】	26

No.	事業名	ページ
22	産業用地の整備 【継続】	27
23	地域おこし協力隊の推進 【継続】	28
24	経済成長戦略の推進 【継続】	30
25	観光の振興 【拡大】	31
26	豊岡市農業ビジョンの策定 【新規】	32
27	農業の振興 (耕畜連携流通システム確立) 【新規】	33
28	環境保全型農業直接支払事業 (コウノトリ育む農法の推進) 【新規】 【継続】	34
29	鳥獣被害防止緊急対策 【継続】	35
30	農道橋の耐震化・長寿命化の推進 【継続】	37
31	但馬食肉センターの改修 【継続】	38
32	林業の振興 【継続】	39
33	漁港の管理 【新規】 【継続】	40
34	生物多様性の保全 【拡大】	41
35	ラムサール条約関連事業 【継続】	42
36	地籍調査 【継続】	43
37	内水処理 (山田川流域内水対策) 【継続】	44
38	内水処理 (国府地区内水対策) 【新規】	46
39	道路維持 (大規模舗装修繕、排水施設改良等) 【継続】	48
40	道路整備 (市単独事業:池上日吉線) 【継続】	66
41	道路整備 (市単独事業:加陽池端線) 【継続】	68
42	道路整備 (補助事業:栃本太田線) 【継続】	70
43	雪害対策 (除雪車両更新、除雪機整備補助等) 【継続】	72

No.	事業名	ページ
44	橋りょう長寿命化 【継続】	73
45	栃江橋整備 【継続】	75
46	上野橋整備 【継続】	77
47	交通安全施設整備 (案内標識整備、通学路グリーンベルト設置等) 【継続】	79
48	出石地区無電柱化整備 【新規】	83
49	公共土木施設災害復旧 【新規】	85
50	道の駅整備 【継続】	88
51	都市計画マスタープランの改定 【継続】	90
52	公共交通再編調査 【新規】	91
53	出石城公園整備 【継続】	92
54	稲葉川土地区画整理 【継続】	93
55	市営住宅の改善 (結2号・元薬師1号) 【継続】	94
56	住宅の耐震改修促進 【継続】	95
57	老朽危険空家対策 【継続】	96
58	城崎振興局の取組み 【新規】 【継続】	97
59	竹野振興局の取組み 【新規】 【継続】	98
60	日高振興局の取組み 【新規】 【継続】	99
61	日高庁舎長寿命化・多機能化 【新規】	101
62	出石振興局の取組み 【新規】 【継続】	102
63	伝統的建造物群保存地区保存事業 【継続】	103
64	但東振興局の取組み 【継続】	104
65	消防庁舎整備 (消防力適正配置等調査) 【新規】	105

No.	事業名	ページ
66	消防設備整備 (日高分署、竹野出張所) 【新規】	106
67	中学校への空調設備整備 【継続】	107
68	学校施設屋内運動場等の非構造部材改修 【継続】	108
69	山名氏城跡整備 【継続】	109
70	但馬国分寺跡整備 【継続】	110
71	歴史博物館リニューアル 【新規】	111
72	校務支援システムの導入 【新規】	112
73	私立保育所等の振興 【継続】	113
74	子ども子育て支援交付金等を活用した私立保育所等の振興 【継続】	114
75	待機児童解消対策の検討 【新規】	115

No.1	事業名 戦略的政策分野の研究	30年度 予算額	5,448 千円	新規 拡大 継続
------	----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

戦略的に取り組むべき政策課題について、大学等と連携しながら各種調査・検証・分析を進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① SDGs の推進

ア 地域研究事業

慶應義塾大学と連携し、市内で但東町高橋地区を対象として地域住民とワークショップ等を実施する。また、その成果を地域住民と共有することで、地域での実践につなげる。

イ 地方自治体政策検証事業

慶應義塾大学と連携し、SDGs の観点から豊岡市の課題を多角的に捉える自治体診断を行う。

<参考>

SDGs (Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標) は、2015 年に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 2016 年から 2030 年までの開発目標。なお、地方創生の理念と共通するとして、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2017」の中に、「地方公共団体における持続可能な開発目標 (SDGs) の推進」が盛り込まれている。

② その他

その他戦略的に取り組む課題についての調査・検証・分析

(2) 事業期間

平成 29 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

5,448千円（ひょうご地域創生交付金 交付対象額の1/2）

担当課名【地方創生課】（内線 2091）

施策体系番号 6-3-2-2

No.2	事業名 防災行政無線の整備	30年度 予算額	312,053 千円	新規 拡大 継続
------	---------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

無線規格の変更により、現在運用している防災行政無線設備のアナログ電波が平成34年（2022年）11月末までしか使用できないこと、設備そのものを更新する時期に来ていることから、現行の防災行政無線に代わるデジタル防災行政無線を再整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 平成28～29年度 新たな防災情報提供システムの検討、公募型プロポーザルの実施
- ② 平成30年度～平成32年度（2020年度） デジタル防災行政無線の整備
 - ア 現地調査、実施設計
 - イ 親局・中継局・屋外拡声子局整備
 - ウ 戸別受信機配布
 - エ アナログ防災行政無線設備等の撤去及び旧戸別受信機の回収

地域	現行のアナログ 防災行政無線運 用開始時期
豊岡	平成15年12月
城崎	平成10年4月
竹野	平成20年4月
日高	平成12年8月
出石	平成12年10月
但東	平成20年7月

(2) 事業期間

平成28年度～平成32年度（2020年度）（見込み）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,320,159千円（市の一般財源負担率は30%、緊急防災・減災事業債を活用する。）



【現行のアナログ防災行政無線の操作卓】

3 30年度予算

(1) 予算額

312,053千円

(2) 事業内容

- ① 山上中継局から電波を発信して戸別受信機の受信状況の現地調査
- ② 現地調査に基づく設備の実施設計
- ③ 親局・中継局・屋外拡声子局等の一部整備

担当課名 【防災課】（内線2191）

施策体系番号 1-1-1-2

No.3	事業名 消防団活動装備の充実	30年度 予算額	5,134 千円	新規 拡大 継続
------	----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成28年12月に糸魚川市において発生した大規模火災では、強風により目に異物が入り、消火活動を行っていた消防団員11人が受傷したことから、最前線に部署する消防団員の安全帽（ヘルメット）に装着可能なゴーグルを配備する。

また、消防団が出動する火災の半数近くが夜間に発生していることを鑑み、安全に消火作業を行えるようヘッドライトを配備し、夜間活動時の視界を確保し安全性を高める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① ゴーグル（528個／火災現場の最前線で消火活動に従事する団員数分）

スプリングバンドにより装着できるものとし、ヘッドライトと同時装着してもずれないものを採用する。

② ヘッドライト（1,250個／過去の出動状況を基に必要数を算出）

耐塵・防水機能を備えたLEDヘッドライトとし、シリコンバンドに変更することで、ヘルメットに装着してもずれにくくする。

上記のいずれも、消防車両（ポンプ車及び小型動力ポンプ積載車）に搭載しておき、火災現場で装着し、消火活動等に従事する。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

5,134千円



担当課名【防災課】（内線2191）

施策体系番号 1-1-2-1

No.4	事業名	行政情報化推進事業 (ネットワーク機器の更新)	30年度 予算額	290,887 (84,000)	千円	新規 拡大 継続
------	-----	----------------------------	-------------	---------------------	----	----------------

1 事業目的（趣旨）

本庁舎、各振興局、消防本部、健康福祉部、上下水道部及び学校等のネットワーク機器を更新することにより、機器の老朽化によるネットワーク障害のリスクを回避する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 本庁舎サーバ室内及び各フロアのスイッチ（通信機器）、各振興局、消防本部、健康福祉部、上下水道部他出先機関のスイッチ及び学校園の基幹スイッチを更新する。
- ② 本庁舎サーバ室内のスイッチを冗長構成にする。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

84,000千円

(2) 事業内容

- ① 本庁サーバ室内スイッチ更新・冗長化
 - ② 本庁舎、各振興局、消防本部、健康福祉部、上下水道部等スイッチ更新
 - ③ 学校園基幹スイッチ更新
- ※更新スイッチ237台

担当課名【情報推進課】（内線2101）

施策体系番号 6-3-2-3

No.5	事業名	行政情報化推進事業 (統合型 GIS データの更新)	30 年度 予算額	290,887 (45,283) 千円	新規 拡大 継続
------	-----	-------------------------------	--------------	------------------------	----------------

1 事業目的 (趣旨)

現在、統合型地理情報システムで利用している航空写真は平成23年度に撮影したものであり、写真と現況が一致していない箇所が存在するため、航空写真を更新し、事務資料として活用する。

また、固定資産税課税事務においては、新たに撮影した航空写真と平成23年度の航空写真を比較し、固定資産の変動物件を抽出することで効率的な現地調査を行うことができる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 航空写真を撮影し、統合型GISの航空写真を更新する。
- ② 撮影した航空写真と平成23年度の航空写真を比較し、土地の現況の変化や家屋の新增築等の変動物件を抽出する。

(2) 事業期間

平成29年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

88,560千円

3 30年度予算

(1) 予算額

45,283千円

(2) 事業内容

撮影した航空写真と平成23年度に撮影した航空写真を比較し、固定資産の変動物件を抽出する。

担当課名【情報推進課】 (内線2101)

施策体系番号 6-3-2-3

No.6	事業名 地域コミュニティの推進	30年度 予算額	162,438 千円	新規 拡大 継続
------	-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口が減少し、少子化・高齢化が進むことで生じる様々な地域課題に対して、将来に向けて安心して暮らし続けることができるよう、旧地区公民館単位で地域コミュニティ組織を立上げ、住民自治（自分たちの地域は自分たちで守ること）により、地域の活性化と持続可能な地域運営を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平成29年4月1日、市と協働して地域づくりを行うパートナーである29の地域コミュニティ組織を認定し、その拠点施設として地区公民館をコミュニティセンターに移行した。市は、地域コミュニティ組織が住民自治活動、地域づくり活動を継続的に行えるよう、各組織の地域づくり計画（ビジョン）策定支援や「コミュニティづくり交付金」の交付、人材育成、専門研修、情報交換会の実施など、継続した支援を行う。

(2) 事業期間

平成25年度～

(3) 事業主体

豊岡市



3 30年度予算

(1) 予算額

162,438 千円

(2) 事業内容

- ① 地域コミュニティ組織への財政支援（コミュニティづくり交付金、活性化事業交付金等）
- ② 地域コミュニティ組織への人的支援（地域マネージャー、アドバイザー等派遣）
- ③ （仮称）地域コミュニティビジョン策定委員会の開催
- ④ 各種研修の実施（人材育成モデル地区事業、出前講座、テーマ別研修等）
- ⑤ とよおか地域づくり大会の開催
- ⑥ 島根大学との共同研究事業による地域マネジメント推進方策の検討

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

総額162,438千円のうち城崎振興局5,397千円、竹野振興局15,038千円、日高振興局29,383千円、出石振興局29,829千円、但東振興局15,014千円

※振興局分はコミュニティづくり交付金、地域マネージャー等自動車借上代等の費用

担当課名【コミュニティ政策課】（内線2781）

施策体系番号5-2-1-2

No.7	事業名	コミュニティセンターの管理	30年度 予算額	94,246 千円	新規 拡大 継続
------	-----	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成29年4月から、市内全29の地区において「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に地域コミュニティ組織による地域運営が始まっている。

その活動の拠点施設であるコミュニティセンターの機能を維持し、地域の人々に親しまれ、快適・安全に利用できるよう適切な維持管理・施設修繕を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

地域コミュニティ組織の拠点施設となるコミュニティセンターの維持管理及び施設修繕

(2) 事業期間

平成29年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

- ① コミュニティセンターの維持管理 65,546千円
- ② コミュニティセンターの施設修繕 28,700千円

(2) 事業内容

- ① 各地区コミュニティセンターの維持管理、小修繕
- ② 港地区コミュニティセンターの外壁修繕
- ③ 清滝地区コミュニティセンターの屋根等修繕

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2781）

施策体系番号 5-2-1-3

No.8	事業名 生涯学習サロン整備	30年度 予算額	282,640 千円	新規 拡大 継続
------	---------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

通学困難者の増加などにより学院生の減少が進む但馬高齢者生きがい創造学院（以下「学院」という。）を、空き店舗の増加する中心市街地へ移転すると同時に、賑わいの創出を視野に入れた施設整備を検討してきた。

このたび、豊岡駅前前の物件について、所有者と売買の合意に至ったことから、土地及び建物を取得し、施設の整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 豊岡市千代田町内の土地（宅地 478.10 m²）及び建物（鉄骨造 2 階建 713.41 m²）を取得したうえで改修し、生涯学習サロンとして整備する。

イ 整備後、学院が生涯学習サロンに移転し主な利用者となるが、夜間及び学院の休日には、広く市民に生涯学習機会を提供する。

ウ 生涯学習サロンには、学院以外にギャラリーや地域イベント、ワークショップなどの会場として利用可能な空間の整備を検討している。

(2) 事業期間

平成 30 年度～平成 31 年度（2 か年事業）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

363,595 千円（土地建物取得費 72,536 千円 施設整備費等 291,059 千円）
財源内訳（合併特例債 335,400 千円 一般財源 28,195 千円）

3 30 年度予算

(1) 予算額

282,640 千円

(2) 事業内容

土地及び建物の購入、実施設計、改修工事、施工監理

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

・事業場所 豊岡市千代田町 109 番 3 外

・但馬高齢者生きがい創造学院が行う講座の内容 16 講座 353 人

陶芸	木彫	盆栽	麦わら	書道	表具	俳句	短歌
23 人	18 人	9 人	33 人	71 人	9 人	15 人	11 人
絵画	民謡	編み物	囲碁	写真	ダンス	パソコン	カラオケ
18 人	22 人	31 人	13 人	21 人	18 人	18 人	23 人

平成 29 年 4 月 1 日現在

担当課名【生涯学習課】（内線 2742）

施策体系番号 5-1-1-1

No.9	事業名 植村直己冒険館の機能強化	30年度 予算額	24,398 千円	新規 拡大 継続
------	------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成29年2月に策定した植村直己冒険館機能強化基本構想では、主に①施設の経年劣化対策、②氏の精神を伝える展示のマンネリ化解消、③冒険学習の拠点の実現を図ることとしている。

しかしながら、冒険学習については、市に特段のノウハウが無いことから、民間等のノウハウを導入する必要がある。そこで、ソフト面の充実を中心に据え、一体的に施設改修や運営ができる企業等があるのか、民間パートナー導入の可能性を本年度調査した。

調査の結果、複数の企業・団体からパートナーとしての参画意欲が見られたことから、実施に向け事業化を図り、基本構想の実現を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 事業方式 PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）方式

当施設の改修、維持管理、運営等、民間の資金、経営能力及び技術的能力を最大限活用するとともに、施設を補強する民間提案施設整備が想定されることから、PFI方式が適切であると判断し、事業化を進める

(2) スケジュール

平成30年度 事業の実施方針公表、民間事業者募集要項の公表・募集

平成31年度 民間事業者の選定、事業契約等の締結

平成31年度～33年度 施設改修等

平成33年度夏（予定）リニューアルオープン

(3) 事業費等

ア 民間初期投資見込み 6億円程度

施設改修及び機能強化に係る施設整備分は、整備終了後市の公共施設として買戻し予定（財源 辺地債・植村直己顕彰基金を予定）

イ 予算の内容

- ・事業者選定支援業務 29,052千円（平成31年度分は債務負担行為予算）

業務内容 平成30年度 24,100千円

実施方針案作成、要求水準・公募条件・契約書案・基本協定書案の作成、事業者選定審査支援

平成31年度 4,952千円

契約締結に向けた詳細交渉

- ・事業者選定委員会運営 298千円

3 その他参考事項

- ・平成28年度 植村直己冒険館機能強化基本構想策定
- ・平成29年度 植村直己冒険館機能強化パートナー導入可能性調査

担当課名【生涯学習課】（内線2741）

施策体系番号 5-1-2-1

No.10	事業名	城崎ボートセンターの備品等整備	30年度 予算額	18,209 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎ボートセンターは、市民におけるボート競技の拠点施設であり、全国大会等も定期的に開催されている。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けてフランス代表チーム等の事前・強化合宿の誘致促進における環境整備の一環として、必要な設備等を整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 競技用艇、オール購入（5艇）
- ② トレーニング機器等購入（R P 3、エルゴメータ、ワットバイク、移動式ラック等）
- ③ 2,000mコース設置測量
- ④ 審判艇修理等

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

18,209千円（過疎債14,600千円）

(2) 事業内容

- | | |
|---------------|----------|
| ① 競技用艇、オール購入費 | 13,500千円 |
| ② トレーニング機器等購入 | 3,000千円 |
| ③ 2,000m設置測量 | 1,100千円 |
| ④ 審判艇修理等 | 609千円 |

クォドルプル（4人漕ぎ）



ダブルスカル（2人漕ぎ）



担当課名【スポーツ振興課】（内線2791）

施策体系番号 5-1-3-1

No.11	事業名 中竹野ふるさと館耐震化等	30年度 予算額	46,000 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

中竹野小学校体育館としても利用されている中竹野ふるさと館に係る非構造部材の落下防止対策を行い、施設の安全性を高める。また、落下防止対策に併せ、照明器具のLED化を行い、電気料金の削減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 吊り天井の落下防止
- ② 照明器具の落下防止とLED化
- ③ 窓ガラスの飛散防止
- ④ バasketゴール、その他設備等の落下防止対策

(2) 事業期間

平成29年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

47,944千円（過疎債、緊急防災・減災事業債）

3 30年度予算

(1) 予算額

46,000千円（緊急防災・減災事業債100%）

(2) 事業内容

- ① 施工監理費 3,000千円
- ② 工事請負費 43,000千円



担当課名【スポーツ振興課】（内線2791）

施策体系番号 5-2-1-3

No.12	事業名	オリンピック・パラリンピックの事前・強化合宿誘致等	30年度 予算額	5,221 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、豊岡の価値を高め、活性化を図るための取組みを進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① ボート競技の事前・強化合宿の誘致、受入れ

ア 誘致活動

大会組織委員会の「事前トレーニング候補地ガイド」に登録。フランスのボートチームをターゲットに事前合宿の誘致活動を行う。

昨年、ドイツボート協会の関係者が事前合宿の候補地の一つとして本市を視察、事前合宿地として選定されれば、受入れに向けての条件面などの調整を行う。

イ 日本ボートチーム強化合宿の受入れ

昨年に引き続き、本市において日本ボートチームの強化合宿が実施されることとなれば、受入れに係る必要な支援・協力をを行う。

② ソフトボール競技の事前・強化合宿の誘致

大会組織委員会の「事前トレーニング候補地ガイド」に登録。主に日本代表の強化合宿の誘致を進める。

(2) 事業期間

平成28年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

5,221千円

(2) 事業内容

① 事前・強化合宿の誘致 4,281千円

フランス代表チーム視察受入れ、関係者への誘致に向けての協議、スポーツ特別アドバイザーとの打ち合わせ等

② 事前・強化合宿の受入れ 940千円

交流会のほか、受入れに係る機器等の借上げ等

担当課名【スポーツ振興課】（内線2791）

施策体系番号 5-1-3-3

No.13	事業名 出石野球場の改修	30年度 予算額	354,340 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石野球場は、町内・市・但馬の野球大会のほか、NOMOベースボールクラブなどの練習球場として利用されている。

しかし、施設開設後40年以上が経過し、内野及び外野面の経年劣化がみられることから、施設の大規模改修を行う。

また、野球場に隣接した温泉施設に向かう道路がある。硬式ボールの場外への飛び出しを防止するため、安全対策を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① グラウンド排水改善、内野舗装改修、外野人工芝生化、防球ネット設置
- ② 野外照明LED化及び照明制御システム、放送設備、スコアボード改修 等

(2) 事業期間

平成28年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

364,242千円（合併特例債、スポーツ振興くじ助成金予定）

3 30年度予算

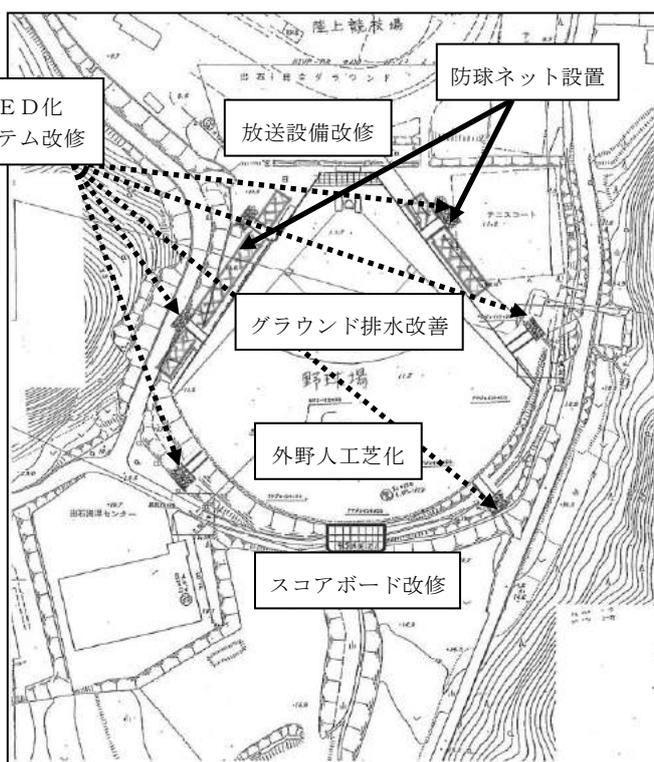
(1) 予算額

354,340千円

スポーツ振興くじ助成金	103,600千円
合併特例債	238,200千円

(2) 事業内容

- ① 施工監理 1,253千円
- ② 工事請負費 353,087千円



担当課名【スポーツ振興課】（内線2791）

施策体系番号 5-1-3-1

No.14	事業名 円山川運動公園の移転整備	30年度 予算額	516,085 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土交通省の円山川水系河川整備計画(遊水地化)の推進に伴い、同計画地内にある現「豊岡市立円山川運動公園」を土淵から下鶴井に移転する。

名称を「豊岡市立玄武洞スポーツ公園」とし、現施設と同様に少年野球、少年サッカー、ソフトボール等が可能な多目的グラウンド4面を確保し、スポーツによる大交流の推進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 多目的グラウンド（少年野球又はサッカー4面）、多目的広場
- ② 駐車場（駐車台数162台）
- ③ 管理棟等 A=259.2㎡（木造瓦葺き平屋建）及び便所棟の建築
- ④ 旧管理棟等（A=245.955㎡）の取り壊し
- ⑤ 進入道路（L=150m、W=6.5m）

(2) 事業期間

平成25年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,516,785千円（移転補償金等）

(5) 完成予定

平成30年7月末

3 30年度予算

(1) 予算額

516,085千円

(2) 事業内容

- ① 運動公園整備工事等 514,349千円
- ② 事務費等 1,736千円

担当課名【スポーツ振興課】（内線2791）

施策体系番号 5-1-3-1

円山川運動公園移転整備事業 計画平面図

施設の概要

- **開発区域面積：約9.17ha**
 - 多目的グラウンド 3.86ha
 - 多目的広場 0.57ha
 - 駐車場・駐輪場 0.58ha
 - 環境保存エリア 1.19ha
 - 調整池 0.68ha
 - 緑地（緑地帯・法面等） 0.88ha
 - その他（園路・管理棟敷地等） 1.41ha
- **開発関連区域面積：約0.43ha**
 - 進入路・堤体すり付け盛土
- **内容**
 - グラウンド 少年サッカー又は少年野球 4面
 - 駐車場 162台
 - 管理棟 木造・瓦葺・平屋建
A=259㎡ 太陽光設備 3.5kw
- **今後のスケジュール**
 - 平成29年1月：着工～平成30年7月：竣工予定



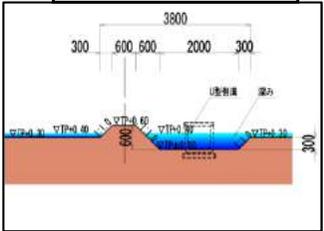
環境保全エリア(イメージ)



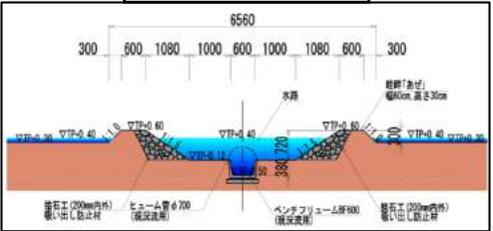
魚道(イメージ)



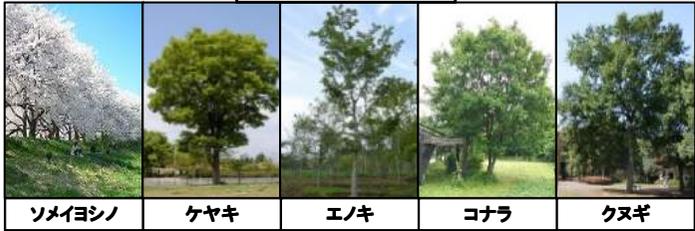
環境保全エリア(深み)



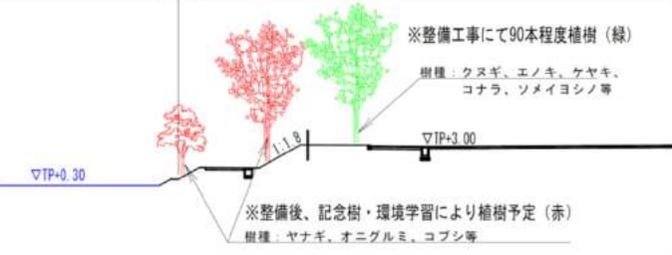
環境保全エリア(水路)



植栽予定樹種



環境保全エリア 多目的グラウンド



No.15	事業名 犯罪被害者等への支援	30年度 予算額	759 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

犯罪に巻き込まれた被害者やその家族は、十分な支援を受けられず、社会において孤立することを余儀なくされたり、犯罪による直接的な被害にとどまらず、その後も二次的な被害に苦しめられることも少なくない状況にある。

そのため、犯罪被害者等が社会の中で再び平穏な生活を早期に取り戻せるよう、一人一人に寄り添って支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 総合相談窓口の設置
- ② 一時的な生活資金として支援金の支給（遺族支援金、重傷病支援金）
- ③ 日常生活の支援（家事援助助成、一時保育助成）
- ④ 居住の支援（市営住宅の一時使用、転居費用助成、転居後家賃助成）
- ⑤ 市民等の理解を深めるための広報・啓発
- ⑥ 支援を担う相談員等の育成

(2) 事業期間

平成30年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 支援事業費の概要

項 目	内 容	金 額	備 考
支 援 金 の 支 給	遺族支援金	300,000円	死亡
	重傷病支援金	100,000円	全治1箇月以上
日 常 生 活 の 支 援	家事援助ヘルパー利用料の助成	上限2,500円/時間	25時間以内
	一時保育料の助成	上限3,000円/日	5日以内
居 住 の 支 援	転居費用の助成	上限100,000円/回	1回限り
	転居後家賃の助成	上限30,000円/月	月額家賃の半額 6箇月以内

3 30年度予算

(1) 予算額及び事業内容

- ① 犯罪被害者等への支援 658千円
- ② 相談員の研修 101千円

担当課名【生活環境課】（内線2281）

施策体系番号 1-1-3-2

No.16	事業名	LED防犯灯整備補助	30年度 予算額	13,260 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

LED灯は、長寿命・省電力という大きなメリットがあり、従来の蛍光灯の防犯灯と比べランニングコストの削減を図ることができる。

市内の自治会（区・町内会）が設置する防犯灯の基数は1万基以上と推測されるが、平成24年度からの整備補助で、LED化した防犯灯は4,137基に留まる。

そのため、市では地域の防犯と安全で安心な暮らしを推進し、照明による環境負荷を低減するため、自治会の防犯灯のLED化に対して補助金を交付している。

この補助制度に対する自治会からの要望が強く、これまでに大幅に増額してきた予算を継続させる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

自治会（区・町内会）に対する防犯灯整備補助

- ・ LED防犯灯新設工事
- ・ 既存防犯灯のLED化工事
- ・ 故障防犯灯器具のLED取替工事

(2) 事業期間

平成24年度～（平成24年度からLED化を促進している。）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 補助金の概要

補助金額は、設置に要する費用の1/2以内で1灯あたりの上限は次のとおり

区 分	限度額
電柱等既存の支柱への設置	12,000円
支柱等/new設しての設置	17,500円

3 30年度予算

(1) 予算額

13,260千円（市が所有する太陽光発電施設の売電収入を一部活用）

(2) 事業内容

自治会（区・町内会）に対するLED防犯灯整備補助 年間 約1,300基

4 その他参考事項

【過去の補助実績】

年 度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
補助基数	248基	302基	565基	596基	1,092基	1,334基

※ H29年度は補助予定基数を記載

担当課名【生活環境課】（内線2281）

施策体系番号 1-1-3-2

No.17	事業名 高齢者福祉施策の拡充	30年度 予算額	19,030 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、高齢者と地域との日常的なつながりの強化や健康の維持増進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① ふれあいいいきサロン補助金（2,600千円）

高齢者が地域住民とつながれる場所であるサロンの拡大を図るため、豊岡市社会福祉協議会が実施するサロン助成が終了したサロンの運営費を補助する。

ア 補助金交付団体等

サロン実施団体（市 → 豊岡市社会福祉協議会 → 実施団体）

イ 補助金額

行政区単位で実施するサロン 1箇所 年額2万円
（区内1箇所分に限る。）

地域コミュニティ組織が実施するサロン 1箇所 年額4万円

② 玄さん元気教室奨励金（5,250千円）

高齢者が気軽に参加でき、健康の維持増進の効果が実証されている住民主体の健康運動教室「玄さん元気教室」の拡大を図るため奨励金を交付する。

ア 奨励金交付団体等

区、地域コミュニティ組織（市 → 区・地域コミュニティ組織）

イ 奨励金額

1箇所 年額3万円（行政区で実施する教室は、区内1箇所分に限る。）

③ 高齢者安心・見守り活動奨励金（11,180千円）

高齢者の安心・安全の確保、孤立化防止・社会参加を図るため、一人暮らし高齢者等への定期的な見守り訪問活動を促進するため奨励金を交付する。

ア 奨励金交付団体等 区（市 → 区）

イ 奨励金額

区の区分 (75歳以上の高齢者数)	奨励金額
24人以下の区	2万円
25～49人の区	2万5千円
50～99人の区	4万5千円
100～149人の区	8万5千円
150人以上の区	12万5千円

3 30年度予算

(1) 予算額

19,030千円

担当課名【高年介護課】（内線 3041）

【健康増進課】（内線 3170）

施策体系番号 1-2-4-1

No.18	事業名	歩いて暮らすまちづくりの 推進（健康ポイント制度）	30年度 予算額	11,539 (9,050) 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------------	-------------	----------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市では健康づくりの基本を「歩く」とし、企業“歩キング”、玄さん元気教室、健康ポイント制度等の各種健康施策を推進している。

このうち、平成23年にスタートした「健康ポイント制度」は、日々の健康づくりをポイント化し、貯まったポイントで小中学校等への寄付や運動・温泉施設利用券と交換ができるもので、現在は約5,600人が登録している。

しかしながら、参加申請・ポイント交換手続きが煩雑なこと、高齢者にとってポイント手帳の記入が困難なこと、制度開始から6年が経過し新鮮味が薄れてきたことから、実質の参加者は約1,500人に低迷している。

そのため、ポイント記入様式・手続の簡略化、簡易的なスマホアプリシステムの導入により参加者の拡大を図る。

2 全体の事業内容（健康ポイント制度）

(1) 主な内容

- ① ポイント記入様式・手続の簡略化、取組期間の短縮（1年→半年更新）
- ② 歩数を自動管理し、ポイントとして寄付できる簡易的なスマホアプリの導入

(2) 事業主体

豊岡市

(3) 参加者及び事業費見込み

年度	平成 30 年度	平成 32 年度
参加者見込み	1,930 人	2,700 人
事業費 〃	9,050 千円 (うち 3,240 千円はアプリ導入経費)	6,824 千円

3 30年度予算（健康ポイント制度）

(1) 予算額

9,050千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 実施時期

- ① 記入様式・手続の簡略化：平成30年5月
- ② 簡易的なスマホアプリ導入：平成30年10月

(3) 主な事業内容

簡易的なスマホアプリを導入し、歩数の自動管理や参加登録からポイント寄付まで全てをスマホで操作可能とすることで、学校PTAや企業“歩キング”等の若年層（働く世代）の参加拡大を図る。

担当課名【健康増進課】（内線3101）

施策体系番号 1-2-1-4

No.19	事業名 但東歯科診療所の開設	30年度 予算額	69,804 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但東歯科診療所は昭和48年8月、旧但東町が公設民営方式で開設したが平成26年4月歯科医の急死後、閉鎖状態となっていた。この度、現役歯科医から週2日、但東での歯科診療を引き受けても良いとの意思表示があったことと、平成28年度区長会が実施されたアンケート調査の結果を受けた利用見込みから、週2日程度の診療であれば、経費面から妥当と判断し、但東歯科診療所を整備することとした。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 但東庁舎町民センター和室（約54㎡）を但東歯科診療所に改修する。
（旧施設とほぼ同面積）
- ② 旧但東歯科診療所を除却処分する。

(2) 事業期間

整備：平成29年10月～平成30年7月
開院：平成30年 8月（予定）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

71,604千円（過疎債 47,300千円）

3 30年度予算

(1) 予算額

69,804千円

{	一般会計 診療所費（合橋診療所分除く）	60,677千円
	診療所事業特別会計 施設管理費・医業費	9,127千円

(2) 事業内容

- ① 旧歯科診療所の除却処分
- ② 歯科診療所整備工事
- ③ 医療機器、備品等購入
- ④ 歯科診療所の運営

4 その他参考事項

下記医師に委託する。

診療体制 歯科医：河原 忍（河原歯科医院長）、河原伸明（三男）
歯科助手（臨時職員採用予定）：1名

担当課名【健康増進課】（内線3101）

施策体系番号 1-2-2-2

No.20	事業名	コウノトリ豊岡寄付金の推進	30年度 予算額	87,293 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び本市特産品等の返礼を通じた市内経済活性化へ寄与する。

2 30年度予算

(1) 予算額

87,293千円

(2) 事業内容

- ① 寄付申込受付、礼状・寄付金受領証明書の送付
- ② 謝礼品に係る事業（業務委託）
- ③ ふるさと納税のPR（広告掲載等）

(3) 寄付額の目標（歳入）

200,000千円

3 寄付実績及び活用予定

(1) 29年度寄付実績（平成29年12月末時点）

2,505件 183,854千円

(2) 30年度活用予定

寄付金は、「小さな世界都市」の実現や地方創生に向けた取組み等に有効活用する。

① 活用予定事業 37事業 178,835千円（充当額）

② 主な活用予定事業 (単位：千円)

事業名	予算額	充当額
文化芸術創造交流事業費【地方創生】	12,572	5,000
海外戦略推進事業費【地方創生】	34,305	10,000
英語教育推進事業【地方創生】	33,559	15,000
城崎国際アートセンター事業費（アーティスト・イン・レジデンス事業）【地方創生】	13,022	5,000
学校給食センター、コウノトリ育むお米を週5回へ（うち3回分）	7,335	7,335
コウノトリ育む農法推進事業【地方創生】	36,709	15,000
新規就農総合支援事業費【地方創生】	28,568	4,000
非常備消防事業費（消防資機材充実）	75,061	8,000
特産振興事業費（革製鞆・革小物生産能力育成事業）【地方創生】	13,250	6,000
結婚・子育て推進事業費【地方創生】	19,247	7,000
地域コミュニティ推進事業費（豊岡・日高・出石）	126,989	20,000
出石永楽館歌舞伎開催事業費【地方創生】	73,044	2,000

4 その他参考事項

28年度寄付実績 2,622件 229,042千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線2301）

施策体系番号 6-3-2-1

No.21	事業名 販路拡大の支援	30年度 予算額	10,258 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内中小企業者の売上及び収益の増加、付加価値向上を達成するため、事業者の販路拡大に資する取組みを支援することで、市内経済の活性化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 海外展示会出展支援補助金

海外での売上増加及び新規取引先開拓を実現するための海外展示会出展に対する支援

② マーケティング戦略策定支援補助金

自社の強みを知ることや顧客ニーズを把握し、販売を強化させるマーケティング戦略策定に対する支援

③ ECサイト制作支援補助金

取引機会の拡大を狙うため、ECサイト（電子商取引）を立ち上げようとする企業に対する支援

(2) 対象経費

① 海外展示会出展支援

展示会出展に係る小間料、ブース作成費、輸送費、交通費、展示コンサルタント料、通訳費など

② マーケティング戦略策定支援

マーケティング戦略策定及び実施指導に係るコンサルタント料

③ ECサイト制作支援

制作委託料、指導・研修費、通訳費など

(3) 補助率

① 海外展示会出展支援

対象経費の2分の1（環境経済事業者は3分の2）、上限500千円

② マーケティング戦略策定支援

対象経費の2分の1（環境経済事業者は3分の2）、上限2,000千円

③ ECサイト制作支援

対象経費の2分の1（環境経済事業者は3分の2）、上限300千円

3 事業期間

平成26年度～

4 事業主体

豊岡市

5 30年度予算額

補助金 10,000千円

事務費 258千円

合 計 10,258千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線2301）

施策体系番号 3-1-7-2

No.22	事業名 産業用地の整備	30年度 予算額	51,109 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

北近畿豊岡自動車道に関連し、兵庫県が建設する県道但馬空港線の沿線土地に産業用地を整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 実施設計業務（実施済み）
- ② 用地測量業務（実施済み）
- ③ 用地購入・立木補償（一部実施済み）
- ④ 区画造成工事
- ⑤ 上・下水道工事
- ⑥ 調整池・流路工事（平成30年度事業）

(2) 事業期間

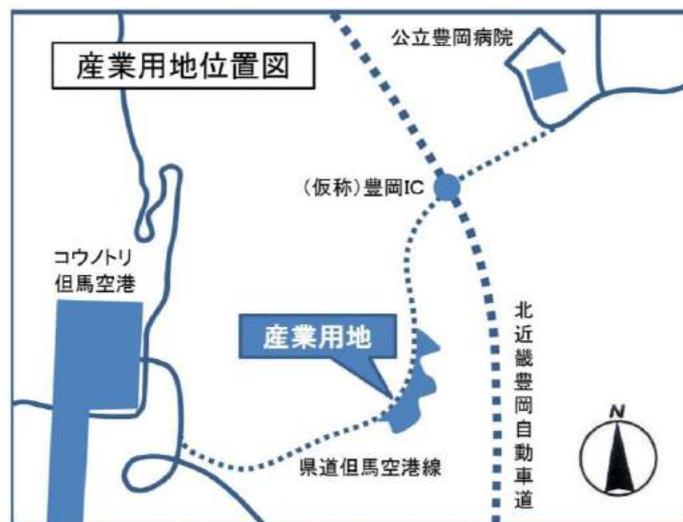
平成28年度～平成32年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

327,893千円



3 30年度予算

(1) 予算額

工事請負費（調整池・流路工）	51,000千円
事務費	109千円
合 計	51,109千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線2313）

施策体系番号 3-1-7-1

No.23	事業名 地域おこし協力隊の推進	30年度 予算額	68,556 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

- (1) 地域の活性化や地域づくり、課題解決への取組みなど、自主的な活動を促進させる。
- (2) 外部からの人材を投入することにより、新たな視点や発想を取り入れる。
- (3) 地域おこし協力隊としての活動期間（最長3年間）終了後の定着を図り、継続した地域活力の向上を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

地域や団体が求める活動と、協力隊自らが実現したい活動の調整を図りながら、地域力の維持・創出や協力隊自身の起業や定着に向けた活動を展開する。

平成30年1月末現在、豊岡地域3名、城崎地域2名、竹野地域4名、出石地域2名、但東地域1名の計12名が活動している。（12名のうち3名は平成30年3月で任期満了）

平成30年度は、各地域・団体からの希望を受け、さらに12名の協力隊を募集し、地域の活性化を図る。

(2) 事業期間

協力隊委嘱期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

※ただし、活動状況・実績等を勘案し、最長3年まで延長する。

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

68,556千円

※特別交付税措置

- ① 隊員1人につき上限400万円（報償等200万円＋活動費200万円）
- ② 自治体1団体あたり上限200万円（募集等に要する経費）
- ③ 隊員等1人あたり上限100万円（任期終了の日から起算して前1年以内又は任期終了の日から1年以内に活動地と同一市町村内で起業する者が起業に要する経費）

(1) 募集スケジュール

平成30年2月 選考（書類審査、面接）

平成30年4月 委嘱、活動開始

3 30年度予算額

68,556千円

報償費、活動費	59,285千円（15人分。うち新規は6人分）
全体活動経費	600千円
募集等に要する経費	518千円
起業支援に係る経費	8,000千円
諸費（事務局経費）	153千円

4 その他参考事項

平成30年度活動内容及び導入団体（新規分・予定）

No.	活動内容	導入予定 人数	活動支援 団体等
1	地場産業である鞆と「かばんのまち豊岡」をPRしている商店街（カバンストリート）で実施される事業に関わり、中心市街地活性化を促進する活動	1名	宵田商店街振興組合
2	農業を生業の一つとした新たな生活スタイルの確立	1名	竹野の農業を守る会
3	地域資源を活用し、第1次産業（農業、林業、畜産、狩猟）や特産品づくりを柱とした生業の確立	1名	三原区
4	担い手のいない中山間地での農産物の生産と6次産業化への取組みなどによる地域活性化につながる活動	1名	小河江区
5	神鍋高原の大自然を生かした体験メニューの開発等誘客につながる活動	1名	かんなべ自然学校
6	神鍋高原地域での農産物の栽培及び加工品開発、農業体験メニューの開発など、農業の活性化につながる活動	1名	農業生産法人 Teams
7	新たな観光メニューの開発、地域振興などの事業を企画・立案から実行までを担い、地域の活性化につながる活動	1名	コミュニティ三方
8	伝統技法の継承と産地振興へつながる活動	1名	出石焼陶友会
9	兵庫県立出石高等学校と地域の連携をコーディネートし、地域の将来を担う人材育成を図る活動	1名	兵庫県立出石高等学校
10	地域が取り組んでいる教育交流事業に新しい視点・発想を取り入れ、自主的な活動を促進させる活動	1名	高橋振興対策協議会
11	遊休農地等を活用した特産品の開発販売と地域資源や伝統行事を活用した体験プログラムの提供	1名	合橋地域づくりの会
12	「赤花そば」の振興とブランド化を図りながら、農業技術を習得し、地域農業の担い手を目指す活動	1名	赤花そばの郷農事組合法人
合 計		12名	

担当課名【エコバレー推進課】（内線2313）

施策体系番号 3-3-1-2

No.24	事業名 経済成長戦略の推進	30年度 予算額	51,738 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域経済の成長に向けた戦略的な取組みを示す方策を策定するとともに、良好な地域経済循環を創出し製造品出荷額等1,300億円を達成する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 地域経済循環創造事業（総務省「地域経済循環創造事業交付金」活用）

地域金融機関等と連携し、地域資源を活かした先進的で持続可能な事業化の取組みを促進し、地域での経済循環を創造させるため、中小企業者が事業化段階で必要となる経費に対して補助金による支援を行う。

ア 対象事業

次のいずれにも該当する事業

- (ア) 地域資源を活用する事業
- (イ) 地域の雇用を生み出す事業
- (ウ) 地域金融機関から融資を受ける事業
- (エ) 域外マネー獲得又は環境経済推進に寄与する事業
- (オ) 公共的課題を解決する事業
- (カ) 高い新規性・モデル性がある事業

特に、次に関連する事業で極めて高い新規性・モデル性がある事業を重点支援する。

- (キ) 国等が開発・支援して実証段階にある新技術を活用した事業
- (ク) 2020年東京オリパラ・ラグビーW杯2019関連事業
- (ケ) 明治150年関連事業
- (コ) 古民家等を活用した観光まちづくりに関連する事業

イ 対象経費 施設整備費、機械装置費、備品費

ウ 補助金額 上限 25,000千円

② 夢但馬産業フェア

夢但馬産業フェアを開催し、但馬地域企業の技術などを広く紹介することで企業取引機会の拡大を図るとともに地域住民及び若年者に対する企業情報の発信による将来的なU・Iターン促進等を総合的に推進する。

ア 展示 屋内外あわせて120小間程度

イ 事業 基調講演又はセミナー、出展者プレゼンテーション、中学・高校社会科見学（地域学習）、大学生向け企業ツアー、出展者交流会

ウ 負担金 構成団体負担金 853千円

(2) 事業期間

- ① 平成26年度～30年度
- ② 平成26年度～

(3) 事業主体

- ① 市内中小企業者
- ② 夢但馬産業フェア実行委員会（事務局：養父市商工会、但馬県民局）

3 30年度予算額

負担金・補助金	50,853千円
事務費	885千円
合計	51,738千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線2301）

施策体系番号 3-1-7-4

No.25 事業名 観光の振興	30年度 予算額	103,291 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

交流人口の拡大を図る大交流実現のため、観光誘客の促進、市内周遊拡大のための二次交通の充実、様々な媒体を活用した効果的な広告宣伝や情報発信、各種メディア・旅行エージェント等へのアプローチ、地域の特色を生かした集客イベントへの支援などを行う。

2 全体の事業内容

(1) 主な内容

- ① 国内誘客促進事業 319千円
旅行エージェント、旅行関連団体等への営業活動を行い、旅行商品の造成・新規開拓、教育旅行等の誘致による誘客拡大を図る。
- ② カーシェアリング社会実証実験事業 5,218千円
自動車保有率の高い本市のような地方都市におけるカーシェアリング事業の成立性を検証するため、豊岡駅前、市役所、城崎温泉駅周辺を拠点に、タイムズ24株の運用オペレーションによるカーシェアリング事業を展開する。
- ③ 観光協会等運営支援事業 55,457千円
各観光協会及び豊岡ツーリズム協議会の運営支援を行うとともに、相互連携の推進やさらなる誘客促進を図るための調査研究事業を行う。
また、観光を学ぶ学生を対象としたインターンシップ事業やクルーズ客船「にっぽん丸」の歓迎式典、市民を対象とした船内見学会などを行う。
- ④ 地域イベント支援事業 11,670千円
各地域で実施される観光客集客イベントを支援し、誘客拡大を図る。
豊岡街歩き、北前まつり、竹野カニカニカーニバル、竹野浜オープンウォーター大会、たけの海上花火大会、兵庫・神鍋高原ジオ・ウォーク、神鍋火山まつり、出石お城まつり、出石藩きもの祭り
- ⑤ 観光パンフレット制作事業 307千円
観光ガイドマップをリニューアルする。
- ⑥ 日本海縦断観光ルート形成事業【新規】 1,886千円
観光による交流人口を増やし、日本海沿線の経済発展を目指すため、新潟市、福井県敦賀市、京都府舞鶴市、本市の4市とWILLER株式会社が発起人となり協議会を設立し、日本海沿線を縦断的に移動する旅行者を創出するためのプラットフォーム構築に取り組む。
- ⑦ 閑散期団体誘客拡大事業【新規】 11,000千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）
観光需要が低迷する閑散期(4月～6月、9月及び10月)の宿泊者数拡大を図るため、団体客を中心とした誘客の促進を図る。（債務負担行為）
- ⑧ 永楽館での演劇上映を用いた出石地域活性化事業【新規】 1,400千円
観光客の滞在時間延長を目的に、永楽館で定期的に短編演劇を上映し、新たな出石地域での観光素材となり得るかを検証する。

担当課名【大交流課】（内線2321）

施策体系番号 3-1-2-3

No.26	事業名 豊岡市農業ビジョンの策定	30年度 予算額	3,667 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2015年農林業センサスによる、豊岡市の農業経営者の年代構成は70歳代が約41%を占め、60歳代まで含めると約77%となっている。

このままでは、10年後には豊岡の農業を支える人材が圧倒的に不足し、衰退の恐れがあるため、豊岡の農業を守るための農業ビジョンを策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市内の農業者、農業法人及び関係機関等へのアンケート、ヒアリングによる基礎調査を行い、現状を把握し分析を行う。

その結果を基に、豊岡市農業ビジョン策定検討会（仮称）を設置し、戦略的な進め方や、重点的な政策についての方針を作成する。

(2) 事業期間

平成30年度～平成31年度

(3) 事業主体

豊岡市



【ワークショップの様子(イメージ)】

3 30年度予算

(1) 予算額

3,667千円

(2) 事業内容

- ① 農業ビジョン策定検討会（仮称）に係る会議費、事務費
- ② 農業ビジョン策定支援業務委託（会議支援、基礎調査）

担当課名【農林水産課】（内線2358）

施策体系番号 3-1-3-2

No.27	事業名	農業の振興（耕畜連携流通システム確立）	30年度 予算額	7,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

環境創造型農業に取り組む耕種農家を中心に良質な堆肥の需要がある一方で、畜産農家の偏在や運搬・一時貯留の問題により連携が進んでいない。

他方で、但馬牛の増頭推進施策により、但馬地域では平成32年度目標4,100頭をすでに達成するなど増頭が進んでいるが、生産対策面の課題として糞尿処理の問題がある。

このため、但馬全体での堆肥需給バランスを調整するために、耕畜連携による広域需給調整・堆肥散布システムを構築する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

耕種農家が、堆肥を利用した土づくりをいつでも行えるよう、一時堆積施設（ストックヤード）を低コストで整備するとともに、堆肥散布に必要な機械設備一式を導入する。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

（仮称）但東地域広域流通堆肥利用組合

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

14,000千円（県1/4、市1/4、事業主体1/2）

3 30年度予算

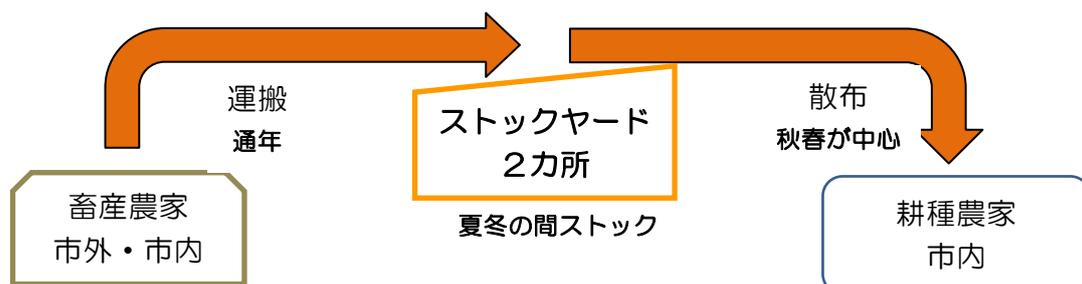
(1) 予算額

耕畜連携システムの確立
7,000千円

(2) 事業内容

低コストストックヤードの整備（L字コンクリート擁壁 A=200㎡ 2カ所）
堆肥散布機械の整備（マニアスプレッダー、ダンプベッセル 各1台）

【計画全体イメージ】



担当課名【農林水産課】（内線2358）

施策体系番号 3-1-3-2

No.28	事業名	環境保全型農業直接支払事業（コウノトリ育む農法の推進）	30年度 予算額	51,004 (6,000)	千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------------	-------------	-------------------	----	----------------

1 事業目的（趣旨）

環境保全効果の高い営農活動を支援し、生物多様性保全を図るとともに、環境創造型農業の持続的な発展を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

コウノトリ育む農法による水稻無農薬栽培を推進するため、既存の国制度による交付金に加え、当該栽培方法に取り組む農業者等に交付金を交付する。

(2) 事業期間

平成 30 年度～31 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30 年度予算

(1) 予算額

6,000 千円

(2) 事業内容

コウノトリ育む農法（無農薬栽培）の冬期湛水…4,000 円/10 a（A=150ha）

※予算の範囲内で交付する。

（参考）国制度による交付金の例

- ① 有機農業…8,000 円/10 a
- ② 冬期湛水…4,000 円～8,000 円/10 a
- ③ 中干延期…3,000 円/10 a
- ④ 堆肥施用…4,400 円/10 a

※満額交付の場合の交付例。いずれか一つの取組みに対して交付する。

※負担率 … 国 1/2、県 1/4、市 1/4



水田はコウノトリの重要な餌場



多くの生きものを育む冬期湛水

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

No.29	事業名 鳥獣被害防止緊急対策	30年度 予算額	184,448 千円 (167,002)	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	----------------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

野生動物による農作物被害は依然として農業者に深刻な影響を与えている。そのため防除対策として国や県の財政支援を受け獣害防護柵の設置等を推進する。

また、捕獲対策については、「第2期シカ有害被害撲滅大作戦」の2年目として、わな猟によるシカ捕獲専任班を中心とした現行の捕獲体制を継続し、シカの生息状況に応じた“隙間の無い捕獲”に取り組むことで、農業被害の減少を図る。

2 平成30年度の事業内容

(1) 内 容

① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業）

- ・事業主体：豊岡市野生動物被害対策推進協議会
- ・事業量：金網柵（3地区）L=12,280m、電気柵（3地区）L=9,170m、ワイヤーメッシュ柵（9地区）L=25,950m

② 有害鳥獣駆除対策事業

- ・事業主体：豊岡市、豊岡市野生動物被害対策推進協議会
- ・内 容：特に被害が大きいシカ対策として、シカ捕獲専任班の実施等により、年間の捕獲頭数6,500頭（有害捕獲5,000頭）を目標に捕獲を進める。

③ シカ緊急捕獲拡大事業

- ・事業主体：豊岡市
- ・内 容：狩猟期におけるシカの捕獲を推進するため、狩猟者へ報償金を支給する兵庫県へ負担金を支払う。

(2) 事業費（補助率・負担率等）

- ① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業） 82,136千円
（金網柵：国50%～55%、その他柵：国85%、特交・県・市）
- ② 有害鳥獣駆除対策事業 73,300千円
（シカ：国7千円/頭・特交・県・市、カワウ：特交・県・市、その他獣種：特交・市）
- ③ シカ緊急捕獲拡大事業 11,566千円
（特交・県・市）

3 第2期シカ有害被害撲滅大作戦の概要

(1) 目標

- ① 第2期（平成29年度～平成31年度）の3年間、年間のシカ捕獲目標頭数を6,500頭とする。また、有害捕獲による年間捕獲頭数5,000頭の達成を目指す。
- ② シカ農業被害面積を第2期の対策により、平成31年度末には、第1期対策前の平成25年度シカ農業被害面積以下に減少させる。

【シカ農業被害面積の推移】

（単位：ha）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
34.46	44.59	43.20	35.58

(2) 捕獲体制の主な内容

- ① シカ捕獲専任班による捕獲活動を、捕獲効率の下がっている「銃猟」中心から捕獲効率の高い「わな猟」中心にシフトする。
 - ア 銃猟によるシカ捕獲専任班を2班から1班に再編し、わな猟によるシカ捕獲専任班を拡充する。
 - イ わな猟によるシカ捕獲専任班を3班から5班へ拡充し、罠の設置数増加により捕獲頭数を増加させる。
- ② 捕獲実施隊（鳥獣害対策員）による捕獲活動の本格実施。

緊急を要する捕獲に加え、JR線路敷地内や円山川河川敷内（ラムサールエリア等）、人家密集地域等での捕獲活動を計画的に実施する。

4 その他参考事項

《関連事業》

- ① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ソフト事業） 1,770千円（国50%・特交・市一部国100%）
 - ・サル対策用動物位置情報システムの導入、サル用GPS首輪発信器の購入等
- ② 有害鳥獣駆除対策事業 15,676千円（特交・市）
 - ・鳥獣害対策員の配置、一般駆除や一斉駆除の業務委託、集落による捕獲柵・防護柵の設置や新規狩猟免許取得支援、60歳以上の高齢者による防護柵の設置に係る助成等



野生動物対策の専門職員として活動する市鳥獣害対策員

No.30	事業名	農道橋の耐震化・長寿命化の推進	30年度 予算額	18,008 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市の交通ネットワーク上重要な役割を担っている広域基幹農道の安心・安全な交通を確保するため、橋梁施設（蓼川大橋、五条大橋、鉢山橋及び新田橋）について現在の基準による耐震化事業と併せて長寿命化のための補修事業を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 耐震化事業：橋脚補強、落橋防止工など
- ② 長寿命化事業：鋼材塗装工、支承防食工、伸縮装置交換など

(2) 事業期間

- ① 耐震化事業：平成28年度～平成34年度
- ② 長寿命化事業：平成28年度～平成35年度

(3) 事業主体

兵庫県

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ① 耐震化事業：負担金(負担率 8%) 80,384千円 1,004,800千円×8%
- ② 長寿命化事業：負担金(負担率15%) 90,150千円 601,000千円×15%

3 30年度予算

(1) 予算額

- ① 耐震化事業：負担金(負担率 8%) 15,608千円 195,100千円×8%
- ② 長寿命化事業：負担金(負担率15%) 2,400千円 16,000千円×15%

(2) 事業内容

- ① 耐震化事業：蓼川大橋の橋脚補強：5脚、鉢山橋の落橋防止装置設置：2箇所
- ② 長寿命化事業：鉢山橋：伸縮装置交換及び上部工塗装の塗替



担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-2-1-2

No.31	事業名 但馬食肉センターの改修	30年度 予算額	36,446 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但馬食肉センター（旧朝来市食肉センター）は築後40年以上が経過していることから老朽化が激しく、衛生面での適正な維持管理が困難な状況にある。また、国は、食品衛生管理の国際基準「HACCP（ハサップ）」の導入を全ての食品事業者に義務付ける方針を決定したことから、同センターにおいてもこの決定に即した早急な施設改修が求められている。

神戸ビーフの国内外での需要の増加により、素牛となる但馬牛の市場での取引価格も高値を維持しており、但馬牛の振興を図る上でも同センターの改修が必要不可欠であると但馬3市2町が共通認識を確認し、HACCP基準に対応した施設整備を進め、但馬全体で但馬牛の更なる振興を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

但馬食肉センター改修事業

但馬3市2町の協定に基づき、各市町の応分の負担により、兵庫県版HACCP基準に適応した施設の改修を行う。改修内容は、屋外防水工事や外構工事、床面・壁面・天井・建具・受水槽の改修のほか、病畜と室の改修、サニタリーの新設工事など。

（平成29年度：実施設計 平成30年度：改修工事）

(2) 事業期間

平成29年度～平成30年度

(3) 事業主体

（株）但馬牛振興公社



【改修を行う但馬食肉センター】

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

総事業費263,500千円（工事監理料：13,500千円 改修工事費：250,000千円）

（負担率：均等割1/3、利用頭数割1/3、飼養頭数割1/3）

（単位：千円）

区 分	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町	合 計
負担額	37,681	98,906	28,178	63,944	34,791	263,500

3 30年度予算

(1) 予算額

36,446千円

（合併特例債 34,600千円、ひょうご地域創生交付金 一般財源分の1/2）

(2) 事業内容

工事監理料、改修工事費

担当課名【農林水産課】（内線2358）

施策体系番号 3-1-3-5

No.32	事業名 林業の振興	30年度 予算額	97,193 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

森林は、木材製品を供給するほか、国土保全機能、水源涵（かん）養機能、生物多様性の保全など私たちが安全安心で快適な生活をおくるために欠かせない多くの機能を果たしている。また、地球温暖化防止においても二酸化炭素の吸収等により大きな役割を担ってきた。

ところが、近年の林業衰退とともに森林が持つ多面的機能が十分に発揮されず、全国で林業衰退が原因と思われる災害が起きている。本市では、安全安心な生活のため、総面積の8割を占める森林において以下の事業を継続的に行うことで、森林の持つ多面的機能の高度発揮に努める。

2 全体の事業内容

(1) 市行造林事業

① 内 容

市行造林地の除間伐等の保育業務（市内10箇所、約50ha）

市行造林地内の作業道開設（市内6箇所、4,900m）

② 事業主体 豊岡市

③ 平成30年度予算 52,257千円

(2) 森林管理100%作戦推進事業

① 内 容

間伐作業等の経費を、森林所有者に代わって市と県が負担することで、森林を適切に管理する。 間伐：195ha 作業道：3,160m

② 事業主体 北但東部森林組合等

③ 平成30年度予算 11,887千円（補助金等）

(3) 森林整備地域活動支援推進事業

① 内 容

森林経営計画作成者が、市長と締結する協定に基づき行われる地域活動に対して交付金を交付する。

② 事業主体 豊岡市

③ 平成30年度予算 6,020千円

(4) 森林再生戦略推進事業

① 内 容

市行造林地の森林調査を行う。 約70ha

② 事業主体 豊岡市

③ 平成30年度予算 1,119千円

(5) 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業

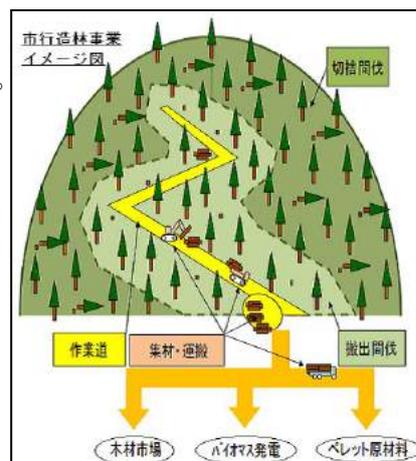
① 内 容

人工林を伐採した跡地に広葉樹を植樹し、災害に強い森づくりを推進する。

作業道開設1地区 1,800m 現地調査1地区 約30ha

② 事業主体 北但東部森林組合

③ 平成30年度予算 25,910千円（補助金等）



担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-1-4-2

No.33 事業名 漁港の管理	30年度 予算額	143,174 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

漁港の機能維持と漁業集落の環境保全を目的に、引き続き田結漁港の出入口に防波堤を延伸整備する。

また、平成25年度に策定した田久日漁港機能保全計画に基づき、簡易調査（5年に1度）を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 田結漁港整備事業

① 内 容

直接的な波浪（高波）の襲来を防ぐ既存防波堤の延伸整備

L=100m（H28：L=30m施工済 H29：L=31.5m施工済

H30：L=21.0m実施予定

H31：L=17.5m計画）

② 事業期間 平成28年度～平成31年度

③ 事業主体 豊岡市

④ 平成30年度予算 138,000千円（合併特例債）



機能保全計画策定事業【新規】

⑤ 内 容

田久日漁港機能保全計画に基づき簡易調査を実施し施設の変状の進行を確認する。

⑥ 事業主体 豊岡市

⑦ 平成30年度予算 5,174千円

担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 3-1-5-1

No.34 事業名 生物多様性の保全	30年度 予算額	5,127 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

コウノトリをシンボルに、多様な生きものが暮らすことのできる自然環境を保全するため、様々な主体・地域と連携して、希少生物保護や外来種対策の実施、生物多様性の普及啓発などを行う。また、科学的根拠に基づいて策定した自然再生アクションプランの実践により、自然再生の推進を図る。

事業の推進にあたっては、平成25年度に策定した「豊岡市生物多様性地域戦略」に基づき、地域コミュニティを活かした施策を継続・拡充する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

コウノトリをシンボルに、地域コミュニティを活かした生物多様性保全の推進

(2) 事業期間

平成23年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

5,127千円

(2) 事業内容

① 生物多様性保全施策の推進（2,047千円）

生物多様性の普及啓発、市民団体等による自然再生活動への支援

② 自然生態系の保全（1,757千円）

国内希少種等の生息地保全と外来生物対策、シカ、イノシシの食害等からの森林資源や生態系の保全

③ 全国の自治体との連携（88千円）

生物多様性自治体ネットワークへの参画

④ 自然再生アクションプランの実践（1,185千円）

平成29年度に策定した自然再生アクションプランに基づいた自然再生の実践

⑤ 生物多様性地域戦略の見直し（50千円）

平成25年度に策定した「豊岡市生物多様性地域戦略（平成25年度から15年間）」の第2期短期戦略（平成30年度～平成34年度）の策定

担当課名【コウノトリ共生課】（内線2341）

施策体系番号 2-1-1-2

No.35	事業名	ラムサール条約関連事業	30年度 予算額	5,175 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」（平成24年7月登録、560ha）の保全と賢明な利用を進め、コウノトリの重要な生息域の持続的な保全につなげる。

コウノトリの生息地づくりに多くの市民が携わることで、半世紀以上にわたって続けられてきたコウノトリ野生復帰の取組みを確実に未来へ、子どもたちへつないでいくと共に、世界に向けて発信していく。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

野外に生息するコウノトリの生息域を持続的に保全する必要があることから、平成24年に登録されたラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」のエリアに加え、百合地や出石町伊豆の人工巣塔に営巣するコウノトリが生息するエリアの拡張認定に向け取り組んできた。

平成30年10月21日～29日にアラブ首長国連邦（ドバイ）で開催されるラムサール条約第13回締約国会議において認定される見込みであり、認定証授与式及びサイドイベント等に参加し、コウノトリ野生復帰の取組みを世界へ発信する。

(2) 事業期間

平成23年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

5,175千円

(2) 事業内容

- ① エリア保全（217千円）
 - ・ラムサールエリアの保全に向けた検討会の開催
- ② 普及啓発（1,833千円）
 - ・啓発用パンフレット、タペストリー、懸垂幕の作成
 - ・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、世界湖沼会議等への参加
- ③ エリア拡張（3,125千円）
 - ・ラムサール条約第13回締約国会議への参加
 - ・エリア拡張記念事業の開催

担当課名【コウノトリ共生課】（内線2341）

施策体系番号 2-1-1-2

No.36	事業名 地籍調査	30年度 予算額	178,905 千円	新規 拡大 継続
-------	----------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

精度の高い土地情報を調査把握して、その成果を有効に活用する。公共事業や災害復旧事業の効率的かつ円滑な実施及び適切な土地の管理や課税の公正公平化に寄与する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

一筆ごとの土地について、土地所有者等の関係人立会のもと、その所有者・地番・地目等の調査を実施するとともに、土地境界の確認特定と地積測量を行い、これらに係る「地籍簿（案）」と「地籍図（案）」を作成。土地所有者等の関係人がこれを閲覧確認したのち、国県の認証を経て法務局へ送付する。

登記完了した調査対象地区においては、申請に基づき一筆ごとの土地図形と筆界点座標値に関する証明書の発行が可能となる。

(2) 事業期間

平成18年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負担率 県営事業 国50%、県50%

市営事業 国50%、県25%、市25%

3 30年度予算

(1) 予算額

178,905千円

(2) 事業内容

【実施大字】 継 続：高屋、戸牧、上陰、福田、岩井、宮井、庄、城崎町楽々浦、竹野町小城、日高町水上、出石町福見、但東町西谷（12大字）

新 規：吉井、野垣（2大字）

【事業量】 調査素図作成、図根三角測量 4.75km²

一筆地（現地立会）調査、詳細測量 3.37km²

地籍簿（案）・地籍図（案）作成、閲覧 4.50km²

担当課名【地籍調査課】（内線2381）

施策体系番号 3-2-1-3

No.37	事業名 内水処理 (山田川流域内水対策)	30年度 予算額	48,000 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

栃江橋の架け替えに伴い、福田地区の慢性的な湛水の原因となっている横断暗渠の改修を行うとともに下流域（下陰区）への影響を抑制するため、排水ポンプ施設を構築し別途計画している下水道事業の雨水幹線整備と併せて山田川流域全体の浸水被害の軽減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

解析業務、ポンプ施設概略・詳細設計、用地測量、用地買収、ポンプ施設整備

(2) 事業期間

平成27年度～34年度（予定）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

48,000千円

(2) 事業内容

土砂浚渫工事

ポンプ施設詳細設計

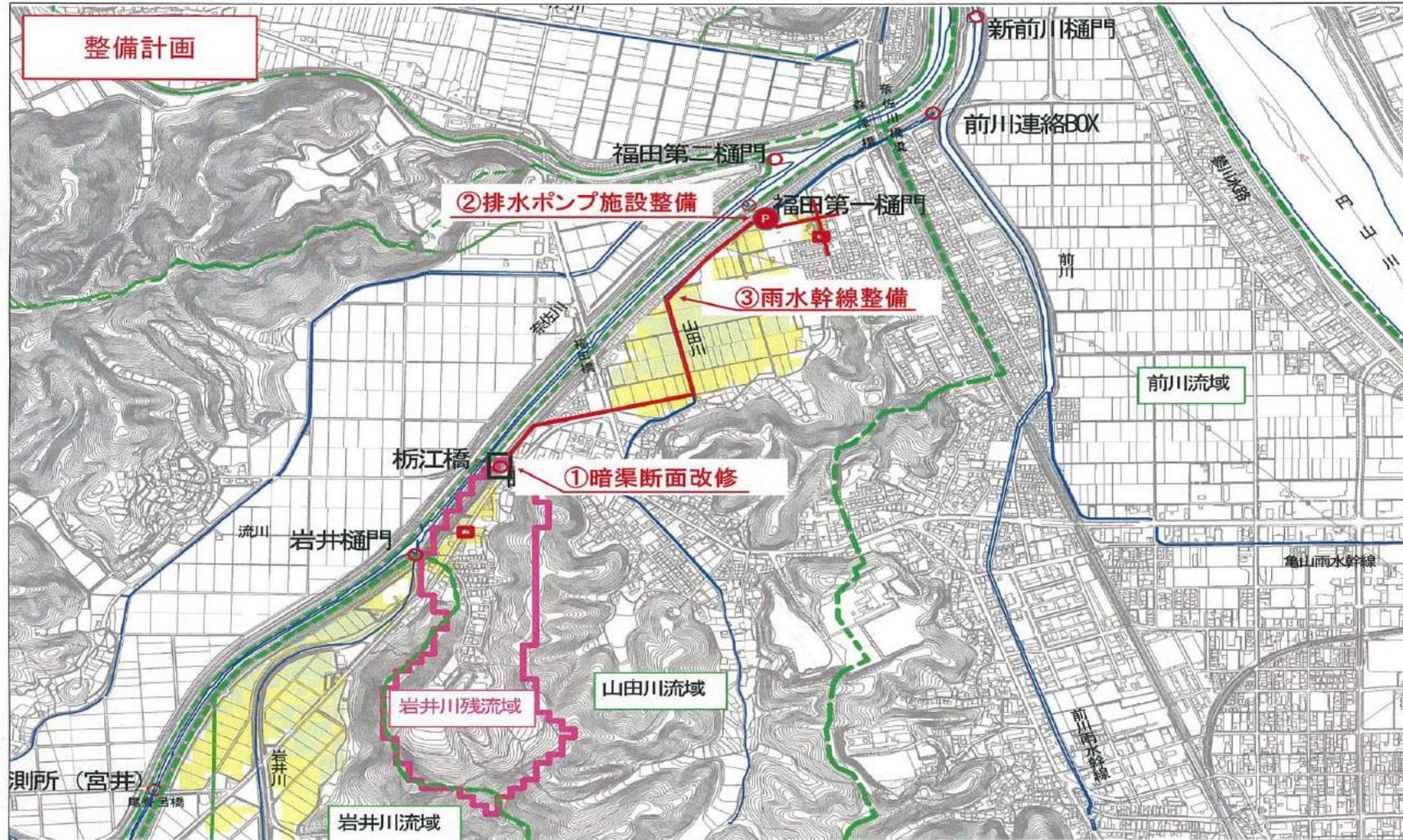


担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 1-1-1-1

内水処理(山田川流域内水対策)

【建設課資料】



No.38	事業名 内水処理 (国府地区内水対策)	30年度 予算額	17,000 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的 (趣旨)

国府地区の内水による浸水被害の軽減を図るため、蓼川用水路と排水路の間にバイパスとなる導水管を設置し、内水を速やかに八代排水機場から排水する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

設計業務 (ピット、導水管、ゲート)

工事 (ピット改修、導水管、ゲート)

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

17,000千円

(2) 事業内容

設計業務 (ピット、導水管、ゲート)

工事請負費 (ピット改修、導水管、ゲート)

4 その他参考事項

台風18号及び21号の状況から、早期改修を行うもの。

担当課名【建設課】 (内線2421)

施策体系番号 1-1-1-1

内水処理(国府地区内水対策)

位置図

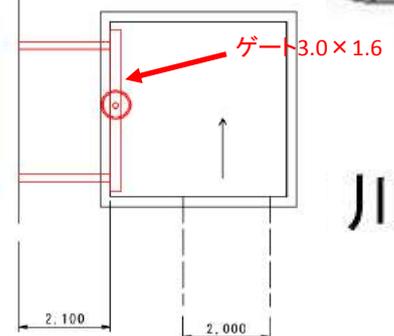
S= —



国府内水
導水管L=2m、ゲート3.0m×1.6m



国府内水
平面図



No.39	事業名 道路維持 (大規模舗装修繕、排水施設改良等)	30年度 予算額	170,000 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道における老朽化の著しい舗装及び側溝について、計画的に修繕及び改修を行うことで、快適な生活環境、安全安心な道路環境を確保する。

また、道路法に基づき実施した道路構造物点検の結果を踏まえ、補修工事を行い道路構造物の長寿命化を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額

170,000千円

(2) 事業内容

① 大規模舗装修繕

卸団地八崎団地線	L=250m	下陰 地内
三坂納屋線	L=130m	上佐野 地内
弘原坪井線	L=200m	出石町宮内 地内
荒木長砂線	L=180m	出石町細見外 地内

② 側溝修繕

正法寺岩井線	L=150m	高屋 地内
大永小路線	L= 70m	千代田町 地内
森本御又線	L= 70m	竹野町森本 地内
久斗夏栗線	L= 50m	日高町夏栗 地内
日野辺下地線	L= 80m	出石町日野辺 地内
今津本線	L= 70m	城崎町今津 地内

③ 道路構造物長寿命化

赤崎江原線（ロックシェッド補修工事）	L=190m	日高町浅倉 地内
正法寺岩井線（法面補修工事）	N=2箇所	正法寺 地内
正法寺坂津線（法面補修工事）	N=2箇所	但東町正法寺 地内

④ 道路防災事業

一日市水路沿線（道路補修）	L=100m	一日市 地内
正法寺外（排水ポンプ修繕）	N=3台	正法寺外 地内
南高校線（排水ポンプ更新）	N=2台	九日市上町 地内

⑤ 道路情報板等

加広野田線（監視カメラ設置）	N=1箇所	野田 地内
浅倉たじま荘線（情報板設置）	N=4箇所	日高町浅倉 地内

⑥ 駅東西連絡道

電気設備更新（高圧ケーブル、開閉器、漏電警報機の更新）	大手町 地内
-----------------------------	--------

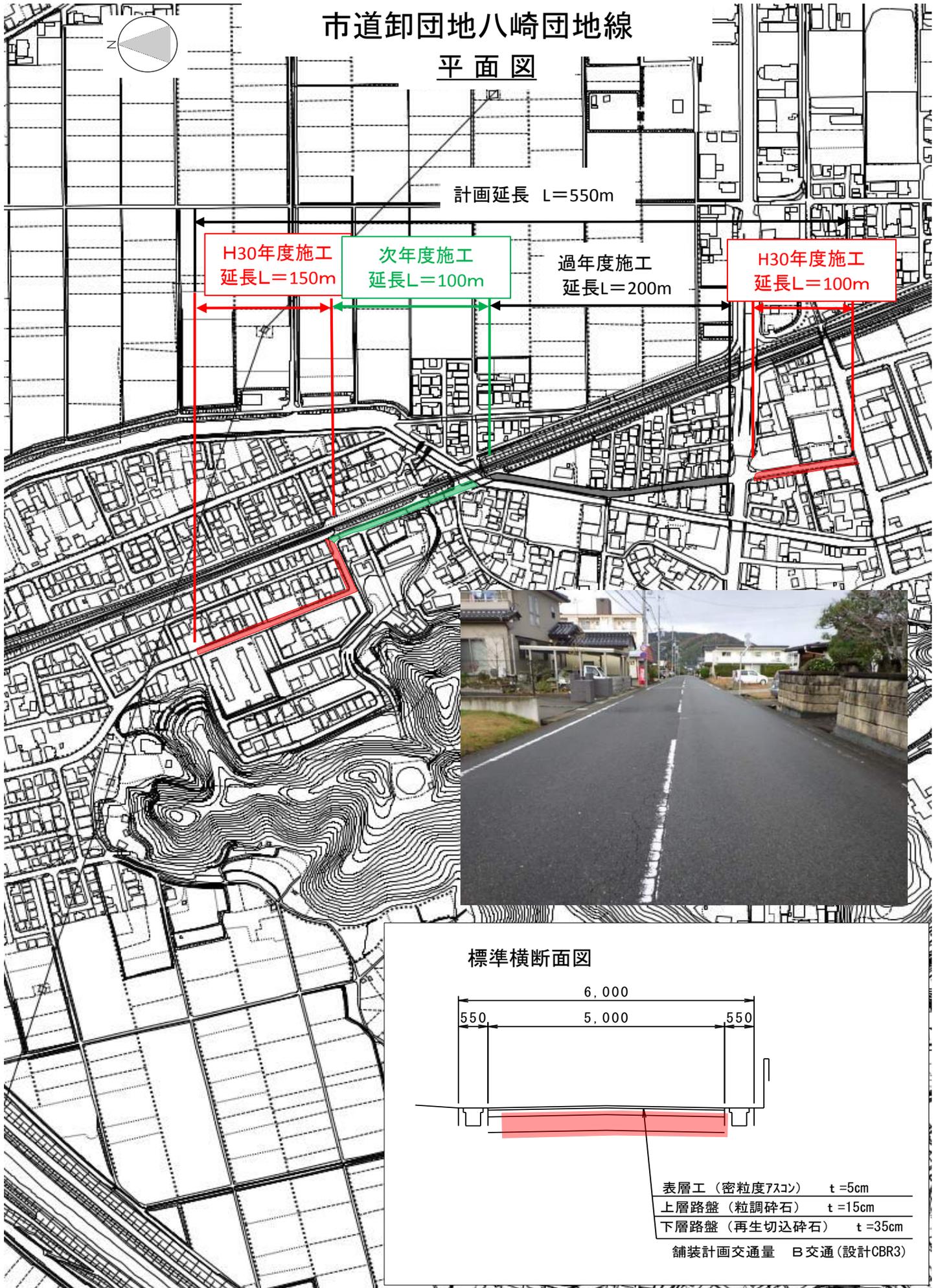
担当課名【建設課】（内線2421）

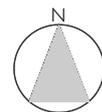
施策体系番号 3-2-3-3

道路維持事業(大規模舗装修繕事業)

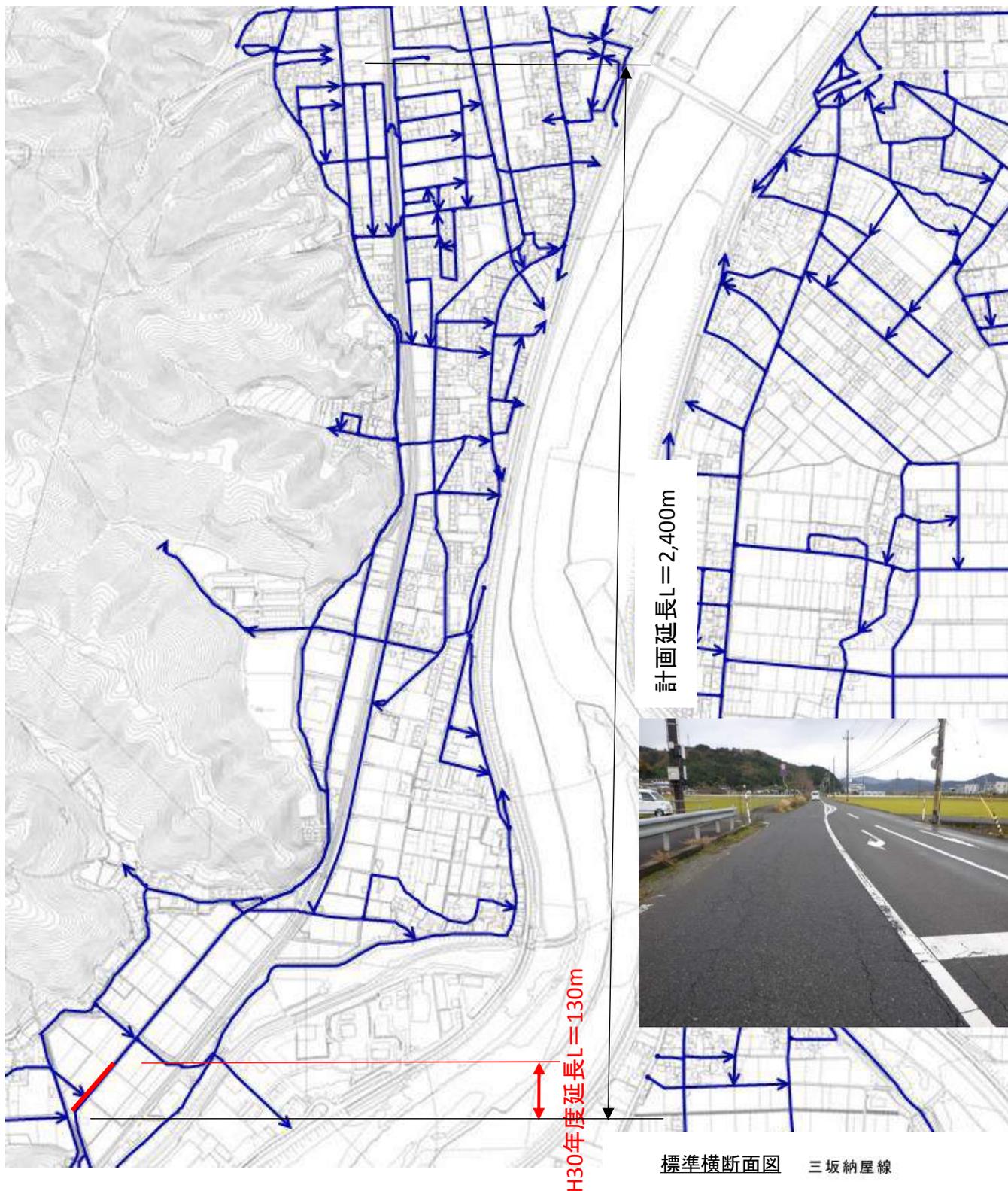
市道卸団地八崎団地線

平面図





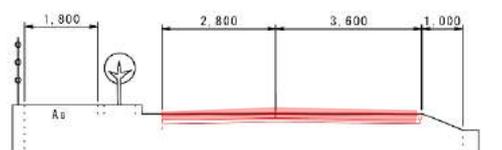
市道三坂納屋線 平面図



計画延長L=2,400m

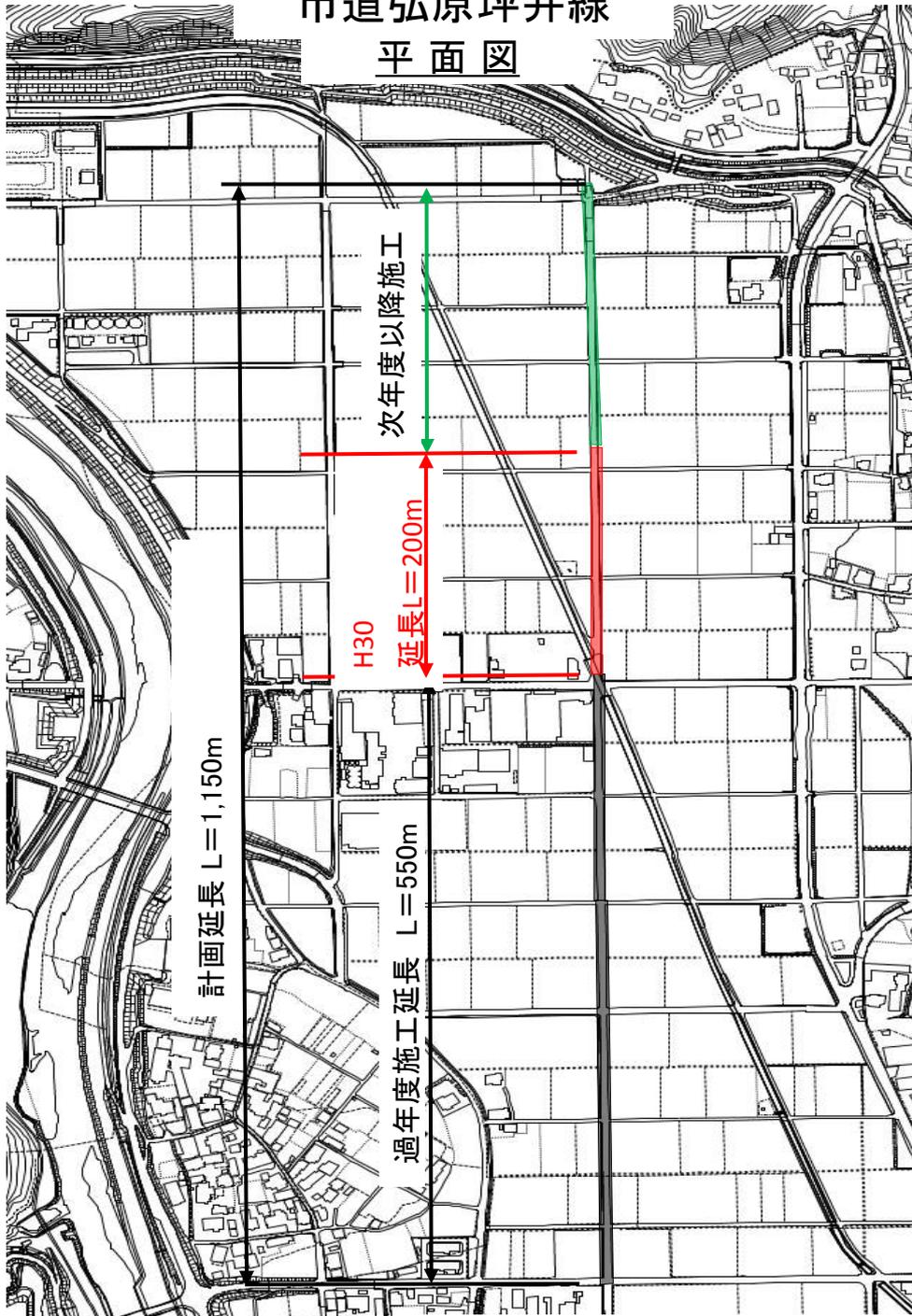


標準横断面図 三坂納屋線

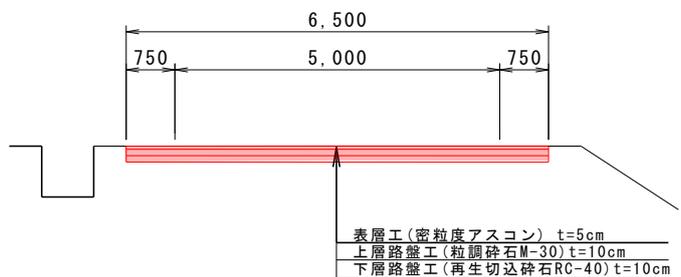


道路維持事業(大規模舗装修繕事業)

市道弘原坪井線
平面図



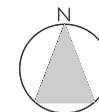
標準横断面図



舗装計画交通量 L交通(設計CBR8)

市道荒木長砂線

平面図

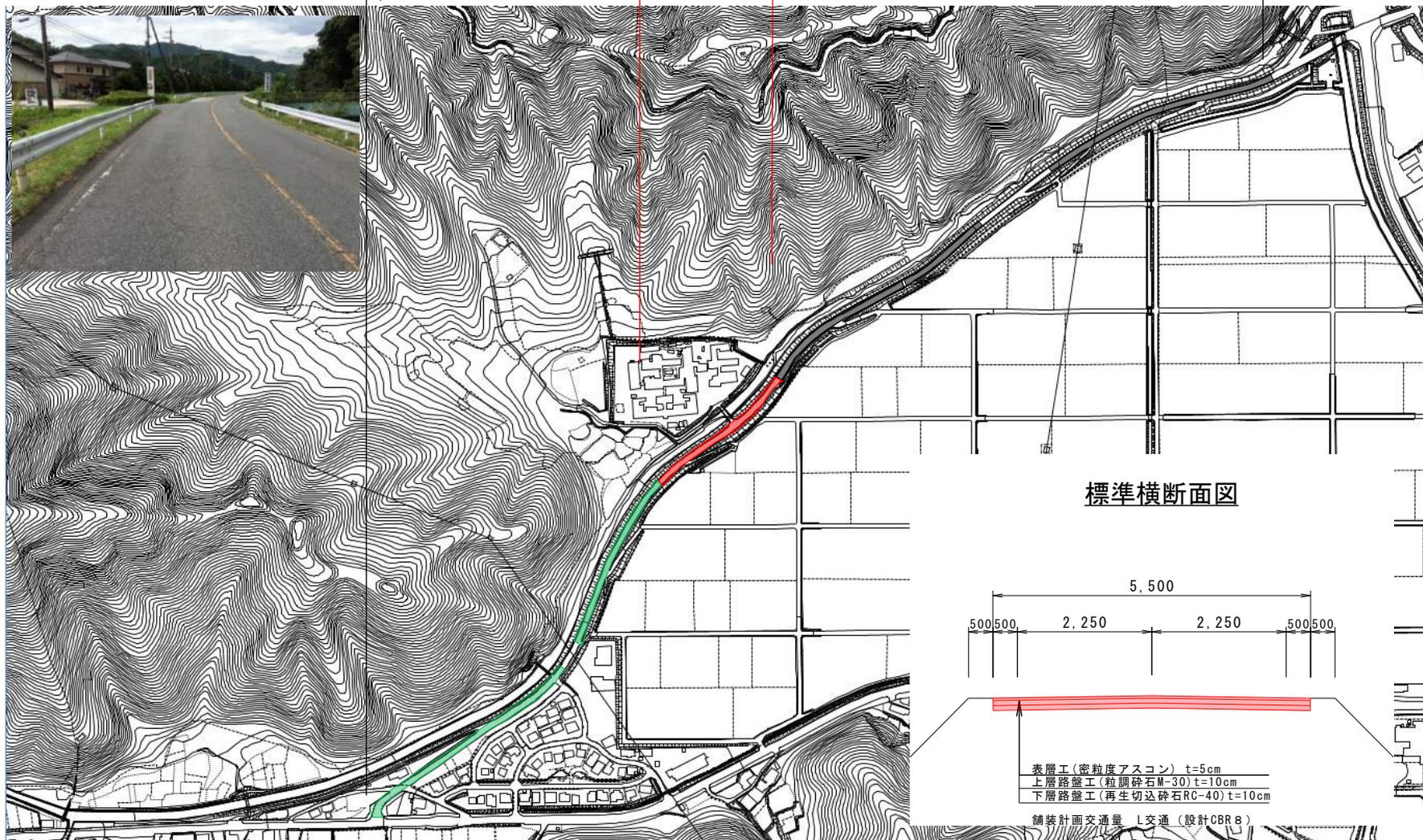


計画延長L=1,505m

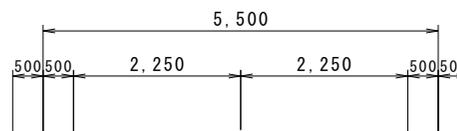
次年度以降施工

H30年度延長L=180m

過年度施工済



標準横断面図



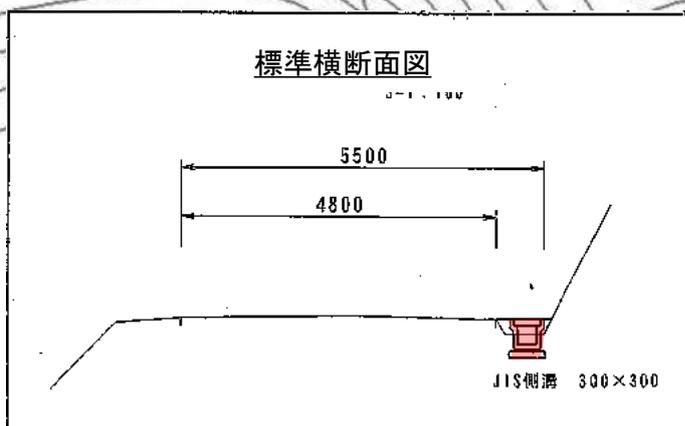
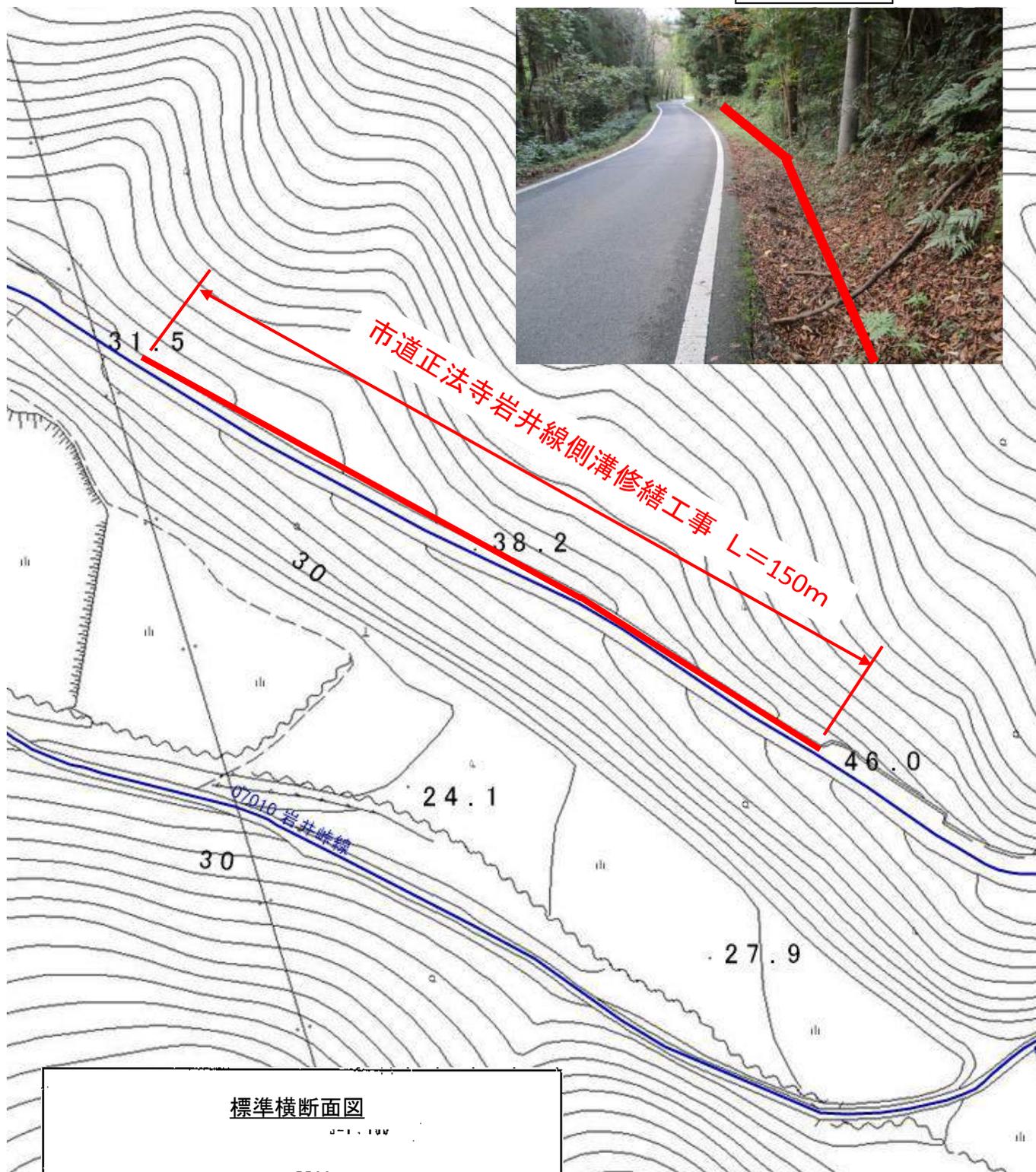
- 表層工(密粒度アスコン) t=5cm
- 上層路盤工(粒調碎石M-30) t=10cm
- 下層路盤工(再生切込碎石RC-40) t=10cm

舗装計画交通量 L交通(設計CBR8)

市道正法寺岩井線

平面図

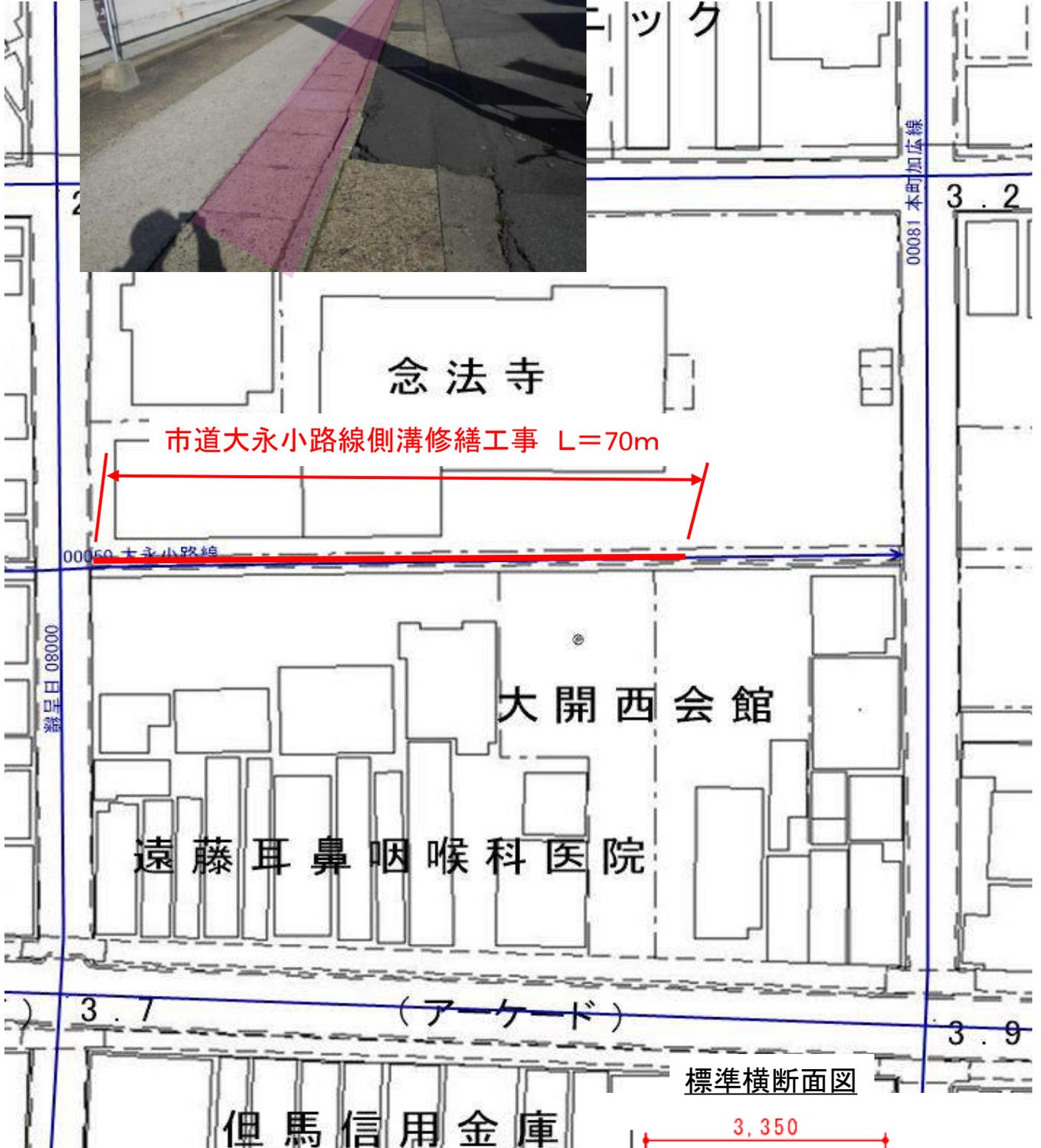
S= —



市道大永小路線 平面図



S= —



道路維持事業(側溝修繕事業)

市道森本御又線

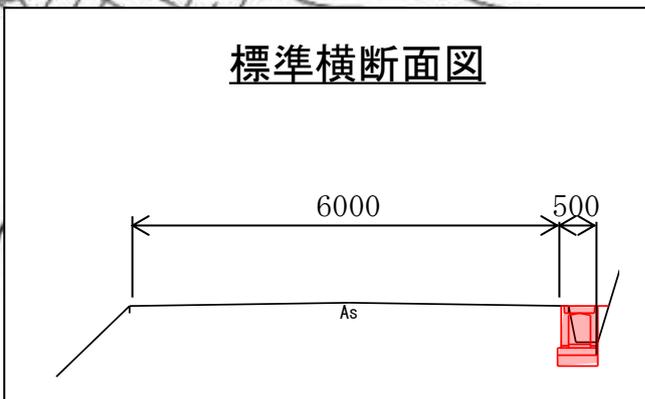
平面図



S= —



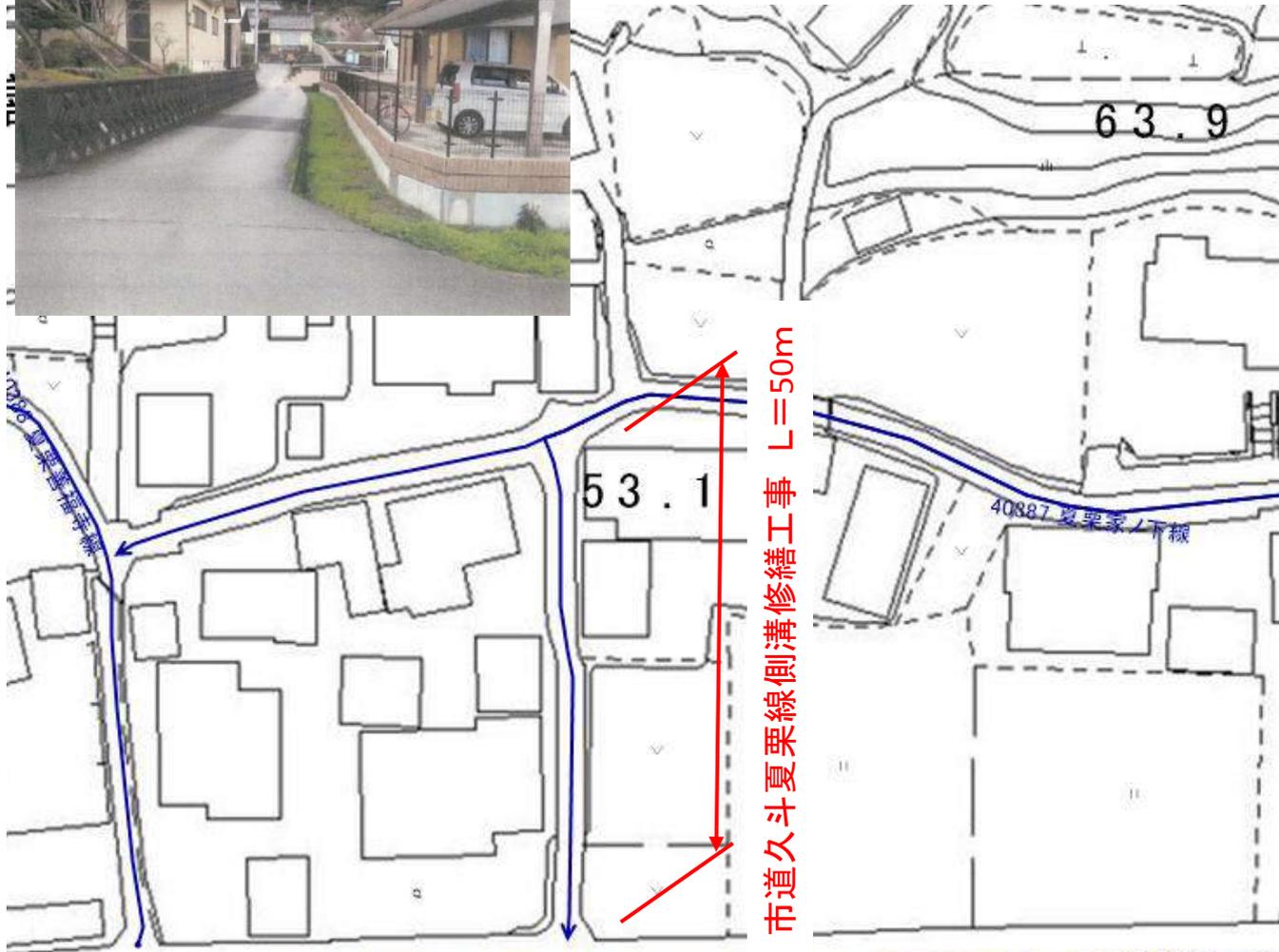
標準横断面図



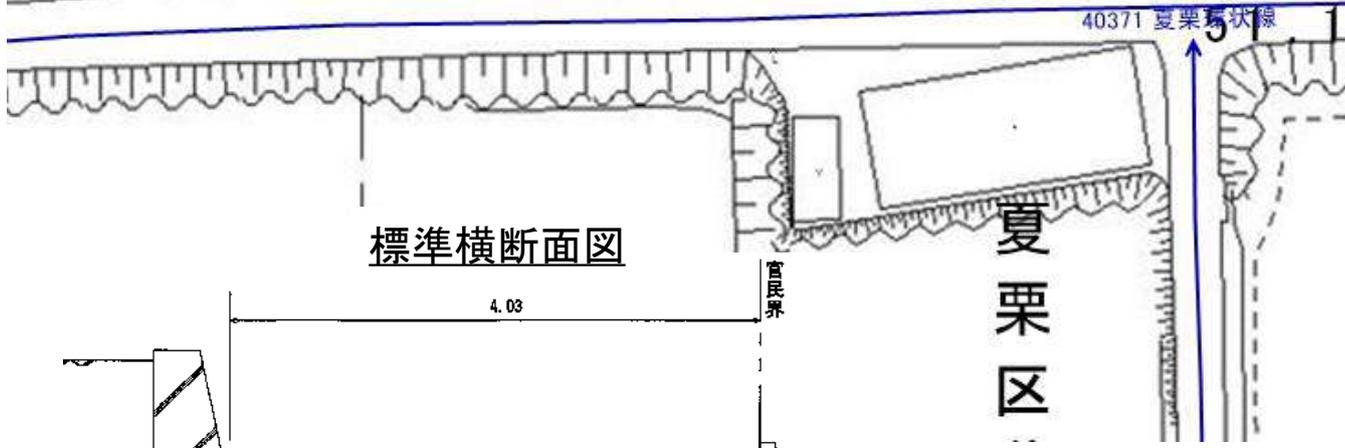
市道久斗夏栗線 平面図



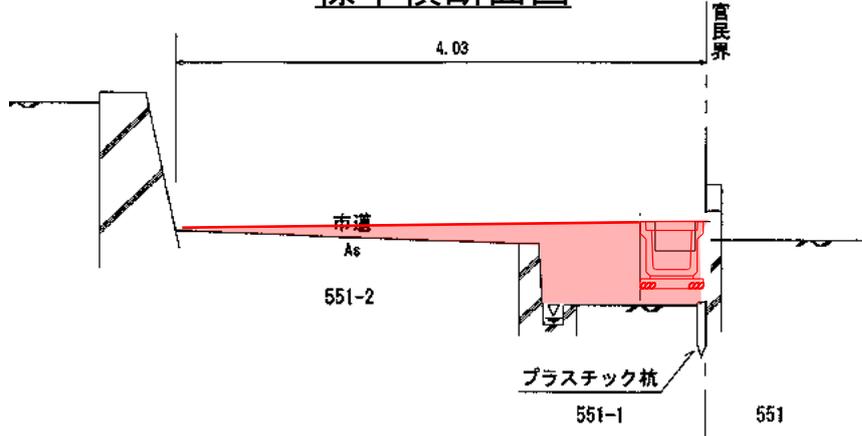
S= —



市道久斗夏栗線側溝修繕工事 L=50m



標準横断面図

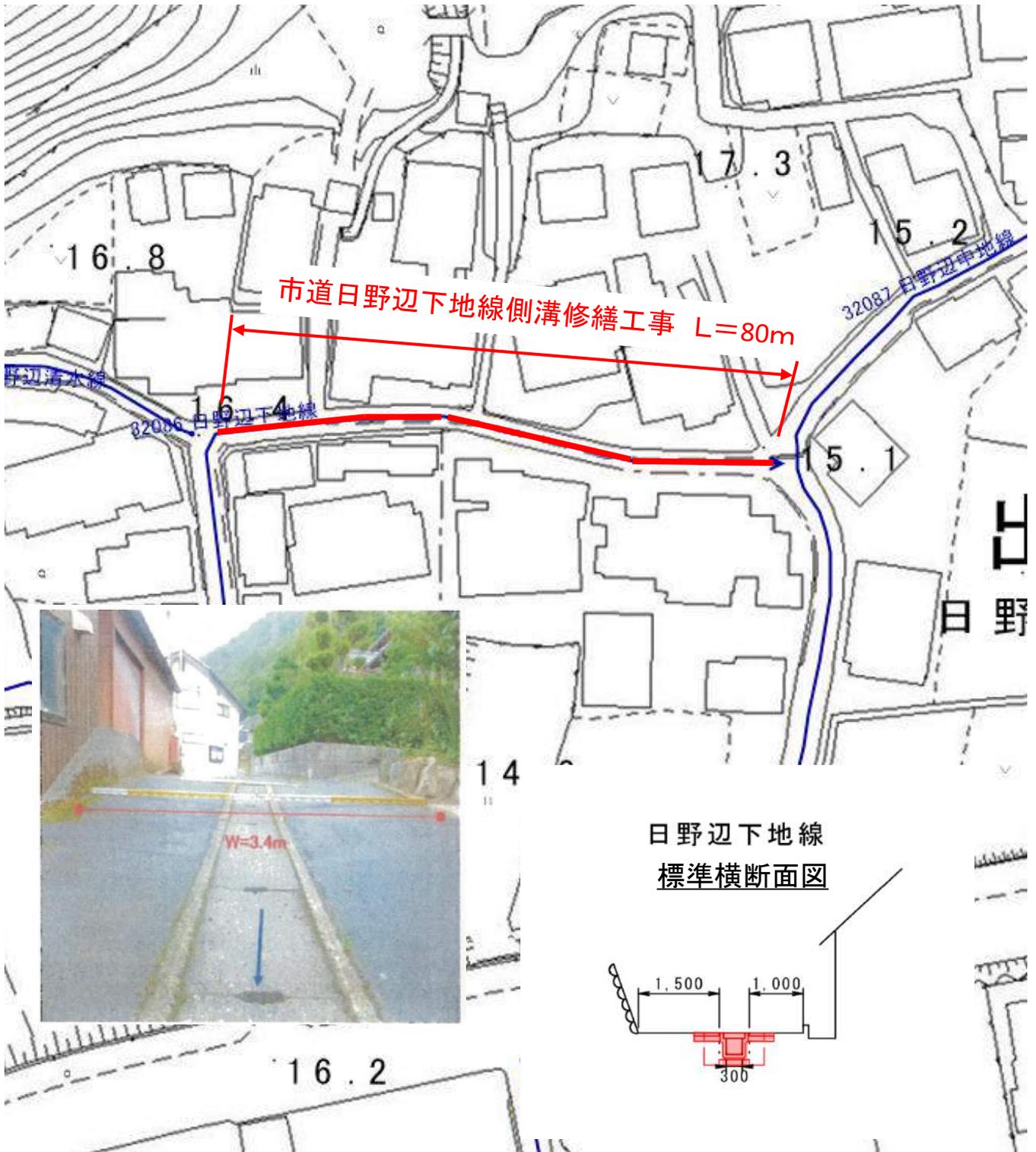




市道日野辺下地線

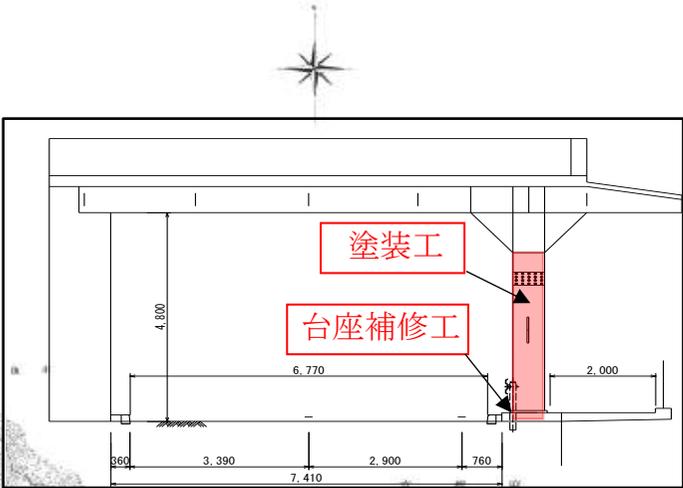
平面図

S= —



道路構造物長寿命化事業 (ロックシェッド)

赤崎江原線 (ロックシェッド) L=190m

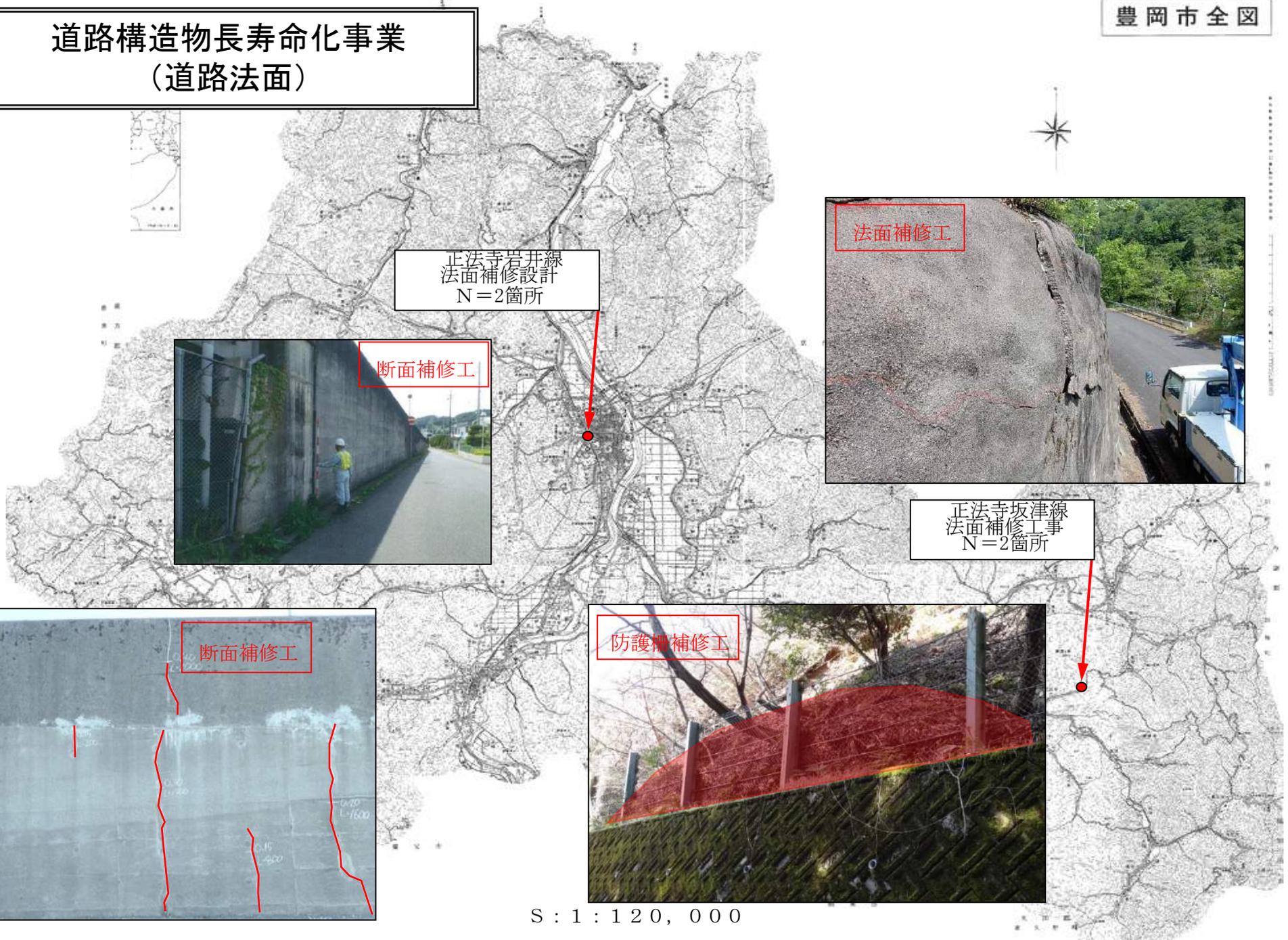


標準横断面図



S : 1 : 120, 000

道路構造物長寿命化事業 (道路法面)



正法寺岩井線
法面補修設計
N=2箇所

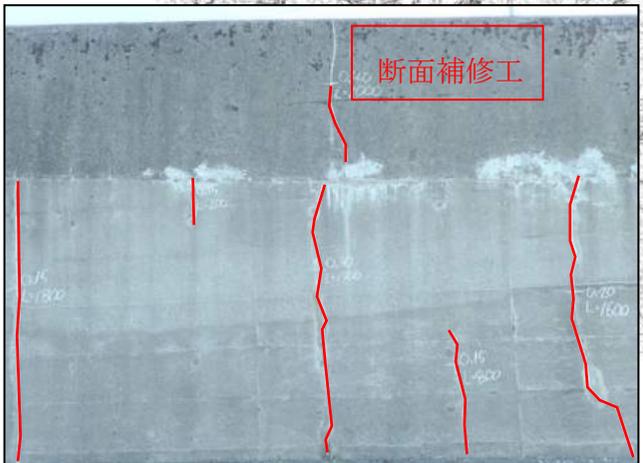


断面補修工



法面補修工

正法寺坂津線
法面補修工事
N=2箇所



断面補修工



防護柵補修工

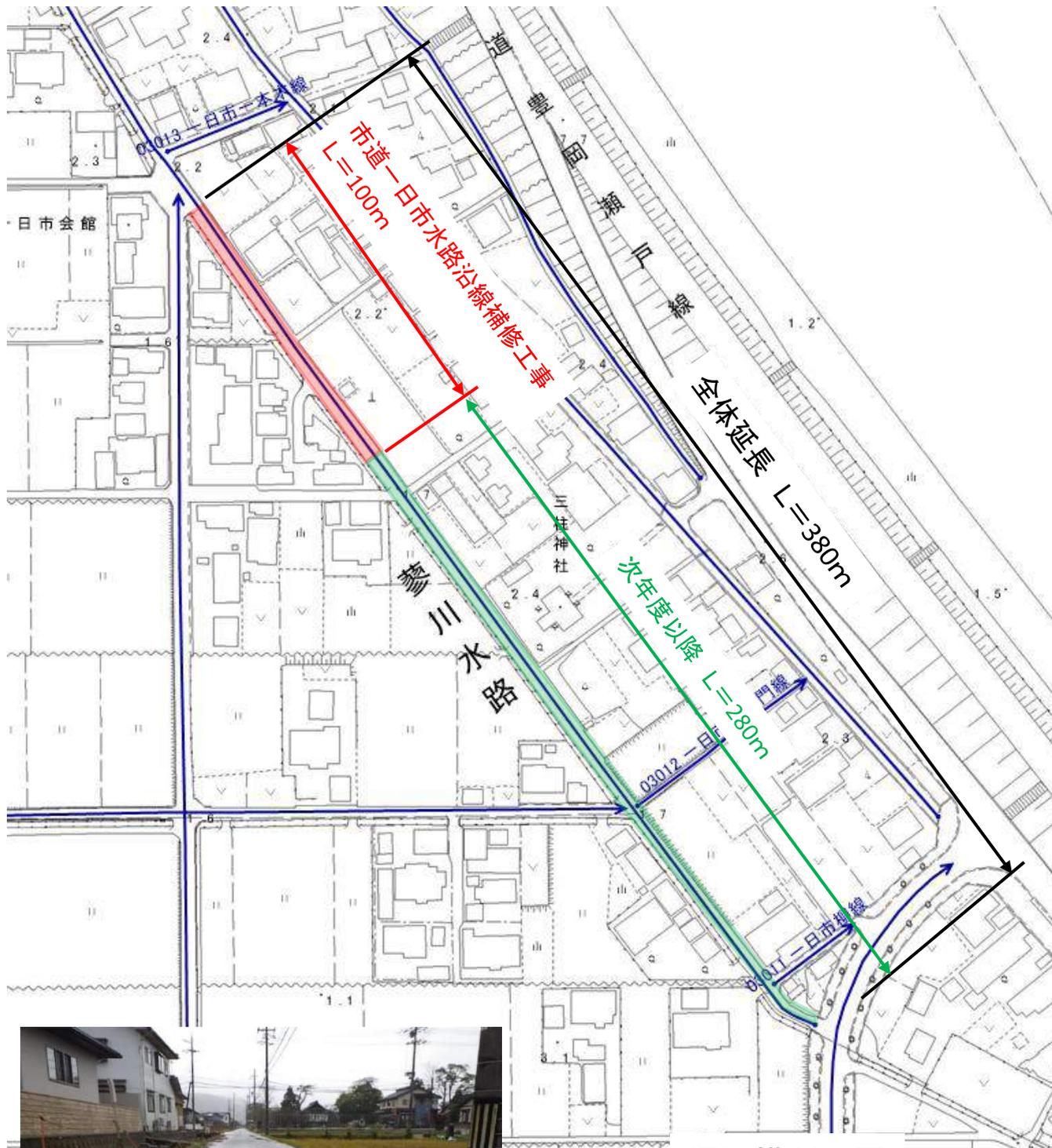
S : 1 : 120, 000

市道一日市水路沿線

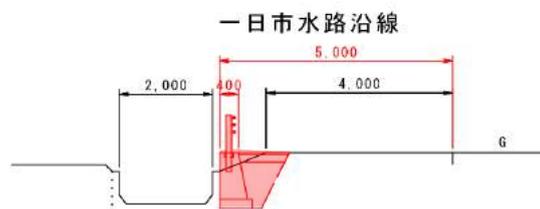
平面図



S= —



標準横断面図

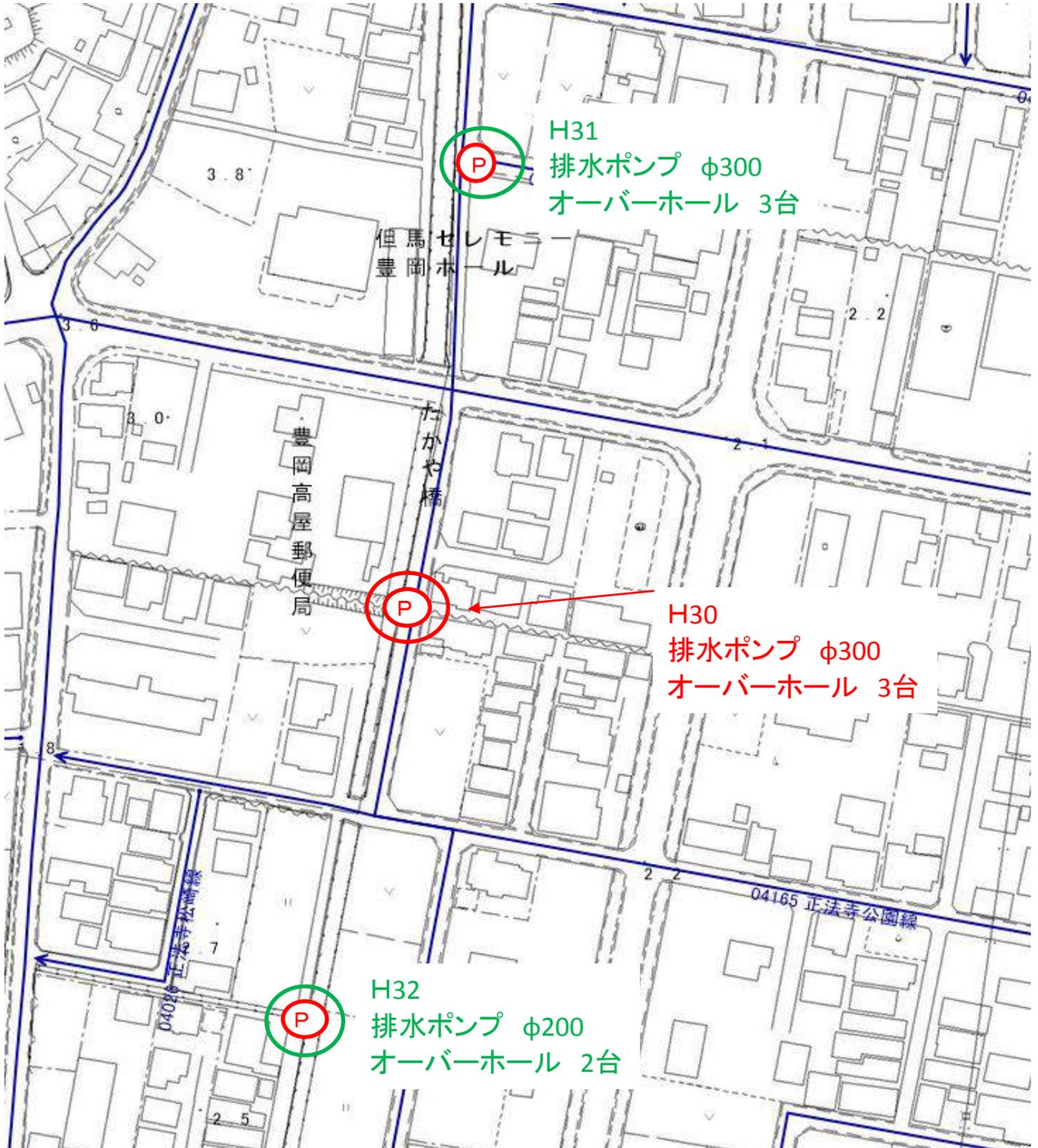


正法寺外(排水ポンプ修繕)



平面図

S= —



道路維持事業(道路防災事業)

市道南高校線(排水ポンプ修繕)

平面図

S= —

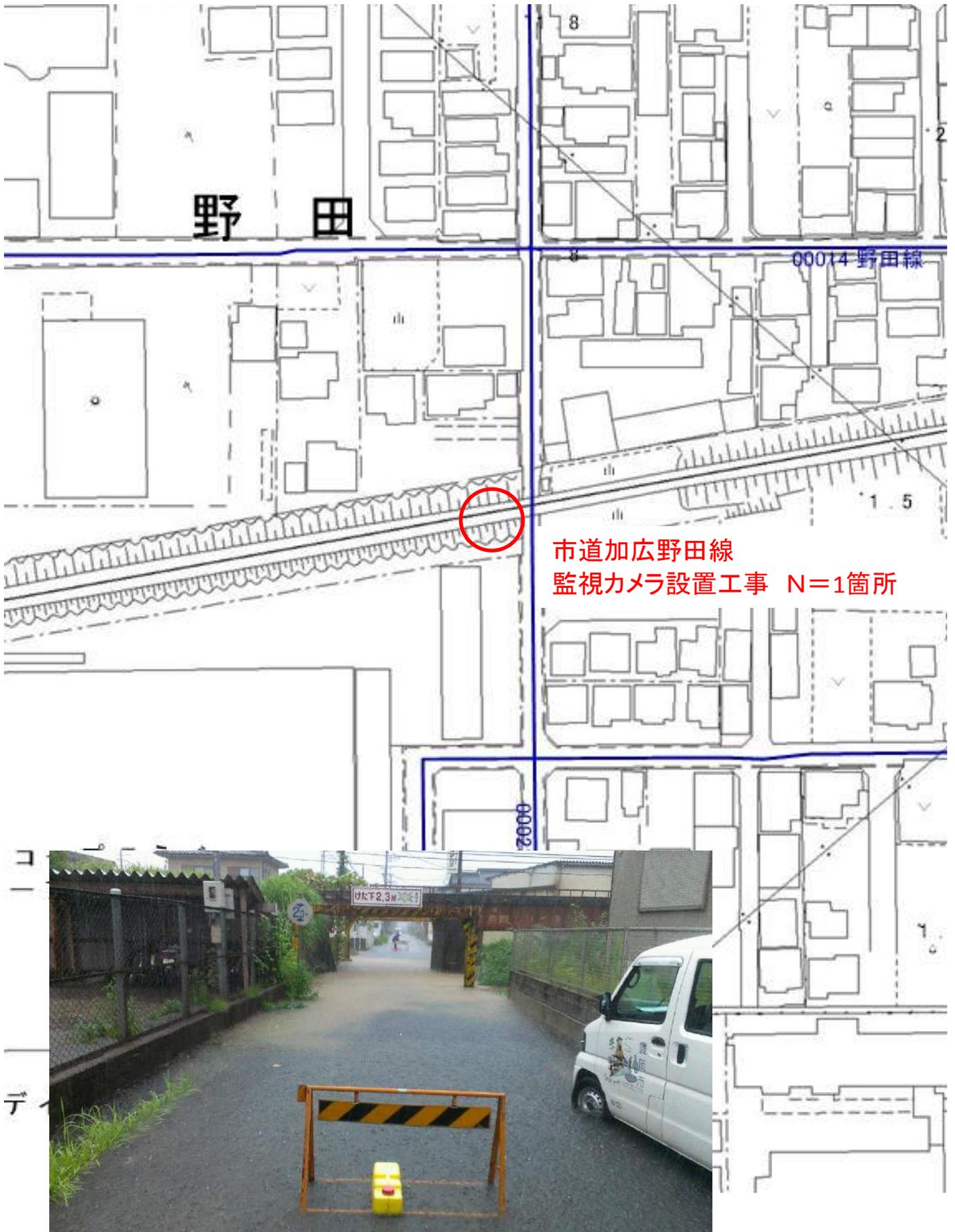


市道加広野田線(監視カメラ設置)



平面図

S= —



市道浅倉たじま荘線(情報板設置)

平面図

S= —



市道浅倉たじま荘線
道路冠水情報表示板設置工事 N=4箇所



No.40	事業名 道路整備 (市単独事業：池上日吉線)	30年度 予算額	40,000 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

広域的な道路網の構築、通学路や避難路などの安全・安心確保を目的として、地域の生活に密着した道路整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

池上日吉線道路改良事業
道路改良工事、路線測量、詳細設計

(2) 事業期間

平成26年度～平成33年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

40,000千円

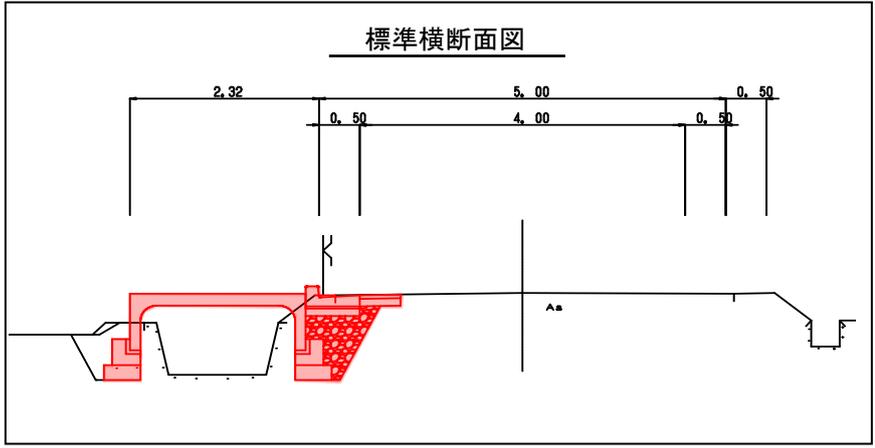
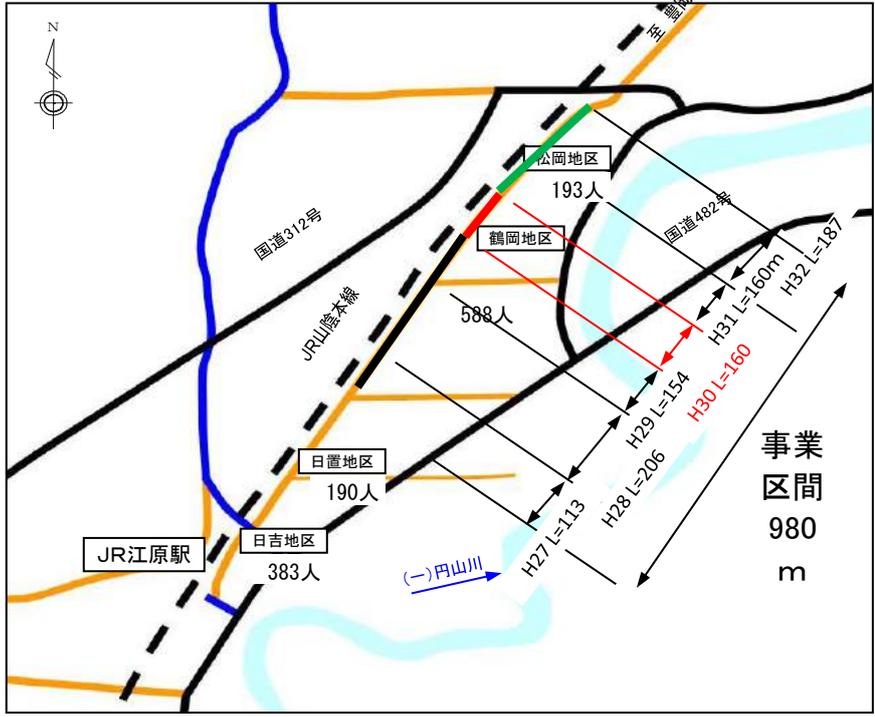
(2) 事業内容

道路改良工事 L=160m 日高町鶴岡～松岡 地内

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-3

池上日吉線道路改良事業



No.41	事業名 道路整備 (市単独事業：加陽池端線)	30年度 予算額	18,200 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道が台風などの大雨の度に道路冠水し、避難や緊急自動車の通行に支障を来たすため、道路の嵩上げを行い、地域の安全・安心を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

加陽池端線 道路冠水対策事業
道路嵩上工事 L=160m
路線測量 L=160m

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

18,200千円

(2) 事業内容

道路嵩上工事 L=160m
路線測量 L=160m

4 その他参考事項

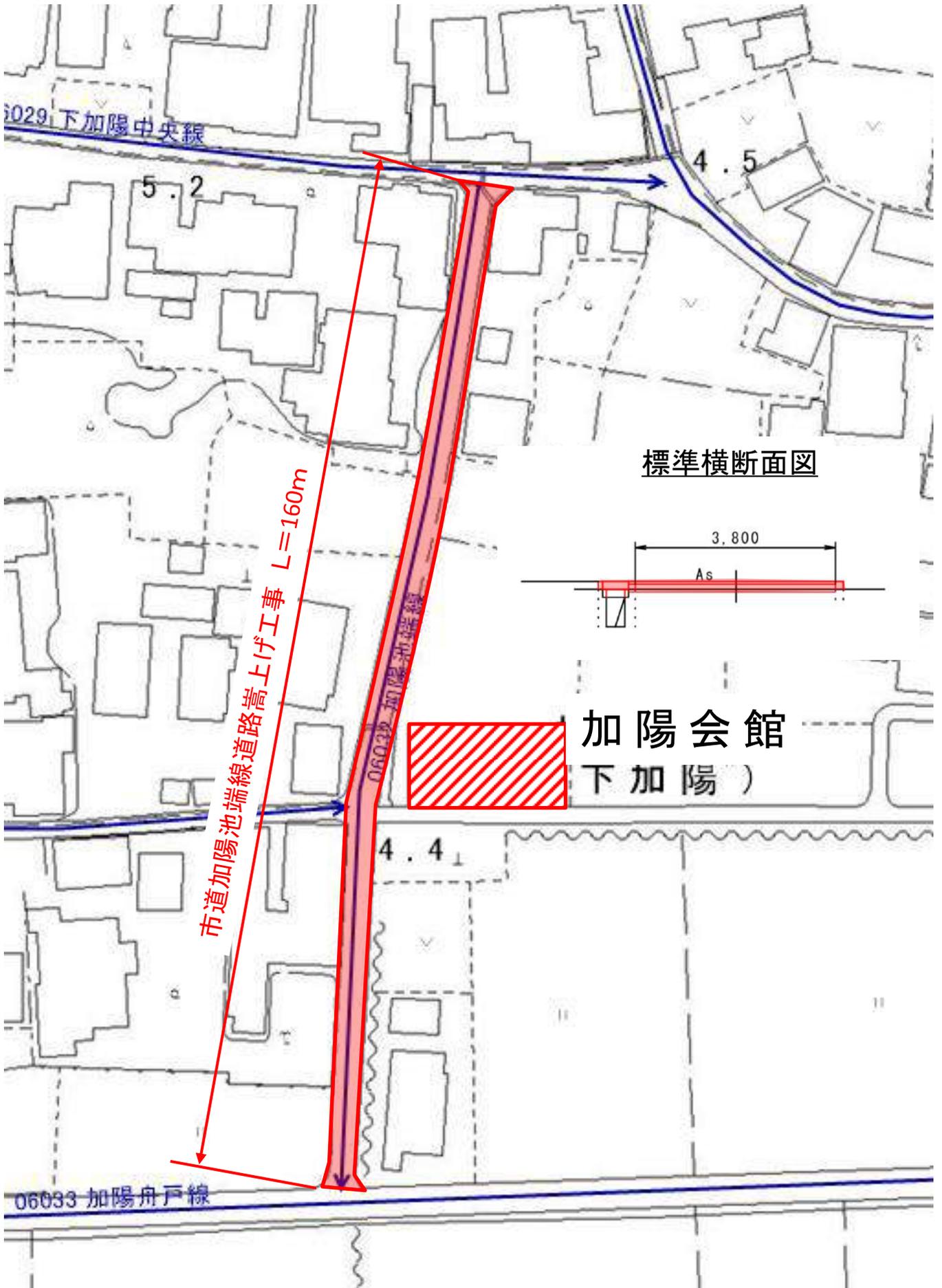
区の防災拠点となる加陽会館（地区会館）へのアクセス道路である当該路線の嵩上げを行う。

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-3

市道加陽池端線

平面図



市道加陽池端線道路嵩上げ工事 L=160m

標準横断面図

加陽会館
(下加陽)

No.42	事業名	道路整備 (補助事業：栃本太田線)	30年度 予算額	34,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本路線は、清滝小学校の通学路として利用されているが、歩道が無い上、見通しも悪く、児童の通学時に危険な状態となっている。このため、歩道を整備し車道と分離することにより、安全・安心を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

栃本太田線道路改良事業

道路改良工事、路線・用地測量、詳細設計、用地買収、物件移転補償

(2) 事業期間

平成28年度～平成32年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

防災・安全交付金（50%）

合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

34,000千円

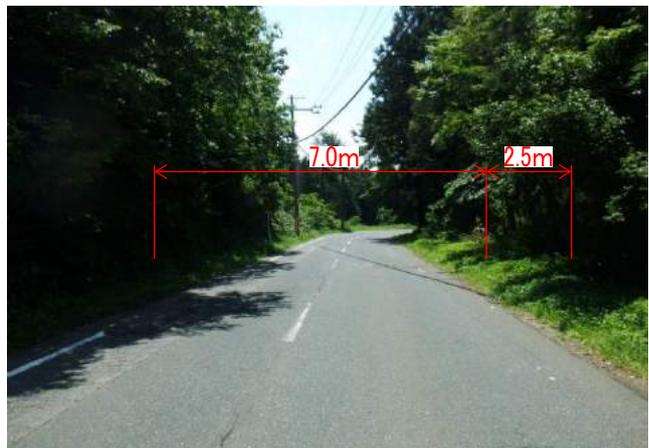
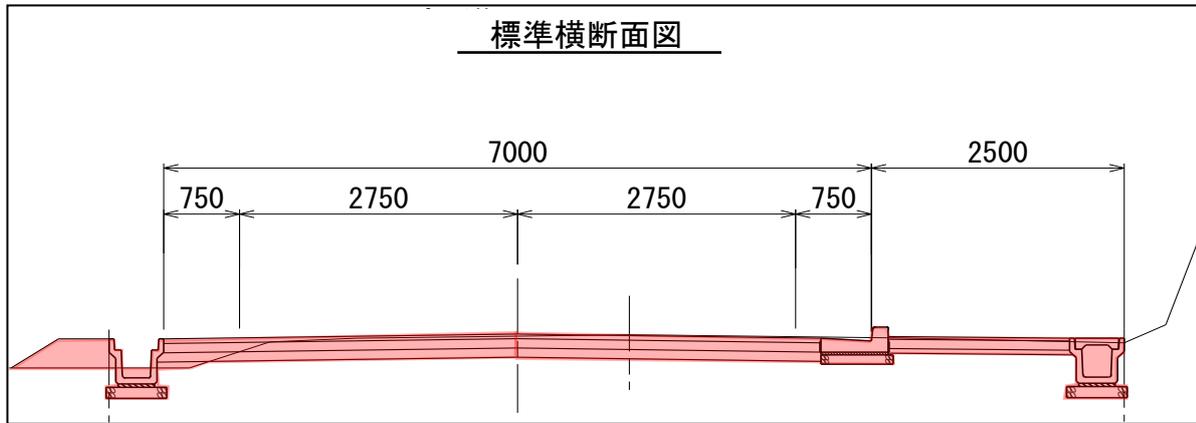
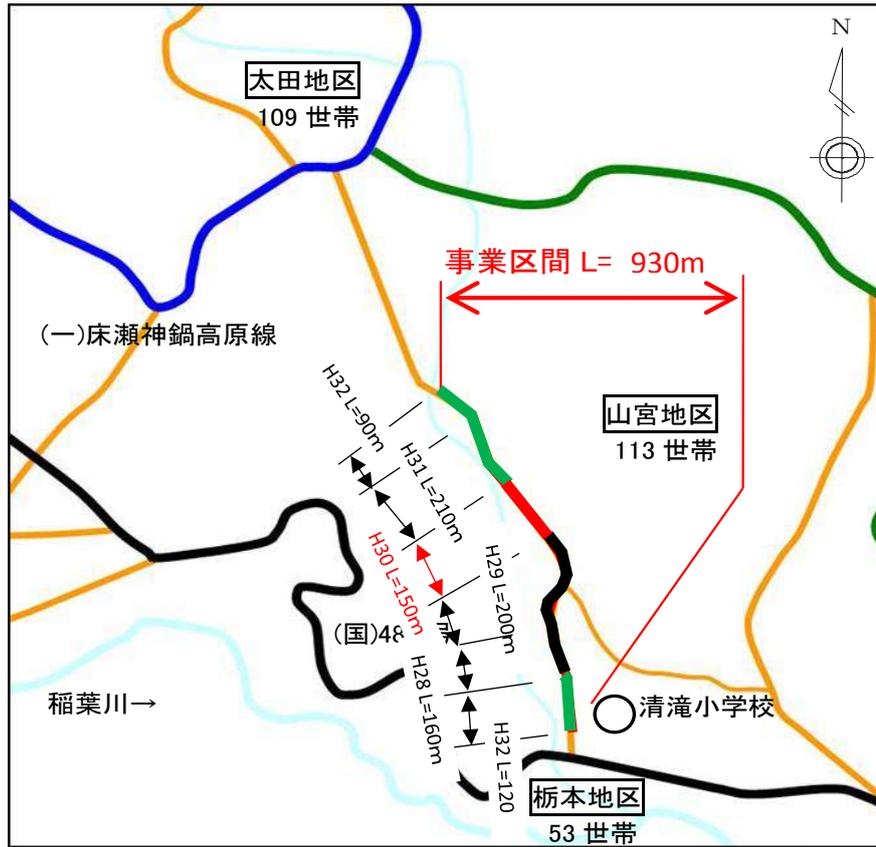
(2) 事業内容

道路改良工事 L=150m 日高町山宮～太田 地内

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-3

市道栃本太田線



No.43	事業名	雪害対策（除雪車両更新、除雪機整備補助等）	30年度 予算額	46,425 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

冬季の通行確保を行うため、老朽化している除雪ダンプトラック、除雪ドーザの更新・増強を計画的に行う。

また、市内の区又は地域コミュニティ組織が、共助により市道及び生活道路等の除雪を行うために購入する除雪機について、その購入経費の一部を補助する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 除雪車の更新・増強（平成24年度～）
- ② 除雪機緊急整備事業補助金（平成29年度～平成31年度）
- ③ 消雪施設修繕（平成27年度～）

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

社会資本整備交付金 補助率2/3
過疎債（100%）
合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

46,425千円

(2) 事業内容

- ① 除雪ドーザ 5t級 1台 出石町
除雪ダンプトラック 2t 1台 城崎町
- ② 除雪機緊急整備事業補助金
- ③ 消雪施設修繕
・ポンプ更新 1箇所 長谷地内

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-4

No.44 事業名 橋りょう長寿命化	30年度 予算額	505,000 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

道路法に基づき橋梁定期点検を実施し、その点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定するとともに、補修設計、補修工事を計画的に行うことで、車両や歩行者交通の安全確保と橋梁長寿命化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁補修工事、橋梁補修設計、橋梁定期点検、修繕計画策定

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

防災・安全交付金（50%）

合併特例債（95%）

過疎債（100%）

3 30年度予算

(1) 予算額

505,000千円

(2) 事業内容

橋梁補修工事 木内橋外 8 橋

橋梁補修設計 結和橋外50橋

道路橋定期点検 127橋(内跨線橋1橋)

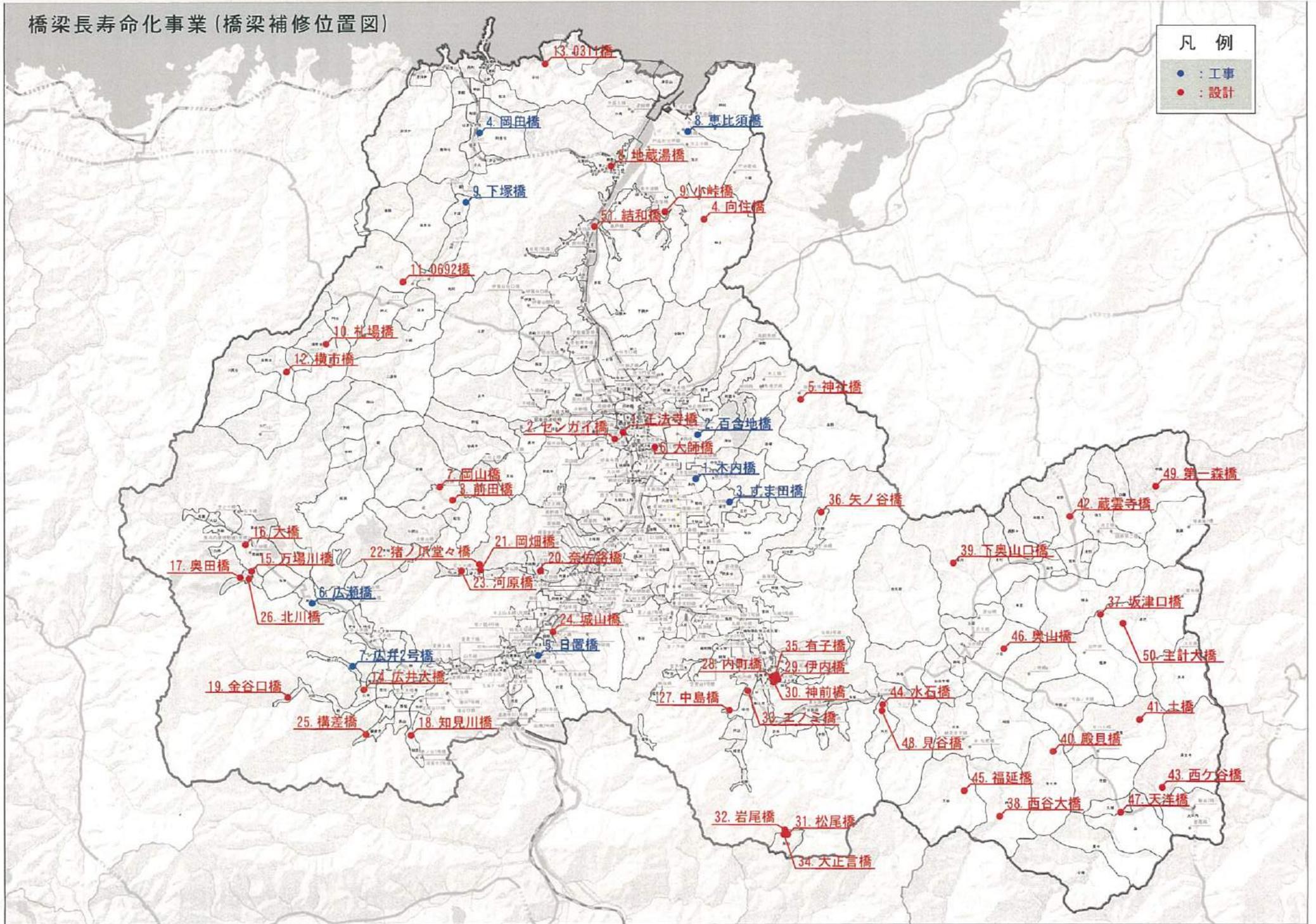
資材単価特別調査 1式

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-3

橋梁長寿命化事業 (橋梁補修位置図)

凡例	
● (Blue)	: 工事
● (Red)	: 設計



No.45 事業名 栃江橋整備	30年度 予算額	175,000 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道福田宮井線は、栃江、宮井地区と市街地を結ぶ通勤、通学にも利用される生活に密着した地域の幹線道路であるが、栃江橋の幅員が狭小であり、大型車両の通行に支障をきたしている。

また、栃江橋は昭和8年に架設された老朽橋で、橋脚数も多く洪水時の通水を著しく阻害している。このため、早急に橋梁架替を行う必要があり、防災機能を高め、車両や歩行者交通の安全を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

路線・用地測量、用地買収、橋梁予備設計、橋梁・道路詳細設計、
本工事（橋梁架替工、旧橋撤去工、道路改良工）

(2) 事業期間

平成23年度～平成32年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

道路更新防災等対策事業費補助金（50%）
合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

175,000千円

(2) 事業内容

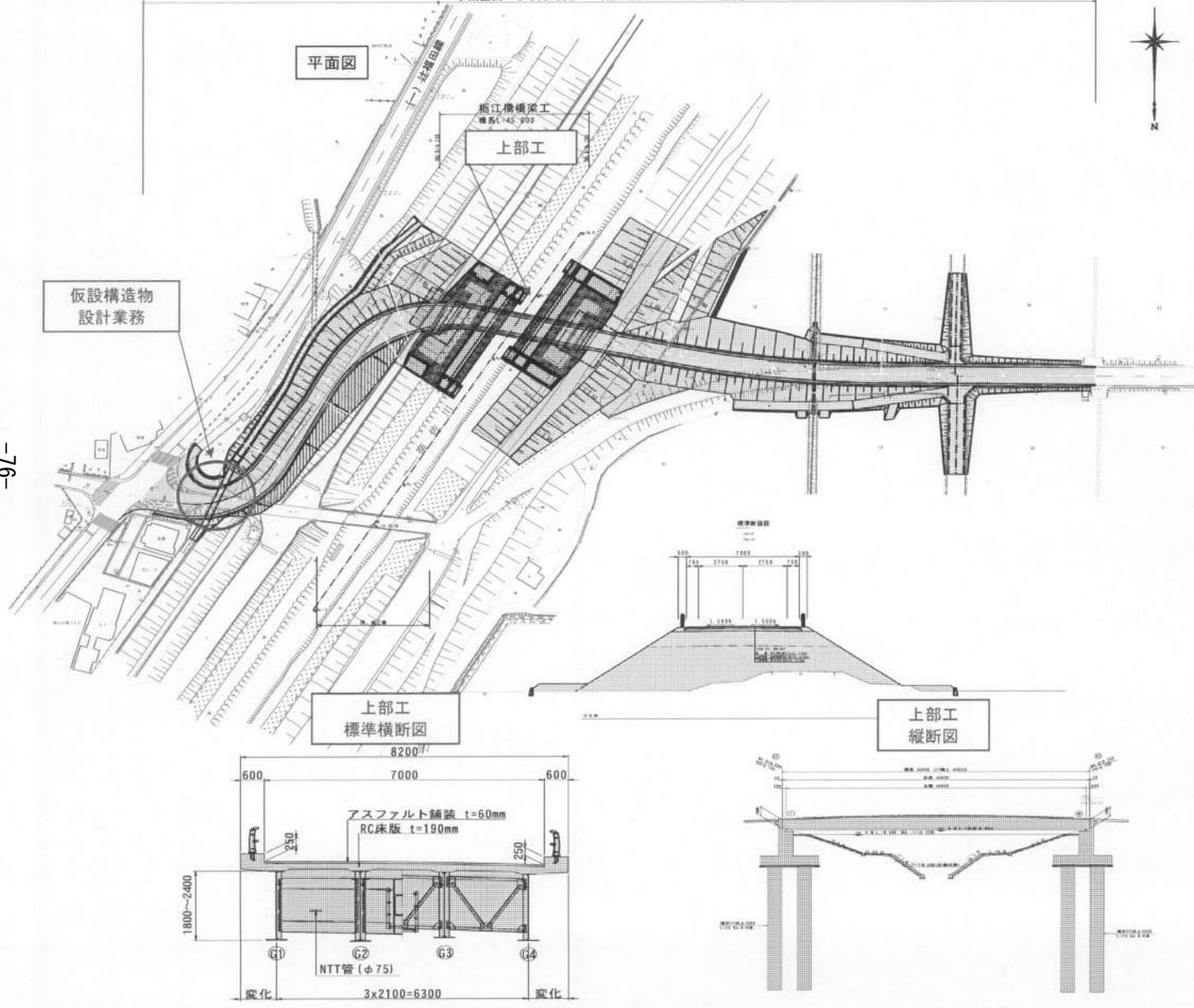
上部工 1 橋
仮設構造物設計 1 式
資材単価特別調査 1 式

担当課名【建設課】（内線2421）

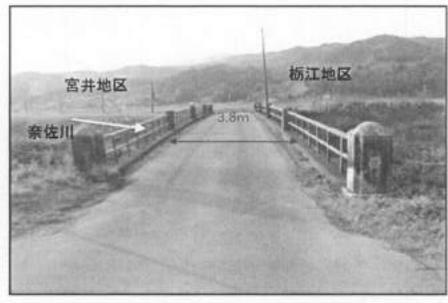
施策体系番号 3-2-3-3

市道福田宮井線(栃江橋)道路改築事業

事業区間 L=300.00m (栃江橋) 45m 幅員W=7.00m (5.50)



現況写真



No.46 事業名 上野橋整備	30年度 予算額	123,000 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道上野線は、国道426号と県道寺坂福住線を結ぶ生活に密着した幹線道路であるが、上野橋の幅員が狭小で、老朽化が著しく大型車の通行に支障をきたしている。

また、周辺には工場や市の分譲宅地もあることから、早急に橋梁架替を行うことにより、車両や歩行者通行の安全、安心を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

路線・用地測量、用地買収、橋梁予備設計、橋梁・道路詳細設計
本工事（上部工、橋台工、橋脚工、旧橋撤去工、道路改良工）

(2) 事業期間

平成27年度～平成32年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

防災・安全交付金（50%）
合併特例債（95%）

3 30年度予算

(1) 予算額

123,000千円

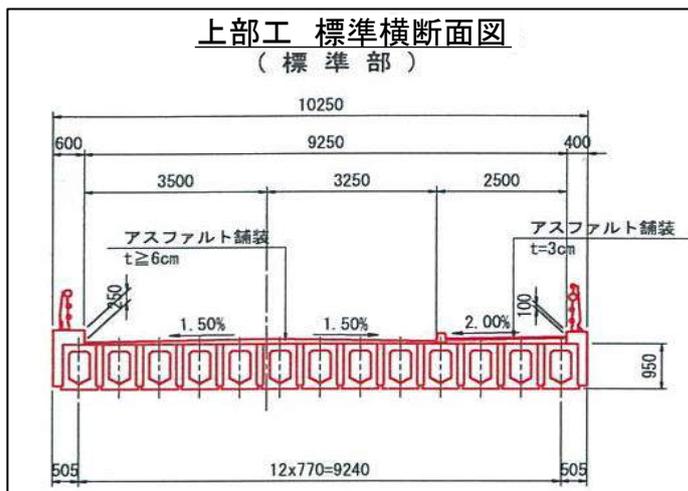
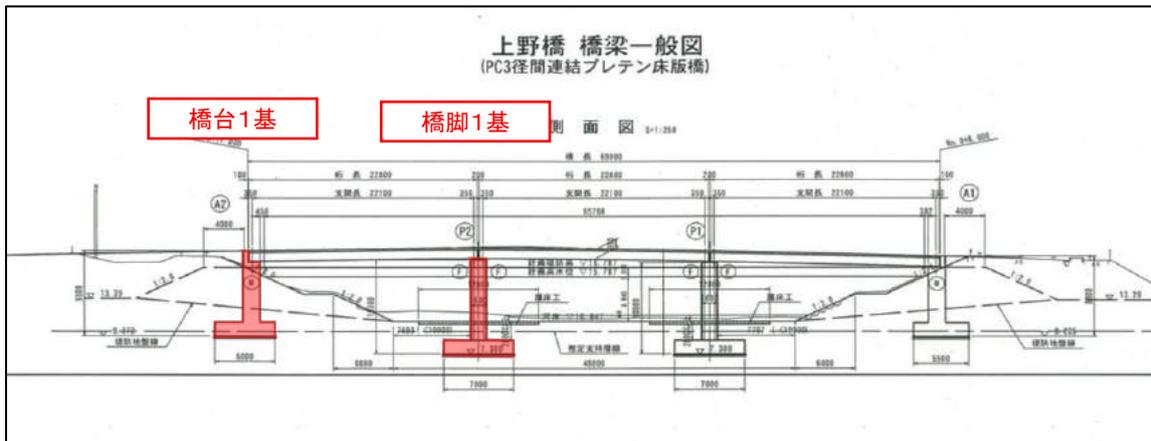
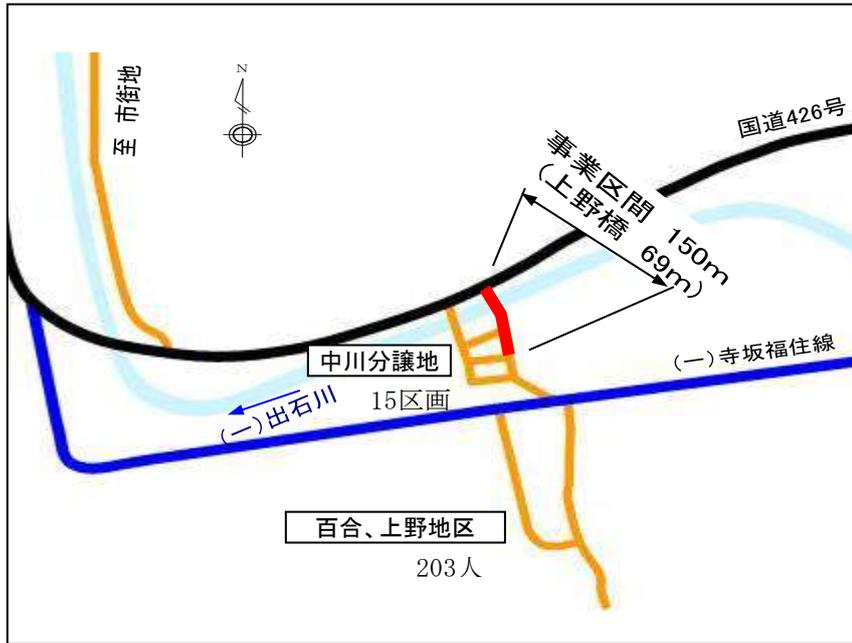
(2) 事業内容

左岸橋台1基、橋脚1基
不動産鑑定料 1式
用地買収 A=450㎡

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-3

市道上野線(上野橋)整備事業



幅員狭小な現橋梁

No.47	事業名 交通安全施設整備 (案内標識整備、通学路グリーン ベルト設置等)	30年度 予算額	36,500 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

経年劣化した歩道の舗装修繕及び、摩耗により消失した道路区画線の設置を行うとともに、道路の路肩カラー表示及び防護柵設置等により、歩行者の安全な空間を確保し、交通事故防止を図る。

また、近畿豊岡自動車道の延伸に伴い、国県道への交通誘導を図るため、市街地の主要交差点に案内標識を設置する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・歩道修繕 L=150m
- ・通学路グリーンベルト設置 L=4,470m
- ・区画線設置 L=5,000m
- ・歩道の転落防止柵の設置 L=130m
- ・道路案内標識設置 N=2箇所

(2) 事業期間

平成25年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

36,500千円（ひょうご地域創生交付金を一部充当）

(2) 事業内容

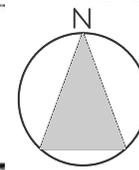
- ・歩道修繕 L=150m 中畑山線（但東町畑山）
- ・通学路グリーンベルト設置 L=4,470m 田鶴野東部幹線外（野上外）
- ・区画線設置 L=5,000m 三坂納屋線外（妙楽寺外）
- ・歩道の転落防止柵の設置 L=130m 三坂納屋線（佐野）
- ・道路案内標識設置 N=2箇所 三坂納屋線（九日市下町）

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-3

位置図

市道中畑山線



計画延長 L=550m

H29年度施工 L=150m

H30年度施工 L=150m

次年度以降施工

中畑山線

80

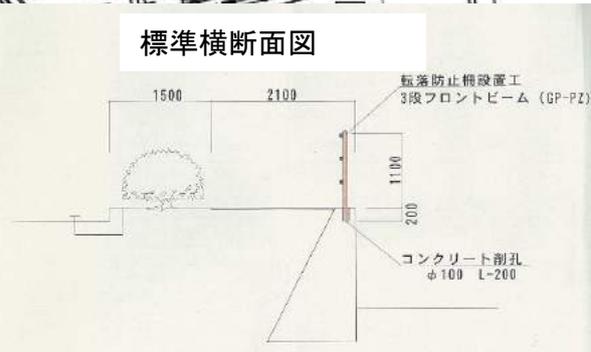
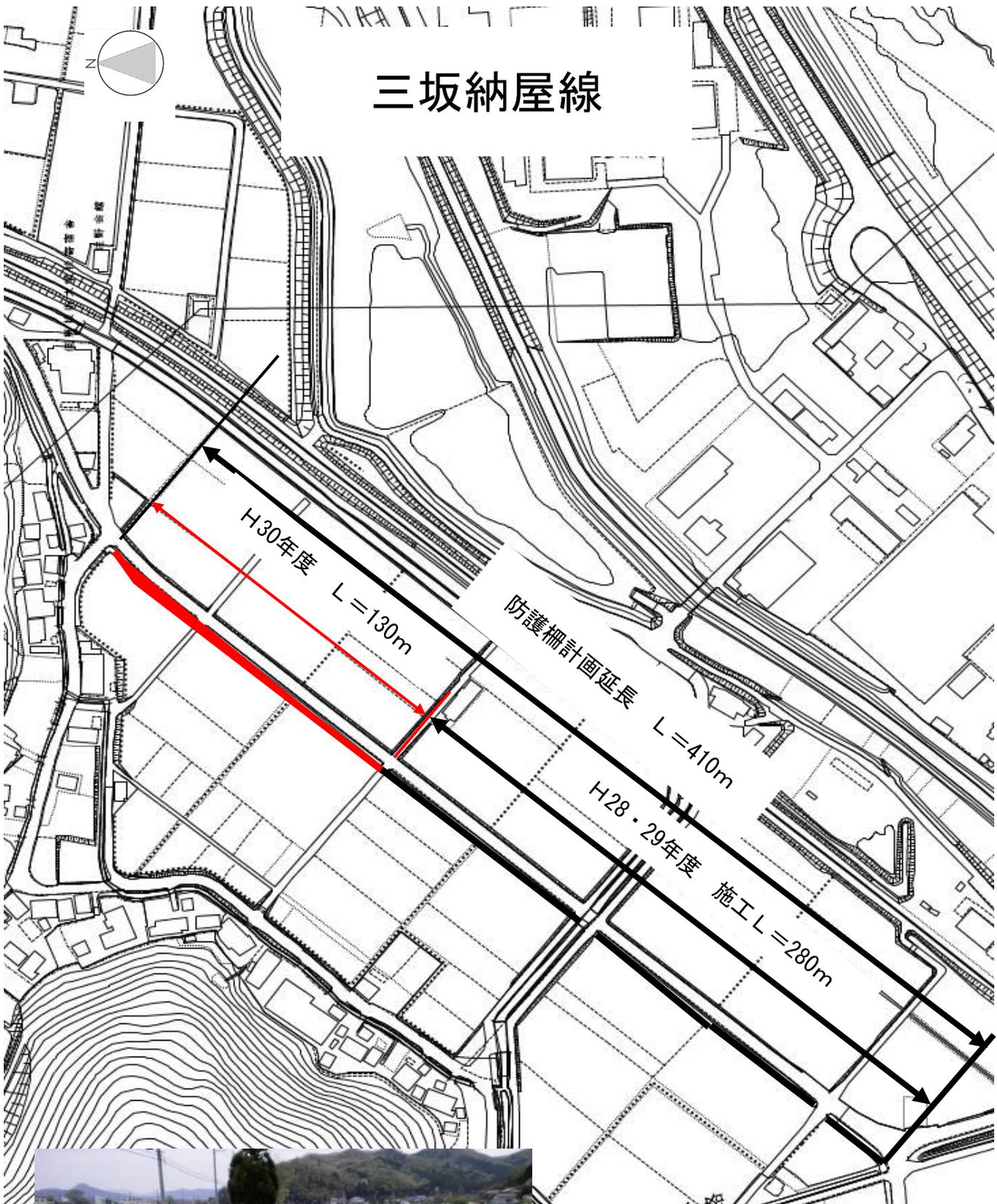


標準横断面図

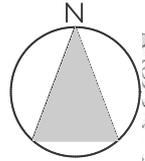
1300

再生密粒度アスファルト t=3cm
路盤 (RC40) t=10cm

三坂納屋線

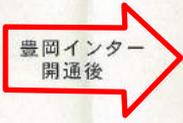


道路案内標識設置位置図



イメージ

イメージ

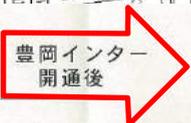


H30年度
設置箇所

H29年度
設置箇所

イメージ

イメージ



豊岡市九日市下町付近

© 2015 ZENRIN CO.,LTD.

縮尺 1 / 4,000 120m

No.48 事業名 出石地区無電柱化整備	30年度 予算額	8,000 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

八木町線外2路線は、伝統的建造物群保存地区内の幹線道路であるが、道路上に張りめぐらされた電線類により、美しいまちなみの形成及び観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。

この課題を解決し、「景観形成・安全確保・防災」の観点から、出石地区の無電柱化を検討する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

路線測量（事業化検討のため）

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

8,000千円

(2) 事業内容

路線測量 L=660m

市道八木町線 L=450m

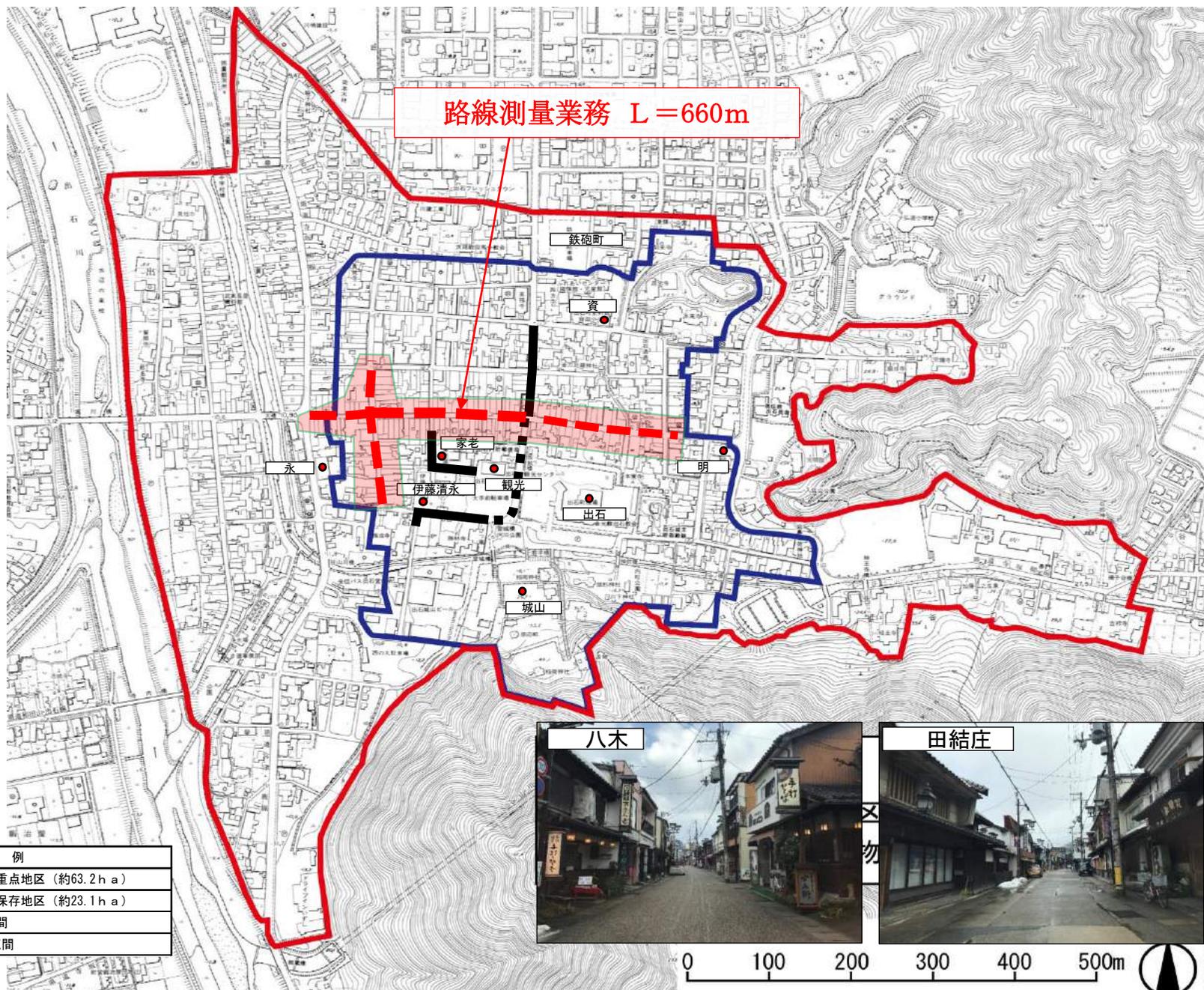
田結庄線 L= 80m

田結庄内町線 L=130m

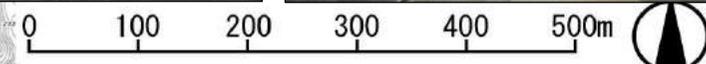
担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 3-2-3-3

出石地区無電柱化整備事業



凡 例	
	出石城下町景観形成重点地区 (約63.2ha)
	出石伝統的建造物群保存地区 (約23.1ha)
	無電柱化整備済み区間
	未整備区間



No.49 事業名 公共土木施設災害復旧	30年度 予算額	76,100 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成29年9月17日～18日の台風18号及び同10月22日～23日の台風21号の二度の豪雨で被災した公共土木施設の内、国庫負担の対象とならない小災害の復旧を行い、地域の安全・安心の確保を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

台風18号 190箇所（道路92、河川98）
 豊岡37、城崎31、竹野22、日高48、出石19、但東33
 台風21号 37箇所（道路19、河川18）
 豊岡8、城崎1、竹野3、日高3、出石2、但東20

(2) 事業期間

平成29年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

76,100千円

(2) 事業内容

台風18号 190箇所（道路92、河川98）
 豊岡37、城崎31、竹野22、日高48、出石19、但東33
 台風21号 37箇所（道路19、河川18）
 豊岡8、城崎1、竹野3、日高3、出石2、但東20

4 その他参考事項

台風18号 68箇所（乙災害）
 豊岡19、城崎11、竹野11、日高13、出石5、但東9
 台風21号 10箇所（乙災害）
 豊岡2、竹野2、日高3、但東3

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 7-0-0-0

台風18号 小災害状況



森尾地内 小災害状況(道路洗掘)



城崎町飯谷地内 小災害状況(法面崩壊)



竹野町轟地内 小災害状況(護岸崩壊)



日高町谷地内 小災害状況(道路洗掘)



出石町細見地内 小災害状況(水路堆積)



但東町坂野地内 小災害状況(道路洗掘)

台風21号 小災害状況



森尾地内 小災害状況(河川堆積)



畑上地内 小災害状況(道路路肩崩壊)



竹野町林地内 小災害状況(道路路堆積)



出石町榎見地内 小災害状況(道水路堆積)



但東町畑地内 小災害状況(河川堆積)

No.50 事業名 道の駅整備	30年度 予算額	4,000 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

北近畿豊岡自動車道の延伸に伴い、豊岡地域における地方創生の拠点となる「道の駅」を事業化することにより、情報発信や交流人口の増加及び地域活力の活性化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」整備との調整協議を踏まえて、（仮）豊岡IC付近における「道の駅」整備の事業化に向けた市場調査及び計画検討を行う。

(2) 事業期間

平成28年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

未定

3 30年度予算

(1) 予算額

4,000千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 事業内容

道の駅市場性調査 1式
調査方針の策定
民間事業者可能性調査



担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-4

「道の駅」整備事業



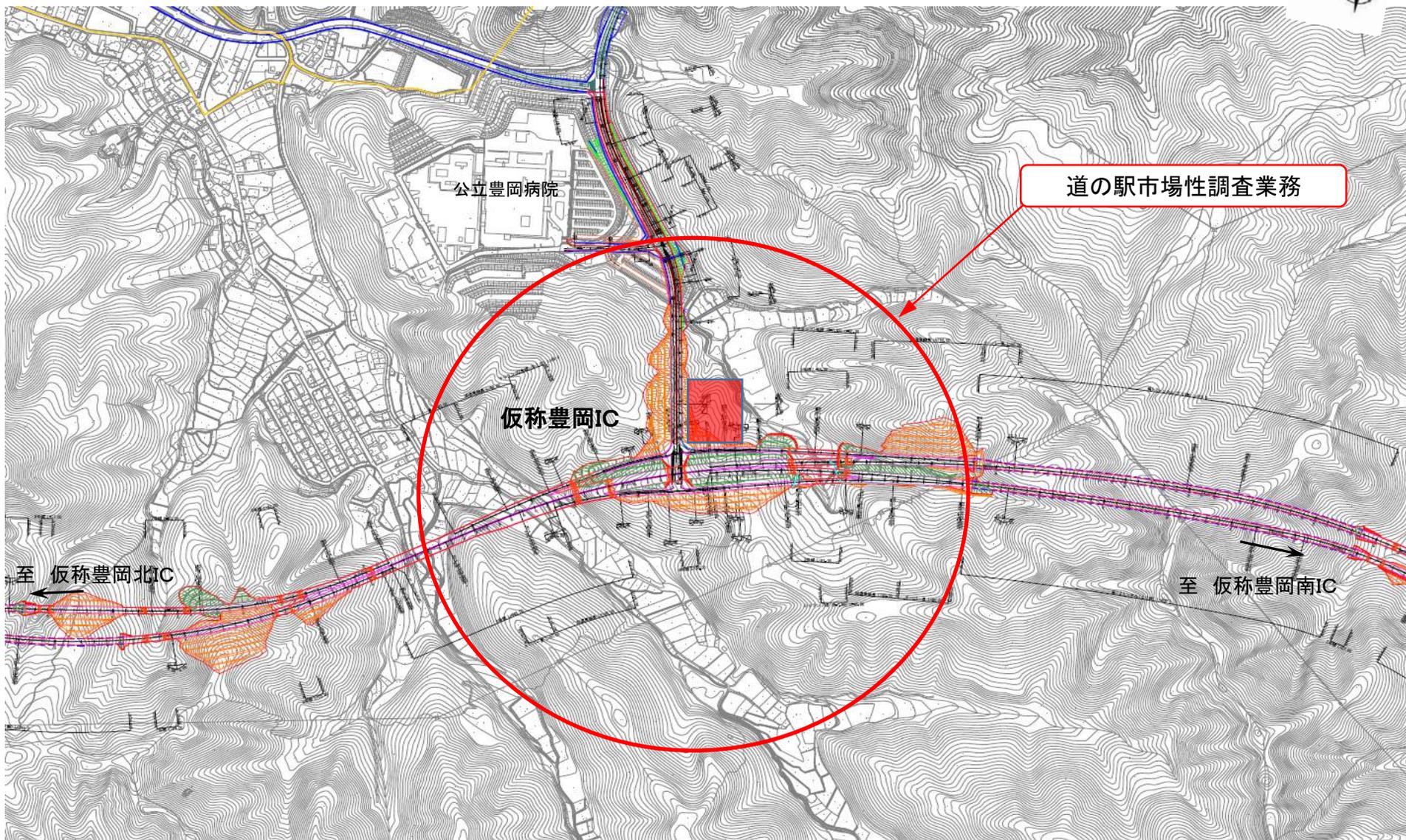
道の駅市場性調査業務

仮称豊岡IC

至 仮称豊岡北IC

至 仮称豊岡南IC

公立豊岡病院



No.51	事業名	都市計画マスタープランの 改定	30年度 予算額	10,400 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

都市計画マスタープランは、本プランの指針となる兵庫県の但馬地域都市計画区域マスタープランの変更や豊岡市基本構想が策定されたことにより、平成29年度～30年度の2ヶ年にわたって本プランの見直しを行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

都市計画マスタープランは、事務局（都市整備課）で案を作成した後、作業部会で内容の調整を図る。次に、アドバイザー（学識経験者）の助言・指導をいただき、庁内策定委員会で検討を進める。

平成29年4月～平成30年5月	都市計画マスタープランの内容を検討
平成30年6月	都市計画マスタープランの素案作成
平成30年7月～平成30年8月	住民説明会、パブリックコメント
平成30年9月	パブリックコメントに対する対応
平成30年9月～平成30年10月	市都市計画審議会
平成30年11月	都市計画マスタープランの公表

(2) 事業期間

平成29年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

18,400千円

3 30年度予算

(1) 予算額

10,400千円

(2) 事業内容

都市計画マスタープランの素案を作成し、その素案を住民説明会やパブリックコメントにより、住民からの意見などを聴取する。

その後、都市計画審議会を経て、都市計画マスタープランを公表する。

担当課名【都市整備課】（内線2481）

施策体系番号 3-2-1-1

No.52	事業名 公共交通再編調査	30年度 予算額	1,796 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

自家用車の普及や人口減少等により、路線バスなど現在の公共交通を維持することが困難な状況にある。

地域の様々な実情等を調査し、地域特性に応じた新しい交通モードの検討を進め、市民生活に必要な移動手段の確保に努める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

地域特性に応じた新しい交通モードの検討を進める。

平成30年度 日高地域、竹野地域（予定）

平成31年度 2地域（予定）

平成32年度 1地域、全体見直し（予定）

(2) 事業期間 平成30年度～平成32年度

(3) 事業主体 豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額 1,796千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 事業内容

・豊岡市公共交通再編調査業務 ※近畿大学へ業務委託予定

【事業推進イメージ】※2 振興局管内（日高・竹野）を予定

平成30年4月～ 地域ワークショップ開催（意向確認）

平成30年5月～ 地域実態調査（1回目）

平成30年6月～7月 分析・検証

平成30年8月 地域ワークショップ（調査結果報告 検討）

平成30年9月～ 地域実態調査（2回目）

平成30年10月～11月 分析・検証

平成30年12月 地域ワークショップ（調査結果報告 検討）

平成31年1月～2月 地域実態調査（3回目）

平成31年3月～ 総評価

担当課名【都市整備課】（内線2481）

施策体系番号 3-2-4-4

No.53	事業名 出石城公園整備	30年度 予算額	11,300 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

都市公園「出石城公園」は、出石城跡の石垣の変形等が生じており、その対策を講じることによって、文化財保護や観光客の安全性を確保し、観光スポットとしての活用を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

石垣の状態を調査及び整備し、適切な文化財保護と観光客の安全を確保する。

平成25年度 測量調査

平成26年度 詳細設計・測量調査

平成27～30年度 整備工事

(2) 事業期間 平成25年度～平成30年度

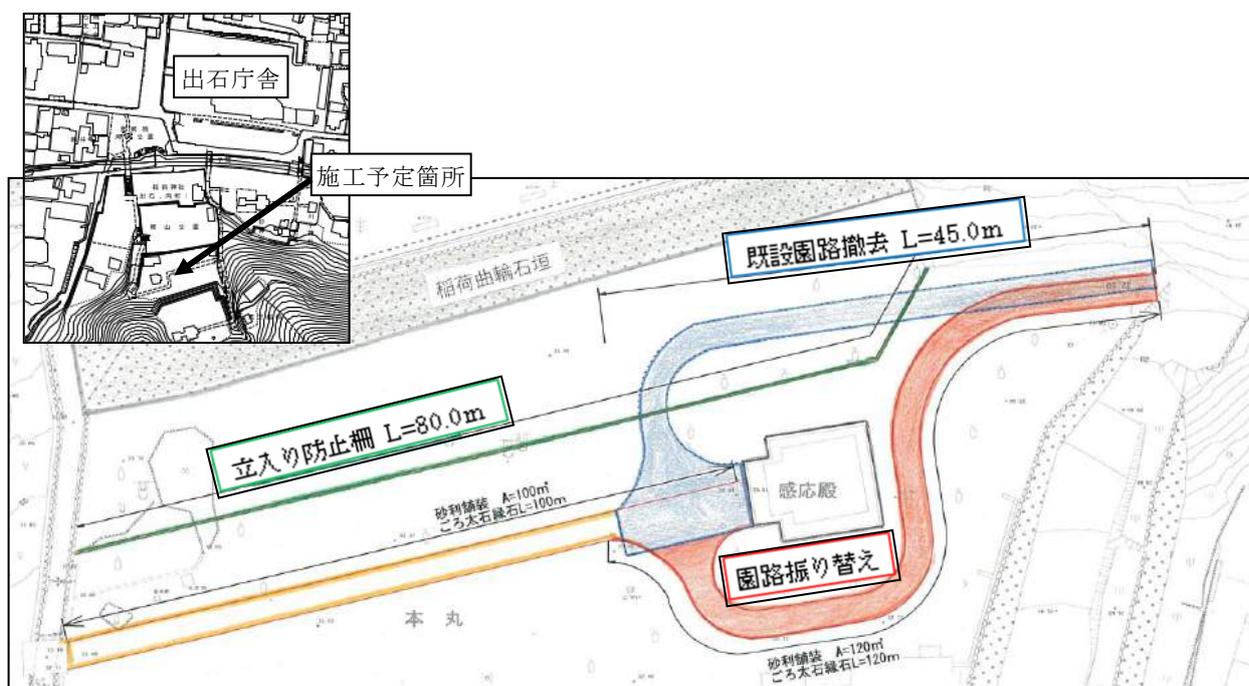
(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費 106,652千円

3 30年度予算

(1) 予算額 11,300千円

(2) 事業内容 本丸園路の整備を行うと共に、地震等の不測の事態に備え、園路の一部を石垣から離れた箇所へ振り替える。また立入り防止柵を設置し、公園利用者の安全性を確保する。



担当課名【都市整備課】（内線2481）

施策体系番号 3-2-6-1

No.54	事業名 稲葉川土地区画整理	30年度 予算額	84,360 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

土地区画整理事業の施行により、河川改修事業にむけた河川用地の確保を行うとともに、公共施設の整備改善並びに宅地の利用増進を図り、安全で安心な市街地を形成する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 事業区域 豊岡市日高町岩中及び浅倉の一部
- ② 地区面積 約27.9ha（権利者数約200人） 街区公園：6箇所
- ③ 事業期間 平成19年度～平成33年度
- ④ 事業主体 豊岡市
- ⑤ 関連工事 国土交通省施工：円山川L＝454m、稲葉川L＝210m、樋門2箇所
兵庫県施工：稲葉川L＝520m、橋梁架替1箇所

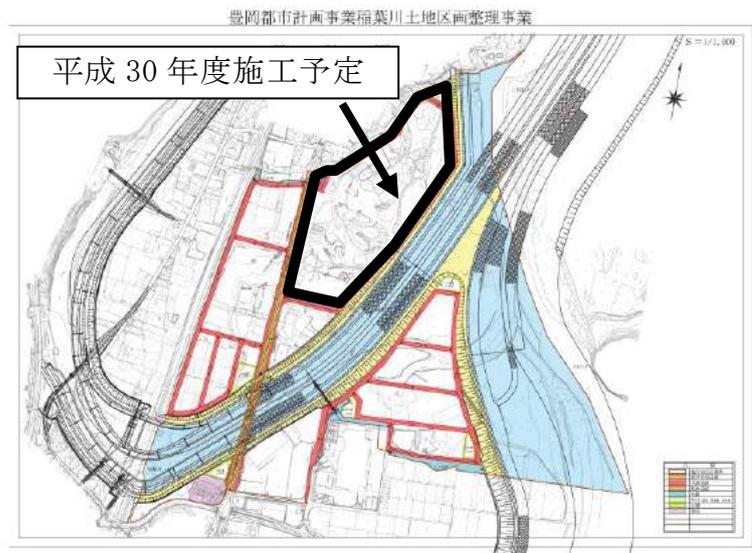
(2) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,446,336千円
（国・県公共施設管理者
負担金あり）

3 30年度予算

(1) 予算額 84,360千円

(2) 事業内容 造成工事
確定測量
換地計画等



4 その他参考事項

当地区は、平成16年の台風23号による一級河川稲葉川の氾濫により甚大な被害を受け、災害復旧のため河川改修事業が実施されている。

しかしながら、当地区は度重なる河川の氾濫により「公団混乱地域」であること、日高地域の中心市街地に隣接し将来の市街化が見込まれること、河川計画は現河川と別の位置であること、河川改修事業の期間は限られていることなどから、土地区画整理事業を実施するもの。

担当課名【都市整備課】（内線2481）

施策体系番号 1-1-1-5

No.55	事業名	市営住宅の改善 (結2号・元薬師1号)	30年度 予算額	58,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

建物の長期的な活用を図るため、平成23年度に策定した市営住宅長寿命化計画に沿って住宅の改善工事を実施し、耐久性の向上や躯体への影響の低減の観点から予防保全的な改善を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 予防保全的な維持管理、耐久性の向上を図る改善を実施することによって、市営住宅の長寿命化を図る。
- ② 効率的かつ効果的な修繕等を行い、安全性・快適性を向上させるとともに耐久性の向上を図る。
- ③ 市営住宅の長寿命化及び耐久性の向上により修繕周期の延長等を図ることによってライフサイクルコストの縮減を図る。

(2) 事業期間

平成24年度～平成33年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

58,000千円

(2) 事業内容

- ① 結2号住宅 22,000千円
外壁・屋根改修
- ② 元薬師1号住宅 36,000千円
外壁・屋根改修、駐車場整備

担当課名【建築住宅課】（内線2461）

施策体系番号 3-2-2-1

No.56	事業名 住宅の耐震改修促進	30年度 予算額	25,500 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

耐震性がないとされる昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、まず、住宅を所有される方が簡易耐震診断を受けて住宅の耐震性を知っていただき、耐震性なしと診断された場合には、耐震改修工事費の補助及び耐震改修工事と同時に行うリフォーム工事費用の補助により、所有者が住宅耐震改修工事に取り組むことを支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 簡易耐震診断の推進（個人負担無料）
- ② 耐震改修計画策定及び耐震改修工事に対する補助
 - ア 全体補強型（ひょうご住まいの耐震化促進事業）

耐震性のある住宅に改修するための計画策定及び改修工事に対する補助

 - ・計画策定 対象経費の2/3以内（戸建住宅で最大20万円）
 - ・改修工事 定額補助（戸建住宅で最大130万円）など
 - イ 一階居室等補強型（市単独補助事業）

住宅が倒壊しても生存空間を確保するため、一階居間又は寝室の壁を補強するための計画策定及び改修工事に対する補助

 - ・計画策定 対象経費の1/2以内（最大13.3万円）
 - ・改修工事 対象経費の1/2以内（最大40万円）
- ③ 耐震リフォーム補助
 - ②の補助対象となる改修工事と同時に行うリフォーム工事部分に対する補助
 - ・リフォーム工事 対象経費の1/3以内（最大30万円）
- ④ 防災ベッド等設置助成

定額補助（10万円）

(2) 事業期間

平成22年度～平成37年度

(3) 事業主体

昭和56年5月31日以前に着工された市内の住宅の所有者

3 30年度予算

(1) 予算額

25,500千円

(2) 事業内容

- | | |
|---------------------|----------|
| ① 簡易耐震診断の実施（120戸） | 3,708千円 |
| ② 耐震改修計画策定補助（13戸） | 1,699千円 |
| ③ 耐震改修工事に対する補助（25戸） | 12,000千円 |
| ④ 耐震リフォーム補助（25戸） | 7,500千円 |
| ⑤ 防災ベッド等設置助成（2戸） | 200千円 |
| ⑥ 事務経費 | 393千円 |

担当課名【建築住宅課】（内線2461）

施策体系番号 1-1-1-2

No.57	事業名 老朽危険空家対策	30年度 予算額	7,441 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

安全で安心なまちづくりを推進するため、平成27年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき策定した「豊岡市空家等対策計画（平成30年3月策定）」により、早急に必要な対策を講じ、良好な生活環境の保全を進める。

2 全体の事業内容

(1) 内容

- ① 空家等対策協議会の運営
- ② 老朽危険空家の除却に対する支援
- ③ 所有者を確知できない老朽危険空家に対する略式代執行

(2) 事業期間

平成29年度～平成34年度

(3) 事業主体

- ①、③ 豊岡市
- ② 民間住宅のうち、倒壊等により前面道路や隣接する住宅など周辺に危険が及ぶおそれがあり、法に基づき、市が助言又は指導等を行っている空家の所有者等

3 30年度予算

(1) 予算額

7,441千円

(2) 事業内容

- ① 空家等対策協議会の運営等 445千円
- ② 老朽危険空家の除却に対する補助（3件予定） 3,996千円
補助率 2/3 以内（財源内訳 国 1/3、県 1/6、市 1/6）
- ③ 所有者等を確知できない老朽危険空家に対する略式代執行（1件予定）3,000千円
（財源内訳 国2/5、市3/5）

担当課名【建築住宅課】（内線2461）

施策体系番号 3-2-2-1

No.58 事業名 城崎振興局の取組み	30年度 予算額	12,960 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎地域では、インバウンド効果で年間を通じて安定した宿泊者数が見込めるようになりつつある。引き続き、夏の風物詩として定着している城崎温泉夢花火事業による夏期の平日の観光客増加の取組みを支援する。

また、健全性の低下が見られる大谿川沿いの柳・桜を剪定、植替更新等を実施するとともに、太鼓橋の表面の劣化が進行しているため計画的に補修し、城崎温泉の代表的景観の保全を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額

12,960 千円

(2) 事業内容

① 城崎振興局プロジェクト事業

ア 城崎温泉夢花火事業（継続）

事業内容：夏期（夏休み期間中の平日）の花火打上げに対する支援

事業費：上限6,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：城崎温泉観光協会

イ 柳・桜並木整備事業（継続）

事業内容：樹木の健全な育成を図るため、劣勢木等の剪定、伐採、植替え等を実施する。

事業費：2,960 千円

事業主体：豊岡市

ウ 太鼓橋美装化事業（新規）

事業内容：登録有形文化財である太鼓橋の表面モルタルに亀裂、剥落が発生しているため、美装化工事を実施する。

事業費：4,000 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【城崎振興局地域振興課】（内線 5002）

施策体系番号 6-1-1-2

No.59 事業名 竹野振興局の取組み	30年度 予算額	8,594 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

竹野振興局では「竹野の海・山・川と共生して暮らす若者が増えている」を戦略目的とした、地域の情報発信や地域の特色を活かした事業を推進し、人口減少の緩和と地域振興を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額

8,594千円

(2) 事業内容

① 振興局プロジェクト事業

ア 地域情報発信事業

事業内容：マスコミ等への情報提供や情報発信に対する支援

事業費：800千円

事業主体：たけの観光協会

イ 三原谷の川の風まつり事業

事業内容：芸術家や映像作家、音楽家によるイベントへの支援

事業費：919千円

事業主体：三原谷の川の風まつり実行委員会

② 竹野北前館管理

事業内容：エレベーター及び貯湯槽補強材の修繕、避難口の改善等

事業費：3,191千円

事業主体：豊岡市

③ 川湊再生プロジェクト事業

事業内容：わらび座による「北前ザンブリコ」を竹野中学校で公演

事業費：3,684千円

事業主体：豊岡市

担当課名【竹野振興局 地域振興課】（内線5212）

施策体系番号 3-1-2-1、3-1-2-3、6-1-1-3

No.60	事業名 日高振興局の取組み	30年度 予算額	8,248 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、空き民宿等の活用、神鍋溶岩流を活用した地域振興、先輩に学ぶ授業等の振興局プロジェクト、観光事業等により雇用の創出、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額 8,248千円

(2) 事業内容

① 振興局プロジェクト事業 3,621千円（3事業）

ア 空き民宿等活用整備事業（3,000千円）（継続）

神鍋地域の空き民宿等を宿泊施設や飲食店等に活用する事業者に対して、予算の範囲内で店舗改修費の一部を助成する。

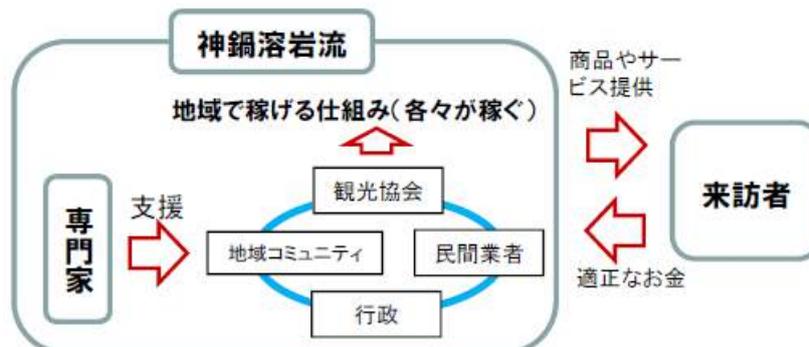
助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：豊岡市



イ 神鍋溶岩流活用地域振興プロジェクト事業（541千円）

神鍋溶岩流における「受入れ環境・体制」、「魅力あるコース・ルート、多様なサービス提供」、「プロモーション」といったテーマを実現する戦略プロジェクトを実行する。



(ア) 溶岩流散策マップ等整備事業（345千円）（新規）

溶岩流散策マップづくり等の活動に対して支援する。

助成額：上限345千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：溶岩流活用地域振興プロジェクト会議（事務局：日高振興局）

(イ) 溶岩流活用地域振興プロジェクト会議等運営事業（196千円）（継続）

戦略プロジェクトの実行及び進行管理、見直し検討作業について、専門

家を交え検討する。
事業主体：豊岡市

ウ 日高地域の先輩に学ぶ授業（80千円）（継続）

日高地域などで仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生（日高東・西中学校）に対して生き方や考え方を伝える授業を実施する。

事業主体：豊岡市



② 農業振興事業費 530千円

ア 殿食材供給施設（殿さんそば）食器洗浄機入替
※修繕費1,059千円のうち指定管理者負担1/2

③ 観光事業費 1,000千円

ア 日高夏まつり事業
助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）
事業主体：日高夏まつり実行委員会

④ 道の駅「神鍋高原」管理費 331千円

高圧受電設備ヒューズ取替修繕

⑤ 湯の原温泉オートキャンプ場管理費 2,230千円

汚水揚水ポンプ入替修繕

⑥ Weぷらざ管理費 536千円

江原駅西街路灯LED電球取替

担当課名【日高振興局 地域振興課】（内線5405）

施策体系番号 6-1-1-4、3-1-6-1、3-1-2-2、3-1-3-2、3-1-2-3、3-2-4-1

No.61	事業名 日高庁舎長寿命化・多機能化	30年度 予算額	51,185 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高庁舎（昭和56年11月竣工）の長寿命化、省エネ化及び多機能化につながる庁舎改修を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

歴史博物館の機能充実のために、現在、日高庁舎2階にある教育総務課文化財室を歴史博物館に事務所移転することとし、空きスペースとなる庁舎2階フロアは、今後の有効活用と管理経費の軽減のため改修する。

2階フロアのうち、廊下とオープンとなっているスペースに間仕切り壁を設置し、管理経費の軽減を図るとともに、空調機もマルチエアコンから各室別エアコンとし、冷暖房の効率を上げ、省エネ化を図る。

庁舎外壁塗装、屋上の防水シートを更新し、庁舎の長寿命化を図る。

(2) 事業期間

平成30年度～平成31年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

146,685千円

平成30年度 内部老朽化改修、区画壁整備等

平成31年度 空調機器更新、外壁等長寿命化対応等

3 30年度予算

(1) 予算額

51,185千円（緊急防災・減災事業債 40,800千円）

(2) 事業内容

- ① 3階会議室の事務室化（日高庁舎の省エネ化）
- ② 2階の現事務スペースに間仕切り壁を設置（日高庁舎の多機能化）
- ③ 2階トイレの一部洋式化（日高庁舎の多機能化）
- ④ 受電施設内の老朽機器の更新（日高庁舎の長寿命化）

(3) 2階スペースの利用

空きスペースとなる2階フロアには、以前から市有施設への移転について検討要請のあった豊岡市商工会に事務所として活用していただくこととして、現在、細部について調整を行っている。

担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5405）

施策体系番号 6-3-2-4

No.62	事業名 出石振興局の取組み	30年度 予算額	13,719 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石地域では、まちの賑わいと活性化を目指し、一昨年から継続して実施している出石焼の宣伝事業及び空き家の所有者に賃貸・売却の意向調査を実施する。

また、新たな取組みとして、大交流課が実施した観光動態見える化事業のビッグデータをもとに新たな観光客層の開拓事業を地域をあげて実施する。

加えて、観光・健康増進の拠点施設である出石温泉館「乙女の湯」の改修を行い、安全で快適な環境を確保することにより利用者の拡大を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額 13,719千円

(2) 事業内容

① 出石振興局プロジェクト事業

ア 出石焼宣伝活動事業

事業内容：東京・青山スクエアで年間を通して常設展示を行う。

また、関東圏において新規販路を開拓すべくキャンペーンを行う。

事業費：531千円（補助率1/2）

事業主体：出石焼陶友会

イ 移住定住者向け住宅店舗促進事業

事業内容：市街地の空き家の意向調査等を行い、豊岡市ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」へ掲載、情報提供を行い、移住定住に繋げる。

事業費：458千円（補助率10/10）

事業主体：NPO法人いずし町家再生プロジェクトA

ウ 誘客促進事業（新たな客層開拓事業）

事業内容：これまで50-70代男性が客層の中心であった出石を20-40代女性をターゲットに事業を展開していく。若い女性に人気の「クリーム・クラフト・キャラバン」を誘致し、参加者が継続して出石を訪れる仕組みづくりを目指す。

事業費：1,000千円（補助率2/3）

事業主体：すいっち出石

② 出石温泉館乙女の湯改修事業

事業内容：浴槽漏水、結露対策等

事業費：11,730千円

事業主体：豊岡市

担当課名【出石振興局 地域振興課】（内線5604）

施策体系番号 6-1-1-5

No.63	事業名	伝統的建造物群保存地区 保存事業	30年度 予算額	20,619 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石伝統的建造物群保存地区の歴史的な町並みを保存し、地域固有の価値を次世代に継承していく取組みを推進する。

また、出石城下町の地域的魅力を向上させることにより、観光客の増加、地域経済の活性化に資する活動を支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

国県の技術指導、経済支援を受けて伝統的建造物の修理に助成する事業などにより、地区景観を保存する。建築物の外観変更行為に対し、指導、許可を行う。

(2) 事業期間

平成20年度～

(3) 事業主体

豊岡市（修理・修景工事の事業主体は各所有者）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

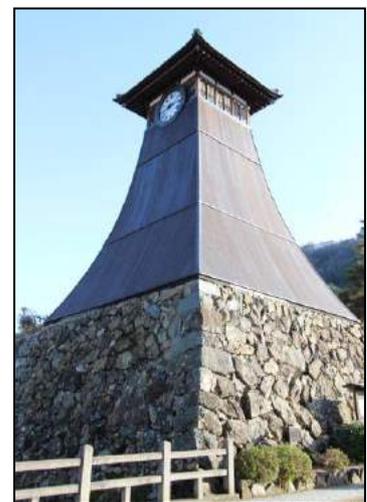
伝統的建造物群 基盤強化事業（保存修理・耐震対策）

① 対象範囲：豊岡市出石伝統的建造物群保存地区内
（23.1ha）

② 事業区分（うち国1/2、県1/4、市1/4負担）

ア 修理事業：対象経費の80%、上限8,000千円

イ 修景事業：対象経費の60%、上限6,000千円



辰鼓楼（平成29年度伝建修理）

3 30年度予算

(1) 予算額 20,619千円

(2) 事業内容

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| ① 伝統的建造物等の修理・修景事業（3件） | 16,952千円 |
| ② 委託業務 | 1,404千円 |
| ア 国庫補助申請修理事物事前調査業務（H31申請物件の詳細調査、基本設計） | |
| イ 追加伝統的建造物図面カルテ作成業務（追加物件の調査、カルテ作成） | |
| ③ その他事務費等 | 2,263千円 |

4 その他参考事項

(1) 伝統的建造物件数：建築物250棟、工作物24件、環境物件11件（H30.1.1現在）

(2) 補助金交付実績

平成20年度～平成29年度 事業件数 50件（修理46件、修景4件）

担当課名【出石振興局 地域振興課】（内線5602）

施策体系番号 3-2-5-3

No.64	事業名 但東振興局の取組み	30年度 予算額	15,728 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市の中でも特に人口減少が厳しい但東地域では、但東振興局プロジェクト事業として但東婚活応援隊による未婚者の情報収集を行い、婚活活動を促すとともに、婚活イベントを実施し、未婚者の成婚を推進する。

さらに、但東地域に若い人の移住を促進するため、若い家族に住居を賃貸し、住む場所を提供するとともに、交流人口拡大のため、教育民泊の推進を図る。また、シルク温泉やまびこ、たんたん温泉の改修を行う。

2 30年度予算

(1) 予算額

15,728千円

(2) 事業内容

① 但東振興局プロジェクト事業

ア 但東婚活応援プロジェクト事業

事業内容：但東地域未婚者情報の収集及び未婚者の婚活イベント参加促進
但東地域婚活応援講演会の開催

事業費：182千円

事業主体：豊岡市

イ 但東地域婚活イベント事業

事業内容：但東地域の未婚者の若者に出会いの機会を提供するイベント開催

事業費：953千円

委託先：しゃっても但東（但東地域若者のネットワークグループ）

ウ 移住促進住宅運営事業

事業内容：移住促進住宅の維持管理

事業費：494千円

事業主体：豊岡市

エ 教育民泊推進事業

事業内容：交流人口の拡大や定住人口の増加、農家の副収入の向上を図るため、
教育民泊の取組みへ支援を行い、体験教育旅行を推進する。

事業費：4,298千円

事業主体：豊岡市、豊岡市いのちの教育推進協議会

② シルク温泉の改修

事業内容：経営安定のための施設設備改修（山露天ろ過循環ポンプ改修等）

事業費：7,022千円

③ たんたん温泉の改修

事業内容：経営改善への支援と老朽化による施設改修

事業費：2,779千円

担当課名【但東振興局地域振興課】（内線5802）

施策体系番号 6-1-1-6、3-1-2-2

No.65	事業名	消防庁舎整備 (消防力適正配置等調査)	30年度 予算額	24,100 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

高齢化をはじめとする将来的な消防需要に対して消防力の効率的な運用を検討するとともに、各消防庁舎が抱えるリスクを把握し、長期財政見通しと連動した消防力整備計画を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

消防力適正配置調査及び庁舎耐震診断を行い、将来的な消防需要に対応する強力な消防体制を整備する。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

24,100千円

- ① 消防力適正配置調査 4,600千円
- ② 庁舎耐震診断 19,500千円

(2) 事業内容

① 消防力適正配置調査

- ア 署所・車両の配置及び運用効果を把握する。
- イ 署所の必要規模、人員及び車両の効率的運用を検討する。

② 庁舎耐震診断

- ア 平成19年に国土交通省から発出された「官庁施設の総合耐震計画基準」への適合性について診断を行う。
- イ 対象施設は、豊岡消防署3棟、日高分署、出石分署、竹野出張所各1棟 合計6棟

担当課名【消防本部総務課】（内線3804）

施策体系番号 1-1-2-1

No.66	事業名	消防設備整備 (日高分署、竹野出張所)	30年度 予算額	94,686 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的 (趣旨)

日高分署配備の高規格救急自動車、広報車及び竹野出張所配備の消防ポンプ自動車を更新し、消防力の充実・強化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

日高分署配備の高規格救急自動車、竹野出張所配備の消防ポンプ自動車及び各車両に積載する資器材を更新する。

また、災害対応能力の強化を図るため、日高分署配備の広報車を更新する。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

94,686千円 (緊急防災・減災事業債 93,900千円)

3 30年度予算

(1) 予算額

(単位：千円)

区 分	予算額
救急車 (日高分署)	35,166
広報車 (日高分署)	6,392
ポンプ車 (竹野出張所)	53,128
合計	94,686

(2) 事業内容

- ① 最新の救急資器材を積載した高規格救急自動車に更新し、救急業務の充実・強化を図る。
- ② 豪雪時及び山岳事故における悪路走行に適した広報車を配備し、災害対応能力の強化を図る。
- ③ 800ℓの水槽を積載することで、現場直近に部署することができ、迅速かつ効果的な消防活動を展開する。

担当課名【消防本部警防課】 (内線3802)

施策体系番号 1-1-2-1

No.67	事業名 中学校への空調設備整備	30年度 予算額	157,700 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

中学校における教育環境の質的向上と、夏季の暑さ対策のため、既に普通教室等に空調設備のある但東中学校を除く8中学校に対して、普通教室等へ空調設備設置工事を行い、平成30年6月からの一斉稼働を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平成28年度に実施設計を行い、平成29年度から30年度に空調設備設置工事を行う。

① 対象校

豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校 計8校

② 対象教室（ ）内は教室数

普通教室（62）、少人数教室（20）、特別支援教室（14）、特別教室〔理科室、音楽室、美術室〕（32） 計128教室

(2) 事業期間

平成28年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

319,391千円

（実施設計費 9,720千円 施工監理費 9,860千円、工事請負費 299,811千円）

3 30年度予算

(1) 予算額

157,700千円（施工監理費 7,400千円、工事請負費 150,300千円）

〈合併特例債97,300千円、過疎債55,400千円〉

(2) 事業内容

設置学校名及び設置教室数

（単位：室）

	普通教室	少人数 教室	特別支援 教室	特別教室	計
豊岡北中学校	16	4	2	7	29
港中学校	3	2	0	3	8
城崎中学校	3	2	2	3	10
竹野中学校	3	2	2	3	10

4 その他参考事項

今回4校に設置工事を行うことで、当初計画していた8校全ての工事が完了する。

工事完了予定 平成30年5月31日

稼働予定 平成30年6月

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.68	事業名	学校施設屋内運動場等の 非構造部材改修	30年度 予算額	67,720 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

吊り天井を有しない中学校の屋内運動場及び武道場の非構造部材落下防止対策を行い、施設の安全性を高める。また、落下防止対策にあわせ照明器具のLED化を行い、維持管理経費の節減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 対象校 豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校、但東中学校 計9校
- ② 対象施設 屋内運動場（全校）、武道場（竹野中、出石中）
- ③ 主な工事概要
 - ア 照明器具の落下防止とLED化
 - イ 窓ガラスの飛散防止
 - ウ バasketゴール、その他設備等の落下防止対策

(2) 事業期間

平成29年度～平成31年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

172,084千円

（実施設計費10,154千円、施工監理費9,180千円、工事請負費152,750千円）

3 30年度予算

(1) 予算額

67,720千円

（実施設計費 7,130千円、施工監理費3,810千円、工事請負費 56,780千円）

〈緊急防災・減災事業債67,300千円〉

(2) 事業内容

事業内容	対象校	対象施設
実施設計	港中学校、竹野中学校、出石中学校、但東中学校	屋内運動場、武道場
改修工事	豊岡南中学校、豊岡北中学校、城崎中学校、日高東中学校、日高西中学校	屋内運動場
施工監理		

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.69	事業名 山名氏城跡整備	30年度 予算額	3,311 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

山名氏城跡（有子山城跡・此隅山城跡）は、室町時代の有力大名であり、但馬地域を治めていた山名氏の居城である。我が国の中世の政治史と城郭史を示す貴重な遺跡として平成8年に国史跡に指定された。

平成27年に豊岡市が策定した整備基本計画（改訂版）に基づき、この史跡の保全及び見学者の安全のための整備を進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 保存管理のための遺構の調査
- ② 崩落箇所等の補修
- ③ 見学者の安全のための整備
- ④ 雑木の伐採
- ⑤ 管理道、見学路等の維持管理
- ⑥ ガイダンス施設の整備

(2) 事業期間

平成27年度～平成41年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

82,500千円（国庫50%、県費25%、市25%）



3 30年度予算

(1) 予算額

3,311千円（国庫50%、県費25%、市25%）

(2) 事業内容

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 有子山城跡第6曲輪石垣の補修 | 2,000千円 |
| ② 有子山城跡第4曲輪土砂流出防止 | 800千円 |
| ③ 管理道、看板修理、雑木の伐採業務 | 511千円 |

4 その他参考事項

山名氏城跡整備基本計画（改訂版） 平成27年7月策定

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.70	事業名 但馬国分寺跡整備	30年度 予算額	26,321 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

史跡但馬国分寺跡周辺地域は、奈良・平安時代に但馬国府や国分尼寺などが置かれ、但馬地域の政治・経済・文化の中心地であったことから、その歴史的価値が高く評価され、国史跡の指定がなされている。

この貴重な文化遺産を国民共有の財産として保存し、教育的活用や文化的環境創造（郷土愛を深める場）の活用に供する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

史跡保存にかかる指定地の買上げ及び保存整備を行う。

(2) 事業期間

平成2年度～
（史跡整備は平成27年度～平成42年度）

(3) 事業主体

豊岡市



(4) 全体事業費（買上げ事業と史跡整備事業）

【国分寺七重塔跡】

1,205百万円（平成29年度までの額）

<補助率> 史跡買上げ（国庫80% 県費20%の1/3 市20%の2/3）

3 30年度予算

(1) 予算額

26,321千円

(2) 事業内容

- ① 史跡整備委員会の開催、但馬国分寺跡発掘調査にかかる現地指導
- ② 公有財産購入…2筆（198.33㎡）、物件移転補償…木造店舗宅、工作物等一式

4 その他参考事項

- ① 但馬国分寺跡保存管理計画・整備基本計画（平成24年3月策定）
- ② 但馬国分寺跡整備基本設計（平成27年3月策定）

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.71 事業名 歴史博物館リニューアル	30年度 予算額	26,307 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内の歴史・文化財に関する史料を収集、保存、展示活用して、ふるさと教育・文化の発展に博物館が寄与するため、市民が親しみを持ち、来館しやすい施設にする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

「但馬国府・国分寺館」のテーマ展示から、ふるさと「豊岡の宝もの」を楽しみながら伝える「豊岡市立歴史博物館」としての充実を図る。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

26,307千円

（合併特例債 24,800千円）



総合学習室イメージ

(2) 事業内容

- ① これまでの但馬国府・国分寺をメインとするテーマ館から、市の成り立ちを学習できるわかりやすく、親しみやすい展示にリニューアルする。
- ② 多彩な事業を実施できるよう総合学習室を整備する。
- ③ 日高庁舎と分散していた事務室を集約することとし、館内に新たな事務室を設け、文化財にかかる職員と業務を集中させ、市民サービスの向上を図る。
- ④ 業務の効率化と通信費の軽減を図るため、内線電話新設工事と中庭漏水対策修繕を行う。

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.72	事業名 校務支援システムの導入	30年度 予算額	43,080 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

教職員の職務については、時間的、精神的負担の増大が課題となり、教育の質の確保・向上の観点からも、「学校における働き方改革」を早急に進めていく必要がある。

豊岡市においては策定した『「学校における働き方改革」推進方針』に基づき、業務改善を推進するため校務支援システムを導入し、業務の効率化と教育の質の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡市立のすべての小中学校に成績処理、出欠管理、保健管理、指導要録、学籍関係などの機能を有する「統合型校務支援システム」の導入を行う。

(2) 事業期間

平成30年度～平成35年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

59,693千円

導入経費 43,080千円（初年度）

保守管理経費 16,613千円（平成31年度から5年間の総額）

3 30年度予算

(1) 予算額

43,080千円

(2) 事業内容

統合型校務支援システムの導入

4 その他参考事項

統合型校務支援システムでは、児童、生徒に関して入力したデータを成績処理、出欠管理など複数の機能や帳票に連携することが可能で、これにより出席簿や通知表・指導要録等の帳票作成にかかる事務の軽減や、校務の効率化が図れる。

当課名【こども教育課】（内線2725）

施策体系番号 4-1-3-2

No.73	事業名 私立保育所等の振興	30年度 予算額	132,786 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

私立保育所、私立認定こども園、私立小規模保育事業所等を運営する社会福祉法人等の安定的な運営に寄与することで、幼児教育・保育の量が確保され、またその質が向上することを目的とする。

また、保育ニーズの増加に伴い公私立ともに園の保育士確保が課題となっていることから、さらなる保育士確保を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 私立保育所等の運営に係る経費及び施設管理に係る経費の一部を補助する。
- ② 豊岡市保育協会（市内で保育所等を運営する社会福祉法人等で構成）と協働し、都市部に集中している大学等保育士養成校への直接訪問により豊岡へのUIターンによる保育士確保のための広報活動を行う。

(2) 30年度予算額

- ① 私立保育園等補助金【132,731千円】
 - ア 認可保育所等運営事業補助金 (78,271千円)
事務職員・保育士等人件費、保育事業費、敷地借上料・地域活動事業費等の一部を補助する。
 - イ 障害児保育事業補助金 (26,426千円)
特別な支援が必要な児童（保育認定児）の受入れに伴う定数外の職員人件費の一部を補助する。
 - ウ 重度食物アレルギー児対策事業補助金 (10,500千円)
食物アレルギー児の受入れに伴う定数外の調理員人件費の一部を補助する。
 - エ ひょうご保育料軽減事業補助金（県：第3子10/10、第2子1/2） (4,572千円)
多子世帯等（所得制限等一定の条件を満たす世帯）の保育料を軽減する。
 - オ 4・5歳児特別対策事業補助金 (4,000千円)
幼稚園未設置地域の保育所で校区内の4・5歳児全員を受入れ幼稚園教育を行う保育所の人件費の一部を補助する。
 - カ 託児保育者補助金 (625千円)
保護者の委託により児童の保育を行う認可外保育所に対し、保育に要する経費の一部を補助する。
 - キ 施設整備支援補助金 (8,337千円)
国県補助事業の対象とならない法人が整備する保育所施設の減価償却費の一部を補助する。
- ② 保育士確保のための大学等養成校への広報活動【55千円】

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.74	事業名	子ども子育て支援交付金等 を活用した私立保育所等の 振興	30年度 予算額	77,664 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子ども子育て支援交付金等の国県制度を活用し、私立保育所、私立認定こども園、私立小規模保育事業所等を運営する社会福祉法人等への支援を通じて仕事と子育ての両立を容易にし、子育ての負担感を緩和するような環境整備を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 私立保育所等における延長保育事業や一時預かり事業等のための人件費等保育に係る経費や、保育の質の向上のため保育者が参加する研修受講経費の一部を補助する。
- ② 子ども子育て支援事業計画に基づき幼児教育・保育の受入れ拡大を図るため、小規模保育事業所を開設する経費の一部を補助する。

(2) 30年度予算額

- ① 私立保育所等の保育経費等の支援【61,164千円】
 - ア 延長保育促進事業補助金（国1/3・県1/3）（17,002千円）
保育時間終了後に保育時間を延長して園児を預かる延長保育のための職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - イ 一時預かり事業補助金（国1/3・県1/3）（40,191千円）
家庭において保育を受けることが一時的に困難になった就学前の乳幼児について、一時的に預かり保育を行うための職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - ウ 認定こども園特別支援教育保育事業補助金（国1/3・県1/3）（1,599千円）
特別な支援が必要な児童（教育認定児）が在籍する認定こども園において、その受け入れに伴う職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - エ 実費徴収に係る補足給付事業補助金（国1/3・県1/3）（204千円）
低所得等生活が困難な家庭の児童が園行事等に参加するために必要な費用の一部を補助する。
 - オ 保育の質の向上のための研修事業補助金（国1/2）（2,168千円）
質の高い保育を実施するための研修に参加する職員の受講経費の一部を補助する。
- ② 小規模保育事業所開設経費等の支援【16,500千円】
 - 小規模保育改修費等補助金（国2/3）（16,500千円）
賃貸物件等を活用して小規模保育事業所を新設するために必要な改修経費の一部を補助する。

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.75	事業名 待機児童解消対策の検討	30年度 予算額	9,175 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

保育ニーズの高まりにより待機児童が増加している中、平成32年度から実施される予定である3～5歳児の幼児教育無償化（5歳児の無償化は平成31年度から先行実施予定）により、さらに大幅に保育の需要が増加することが見込まれることから、保育士等の確保対策などを早急に検討し、待機児童解消を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 保育士等確保推進事業

待機児童解消対策の最優先課題である保育士等の確保を推進するため、保育所等を「働きやすい職場」、「働きたい職場」に変革できる業務改善策を2か所のモデル園において試行し、効果的な施策をとりまとめて市内全園に広げる。

② 保育ニーズを把握するための保護者意識アンケート調査

③ 就学前施設のあり方の検討

保育の受け皿の確保と質の高い幼児教育・保育の実践強化のため、就学前施設のあり方について検討を行う。

(2) 事業期間 平成30年度～平成32年度

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費 24,945千円

3 30年度予算

(1) 予算額 9,175千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 事業内容

① 保育士等確保推進事業（業務委託料、事務費）

② 保護者意識アンケート調査（業務委託料）

③ 就学前施設のあり方の検討（事務費）

4 その他参考事項（保育士等確保推進事業の内容）

(1) モデル園事業の主な内容

① 業務の効率化施策の検証（ICTの活用、事務のシステム化等）

② 短時間勤務者の受入れによるワークシェアの検証

③ 配置人数と就労時間の適正化の検証

④ 質の高い幼児教育・保育の展開と両立する業務効率化施策の検証

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-5